

RISE UP



Guide for Young Women's
Transformative Leadership



若い女性の変革をもたらすリーダーシップのための
グローバル・ライズアップ (Rise Up) ・ガイド
日本語版



WorldYWCA

これはソロモン諸島のある若い女性たちに触発されて作成されたガイドです。
彼女たちの革新的な取り組みは、今まで立ち上がる（Rise Up）機会のなかった
若い女性のコミュニティにまで伝わっています。
ソロモン諸島のみなさんの取り組みは世界中で価値が認められ、知られています。

このガイドは「若い女性たちのピア評価グループ」からの意見や貢献なしには完成
できなかったでしょう。ヴァネッサ、ダニエラ、ソフィア、スシラ、ニマラ、クラリン、
ナオミ、エスター、ナタリー、キリ、そしてエリカのみなさんです。

世界 YWCA チームはこのプロジェクトを継続的にサポートしてくださいました。
ガイドを作成するにあたっての格別の尽力と見識に対し、グラディーズ、レベッカ、
ヘンドリカ、リタ、ダニエラ、リネア、そしてジュリーに深く感謝しています。

そしてコンサルタントとしてこのプロセスを導いてくれた
エリザベス・ナッシュに大いに感謝します。

美術&グラフィック・デザイン

ダニエラ・ヴァラノ

著者

エリザベス・ナッシュ

編集&プログラムマネージャー

ジュリー・ダグデール

発行

世界 YWCA

@worldywca 

Facebook/worldywca 

www.worldywca.org



後援

オーストラリア政府外務通産省



Australian Government

Department of Foreign Affairs and Trade

© World YWCA 2017

ようこそ！

アジア太平洋地域にある 10 カ国の YWCA と多くの加盟地域 YWCA は、ピア・エデュケーション・プログラム作りに尽力しています。このプログラムは若い女性が立ち上がる（Rise Up）ことをサポートし、彼女たちのリーダーシップの潜在能力を引き出すことを目的としています。

この「若い女性の変革をもたらすリーダーシップのためのグローバル・ライズアップ（Rise Up）・ガイド」は、地域の現実根差しているというライズアップ（Rise Up!）のユニークな特徴に忠実であることを目指しています。

グローバル・ライズアップ・ガイドは、世界中のあらゆる場所にいる若い女性¹が自己変革をおこない、周囲の人にも影響を与えることができるように作成されました。このガイドは、より多くの YWCA 運動に、ライズアップ（Rise Up）の成功事例を伝え、さらに強化するものです。それは多くの同世代の若い女性たちが意思決定することや、自分の権利や将来のために立ち上がることを勇気づける役に立ちたいという思いからです。



あなたが YWCA で活動中の会員なのか、その活動に加わることに興味がある人なのか、あなたが属する組織や自分探しのために変革をもたらすリーダーシップに興味がある人なのかにかかわらず、世界 YWCA による「若い女性の変革をもたらすリーダーシップのためのグローバル・ライズアップ（Rise Up）ガイド」をぜひごらんください。

マラヤ・ハーパー世界 YWCA 総幹事

このガイドを捧げる・・・

“

強い意志を持つ若い女性が、自分自身の意思や創造性、考え、エネルギーやコミュニティのサポートによって夢を現実に変えられる未来に。

”

「Her Future 若い女性が求める未来：世界への呼びかけ」

¹ YWCA の「若い女性」は 18 歳から 30 歳ですが、グローバル・ライズアップ・ガイドはすべての年代の女性と少女に適用できます。

オーストラリアの女性と少女のための大使としてこのライズアップ・ガイドをご紹介できて光栄です。ライズアップ（Rise Up）はオーストラリアと最も関係の深い太平洋パートナーの一つであるソロモン諸島で生まれました。太平洋やその他の地域からの多くのライズアップ（Rise Up）参加者にお会いし、お話を伺うことを私自身も楽しませていただきました。ライズアップ（Rise Up）メンバーのリーダーシップや、家庭やコミュニティで人生を変えていくやり方には感動を覚えます。

YWCA 運動 がライズアップを通じて主張している、変革をもたらすリーダーシップへの道は、オーストラリアが援助や貿易、外交政策を通じて進めているジェンダー平等の推進や、女性のエンパワメントの取り組みに合致しています。

若い女性の声を意思決定やリーダーシップのすべてのレベルにもっと取り入れていく必要があります。すべての女性と少女が変化を起こす平等な役割を担ってはじめて、繁栄した平和な社会が実現します。

私たちは、若い女性や少女が直面する障壁を取り除くより賢く、より適した方法を見つけ、彼女たちの生活に有意義な変化をもたらす不断努力をする必要があります。

世界中で若い女性と少女は、基本的な人権が尊重されることを求めて立ち上がっています。それは性と生殖に関する健康サービスを受けられること、平等にリーダーシップをとる機会を得ること、そして女性であることを根拠とした暴力や差別をなくすことです。

しかし、いまだに多くの女性が闇のなかにいます。



彼女たちは基本的人権に気づいておらず、どういったものが性差別なのか識別できず、リーダーとしての素質を発揮できないよう抑え込まれています。そのことは差別されがちな若い女性だけでなく、権力者の関心を引くような声をあげられない人にも当てはまります。

女性たち、その家族、彼女たちが属している地域社会がジェンダー平等の恩恵を理解できるよう、彼女らを手助けすること、そして、すべての女性に潜在能力を発揮させることは、若い女性たちの世界にとっても私たちの世界にとっても長期的にみて非常に重要です。

こうした理由から、オーストラリアは外務通産省を通じて、世界中の地域社会にライズアップ（Rise Up）を広める世界 YWCA のパートナーとなることを嬉しく思います。主要指針とガイドの成功の鍵は、若い女性が主導する計画とトレーニングです。この「グローバル・ライズアップ・ガイド」を作成することは変革をもたらすリーダーシップへの歩みを進めることに貢献し、あらゆる場所の若い女性のためのよい変化につながります。

サラマン・ストーン博士
オーストラリア女性と少女のための大使

背景

2010年に、ソロモン諸島YWCAの若い女性が「ライズアップ（Rise Up!）若い女性のリーダーシップ・プログラム」を、フィジーの女性の権利運動の支援を受けながら作成しました。

ライズアップ（Rise Up!）は、都市部でも農山漁村地域でも、最も過小評価され、不利な立場に立たされている若い女性が持っているリーダーシップの潜在能力を社会で役立てるためにデザインされており、若い女性のための参加型トレーニングや、メンタリング、実践的リーダーシップ体験などで構成されています。

プログラムの中で、参加者はリーダーシップスキルを学んだり、地域社会の中で若い女性に影響を

与えるような社会問題やその対処法について話し合ったりします。また、参加者は基本的なアドボカシー活動の方法を学び、グループに分かれてメンターの補助を受けながら地域社会レベルでのアドボカシー活動プロジェクトを計画し、実行します。

ライズアップ（Rise Up!）モデルに特徴的なのは、女性のエンパワメントとリーダーシップを後押しする宗教や文化、伝統の視点を取り入れていることです。ソロモン諸島YWCAとアジア太平洋地域の若い女性のおかげでこのモデルはスケールアップし、世界規模のものになっています。

これは若い女性による、若い女性のためのリーダーシップ・トレーニングモデルです。



目次

若い女性たちの変革をもたらすリーダーシップ入門	8
ライズアップ！ガイドの概要	9
ライズアップ！ガイドの利用方法	9
YWCA 若い女性たちの変革をもたらすリーダーシップへの道	11
変革をもたらすリーダーシップへの道の実践：例	13
変革をもたらすリーダーシップへの道：第一段階	14
変革をもたらすリーダーシップへの道：第二段階	16
変革をもたらすリーダーシップへの道：第三段階	18
変革をもたらすリーダーシップへの道：第四段階	20
変革をもたらすリーダーシップへの道：第五段階	22
若い女性の変革をもたらすリーダーシップの力	24
若い女性がリーダーになるために必要なこと	26
持続可能な開発目標(SDGs)と若い女性のリーダーシップ	27
若い女性による行動への呼びかけ：YWCA に所属する世界中の若い女性が 2030 年までに達成したいと望むこと	30
若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの人権に基づくアプローチ	31
人権に基づくアプローチ(HRBA)とは重要な人権の原則を行動に移すこと	31
差別のないこと、参加すること、説明責任を負うこと	31
若い女性のリーダーシップのためのセーフ・スペース	34
ファシリテーターの心得	36
概要	36
若い女性限定のワークショップを開くことがなぜ重要か	37
セーフ・スペースの設定	38
話し合いのテーマ	39
ダイナミックなワークショップのための技法	40
セッションやワークショップを企画する	41
テーマに沿ったワークショップの要点	41
テーマに沿った話し合い形式のワークショップをどのように作るか	43

話し合いのテーマ	45
児童婚、早婚、強制婚	46
早すぎる妊娠、望まない妊娠	51
HIV は女性や少女の人生にどのような影響を与えるのか	56
性と生殖に関する健康と権利	60
平和、安全、ジェンダー平等	65
公正な気候変動への対応とジェンダー平等	70
性的目的の人身売買	74
女性と少女に対する暴力	78
経済的公正とジェンダー平等	83
レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックス、 クエスチョニング(LGBTIQ)	88
いじめとネットいじめ	92
月経とそれが女性や少女に及ぼす影響	97
信仰、フェミニズム、人権	101
アクティビティ	105
ウォームアップとエネジャイザーのアクティビティ	103
リーダーシップ・アクティビティ	114
人権アクティビティ	120
クロージングと評価のアクティビティ	128
YWCA 運動におけるリーダーシップのイラスト付きストーリー	136
追加資料	178
用語集	179
巻末付録：人権とは何か	182

若い女性たちの変革を もたらすリーダーシップ 入門

世界中の YWCA では、正義、平和、健康、人間の尊厳、自由、そして環境への配慮を達成するために、変革をもたらすリーダーシップおよび若い女性たちの集団としての力の開発を進めています。

このグローバル・ガイドは、変革をもたらすリーダーシップ・トレーニングにおける YWCA 運動の成功事例を共有し強化するためのツールです。このリーダーシップへの道の中核にあるのは、若い女性が家庭内や地域社会で人権というものを知り、それを主張できるようになることです。同時に国内外の若い女性や少女のための運動を強化することに力を注ぐことでもあります。

「YWCA 若い女性たちの変革をもたらすリーダーシップ」は、YWCA の若い女性たちの既存の知識、創造性、能力を基盤としており、前向きな社会的・経済的・環境的变化をもたらすリーダーとなるためのものです。それはまた、若い女性たちがその能力を探り、自身を教育し、意思決定者としての自覚をもち、自信・知識・情報・スキル・支援を得る過程に価値を見出します。その支援とは、権力の不均衡について学び対応するため、不公正への挑戦のため、権力のある人に責任をとってもらうため、そして自分たちの人生に肯定的な変化を起こすためです。

150 年以上にわたり、世界中の YWCA は、女性、若い女性、少女の力と能力に光を当ててきました。彼女たちの人権を主張することが、私たちの運動の中核です。若い女性とそのリーダーシップを通じて、正義、ジェンダーの平等、暴力と戦争のない世界を創出するために権力構造を変革し、すべての人の人権を擁護することが私たちのグローバル・アジェンダです。

このガイドは、若い女性たちがリーダーシップスキルを向上させ、自分の能力に気づき、人権知識を高め、行動する機会を増やすために、自己決定型アプローチを提供することを目指しています。

ライズアップ！ガイドの概要

グローバル・ライズアップ！ガイドは3つの主要な部分で構成されています：

- 1** 理論編では、変革をもたらすリーダーシップとはどういう意味かを考察し、その構築要素である人権、セーフ・スペース、持続可能な開発目標（SDGs）を取り入れた、YWCA 若い女性たちの変革をもたらすリーダーシップへの道について述べます。
- 2** 知識編では、アクティビティや話し合いに利用できる、変革をもたらすリーダーとなるとはどういうことかを形作るための話し合いのテーマを提供します。（13 のテーマ：児童婚・早婚・強制婚（CEFM）、性と生殖に関する健康と権利（SRHR）、月経、早すぎる妊娠・望まない妊娠、性的指向と性同一性（LGBTIQ）、HIV と AIDS、性的目的の人身売買、女性と少女に対する暴力（VAWG）、平和・安全とジェンダー平等、気候変動とジェンダー平等、経済的公正とジェンダー平等、いじめとネットいじめ、信仰・フェミニズム・人権）。各テーマには、関連する人権、SDGs、および導入のための質問が含まれています。
- 3** 行動編には、いくつかの参加型アクティビティとファシリテーターの心得があります。ファシリテーターの心得には、講師が、地域に即したセッションをおこなえるようなガイダンスと働きかけがあります。本ガイドは、単独で、または既存の地域のリーダーシップ活動と組み合わせて利用することができます。

ライズアップ！ガイドの利用方法

最初にガイド全体を見て下さい。さまざまなセクションがあり、あなたのトレーニングやアドボカシー活動に何が利用できるかが明確になります。このガイドは、若い女性たちのリーダーシップを築くための確固たる基盤となる、セーフ・スペース、人権、持続可能な開発目標（SDGs）の概念を結集しています。変革をもたらすリーダーシップへの道は、トレーニング、情報セッション、意思決定者とのかわり、アドボカシー活動、他者とリーダーシップを共有すること、などの構築につながる学びと行動の段階を段階を把握するのに役立ちます。

第二に、誰にとっても人権の理解を深めることは重要なので、人権に基づくリーダーシップへのアプローチや、人権条約や協定（「付録：人権とは何か」を参照）に関する追加情報を読み、考察してください。私たちの人生や他者の人生に人権がどのように関係しているかを知り、語り合うことは、人権の共通理解を深めるのに役立ちます。また、不公正に立ち向かい、個人の成長を促し、より公正な社会的、経済的、環境的進歩に向かって進んでゆく、変革をもたらすリーダーシップスキルを強化します。

第三に、本ガイドの理論編に慣れたら、話し合いのテーマを見てください。これらのテーマは、YWCA 運動で活動する若い女性たちが、自分のリーダーシップの分野に関連するものを選定しました。それぞれのテーマは人権に直接関係しており、問題を議論したり、地域、国内、国際的な行動やアドボカシー活動を計画する際に、人権に基づいたアプローチができるよう、構成されています。トレーニングが適切なものであるように、若い女性参加者が自分の生活に影響を与えるテーマを選択するようにして下さい。

リーダーシップ・トレーニング（1 セッション、1 日またはそれ以上のトレーニングのいずれか）を企画するには：

- トレーニングから得るものがあり、リーダーシップ・トレーニングに関心のある若い女性たちを見極めます。（話し合いのテーマに直接影響を受ける当事者である若い女性を含めること）
- 彼女たちと協力して話し合いのテーマを特定し、トレーニングを構築してください。（各セッションに費やす時間、セッション数、日時、便利で安全な場所など）

- 話し合いのテーマと共に、関連する人権、SDGs、および導入の為の質問を利用して、トレーニングを構想してください。

- 「変革をもたらすリーダーシップへの道」を読み直して、各ステップのアクティビティと話し合いのテーマを選んでください。

- 人権に基づくリーダーシップへのアプローチを読み直してください。そうすることによりポイントとなる質問を使って人権に基づく話し合いへ導くことができます。

- リーダーシップおよび/または人権に関連するアクティビティを選択してください。

- ダイナミックなワークショップを企画するためのテクニック（Techniques for Creating Dynamic Workshop）を参照し、ディスカッションのテーマを話し合うアクティビティを作りだしてください。

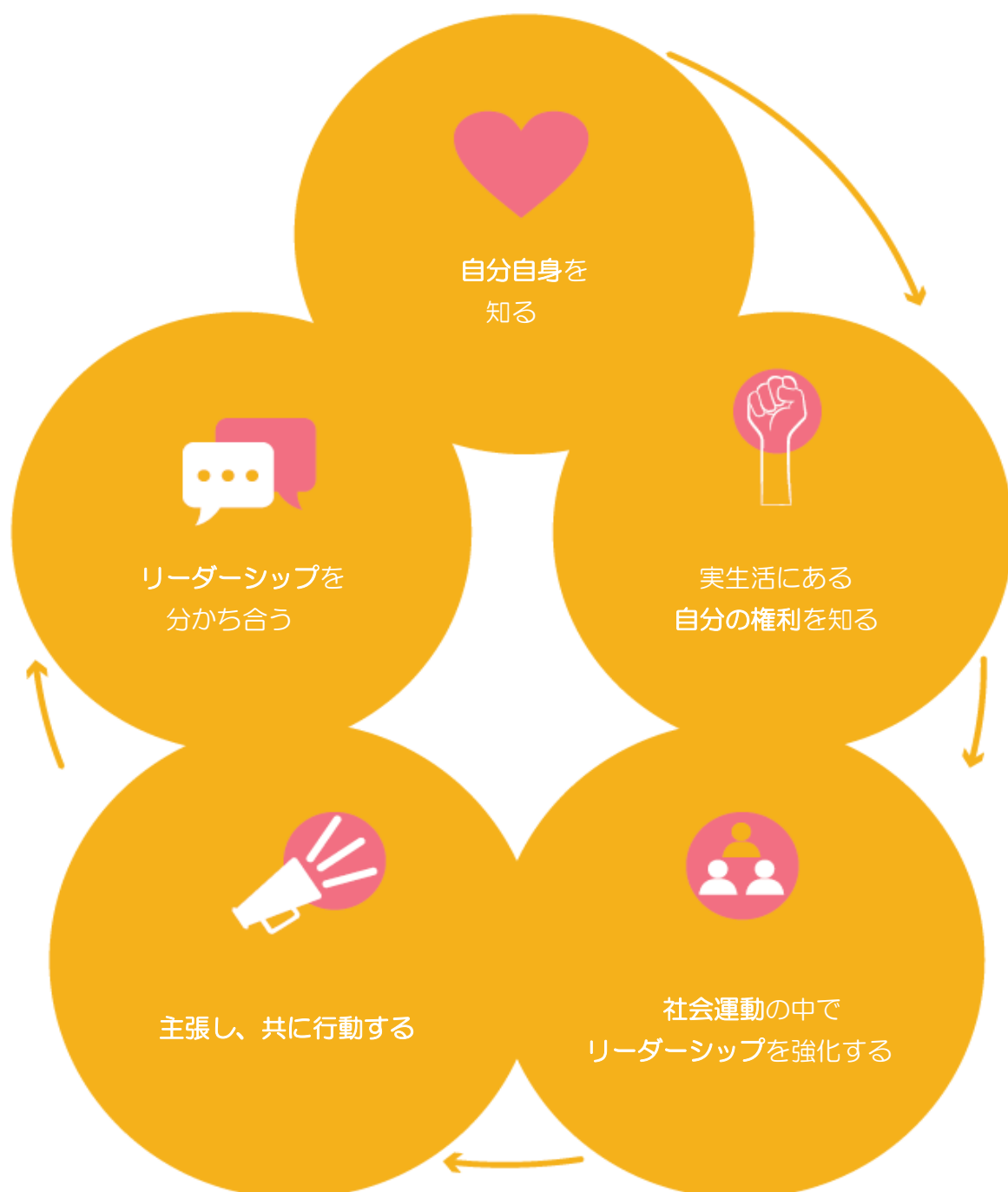
- ウォームアップおよび評価アクティビティを選択してください。

- 適切であれば、イラスト付きのストーリー（Illustrated Story）の中からどれかを選び、共有し、話し合ってください。



YWCA 若い女性たちのための 変革をもたらすリーダーシップへの道

若い女性が、自分の人権意識を高め、SDGsに貢献できるようにするためには、セーフ・スペースの中で、どのようにリーダーシップを発揮すればよいでしょうか。この、若い女性たちの変革をもたらすリーダーシップへの道は、自分自身を知ることから、権利を主張することまで、さまざまな段階を示しています。これらの段階を経ることにより、若い女性は理解し、共有し、より良い世界のために共に行動できるようになります。



この、**変革をもたらすリーダーシップへの道**は、ある若い女性が知識を深め、自分自身を理解することから始まります。同時に、**自尊心、自信、リーダーシップスキル**が高まります。仲間のサポートにより、自分の才能を発見し、共有し、導き合う方法を見出すことで、女性たちは力を蓄え、より良い社会変革のビジョンを構築できます。

彼女が自分の権利を認識することで、問題を**人権問題**として深く理解し、**ジェンダーの不平等**を強調し、**差別**を明確に**特定**し、問題の**根源**を明らかにすることが可能になります。同じ苦しみを共有していることを理解することによって、人権を主張することは共通の責任であることをより深く理解することができます。

自らの人権問題を理解する能力が向上することで、自分自身やコミュニティにいる他の若い女性の幸福に影響を与える**共通の課題**へのサポートを生み出すことができます。多くの人の**関心の高まり**を促進することにより、**社会運動**の中に**リーダーシップ**を発揮できる**セーフ・スペース**ができます。

この、支援を受けられる環境の中で、彼女は**アドボカシー活動**のために状況を評価し、情報を収集することができます。（自宅、学校、地域社会、または国内あるいはグローバルレベルで）。行動し、主張することを選択することによって、彼女は**差別的で不当な慣行や政策に立ち向かう**機会を作ります。人権の観点から状況を導き、分析する能力により、彼女は、**かかわりのある意思決定者を特定**し、解決策と一緒に見つけることに取り組むことができます。**意思決定**に若い女性が含まれれば、持続可能な解決策が達成され、サービス、司法行動、公正な政策の改善に、人権にかかわる主張が反映されます。変化と進歩を定期的に評価しモニタリングすることで、社会的、経済的、政治的**意思決定のサイクル**における**若い女性たちの積極的な関与**が維持できます。若い女性が**アイデア**を共有し、人権を守る**責任を負わせる**ことができれば、意思決定者との実り多い関係が続いていきます。

彼女は、リーダーとして地域社会の若い女性と少女にこのようにエンパワーされた経験を伝え、共有します。それは、他の人のリーダーシップへの道を支援することで、社会正義への取り組みと多くの人々の人生を豊かにし強化できることを知っているからです。

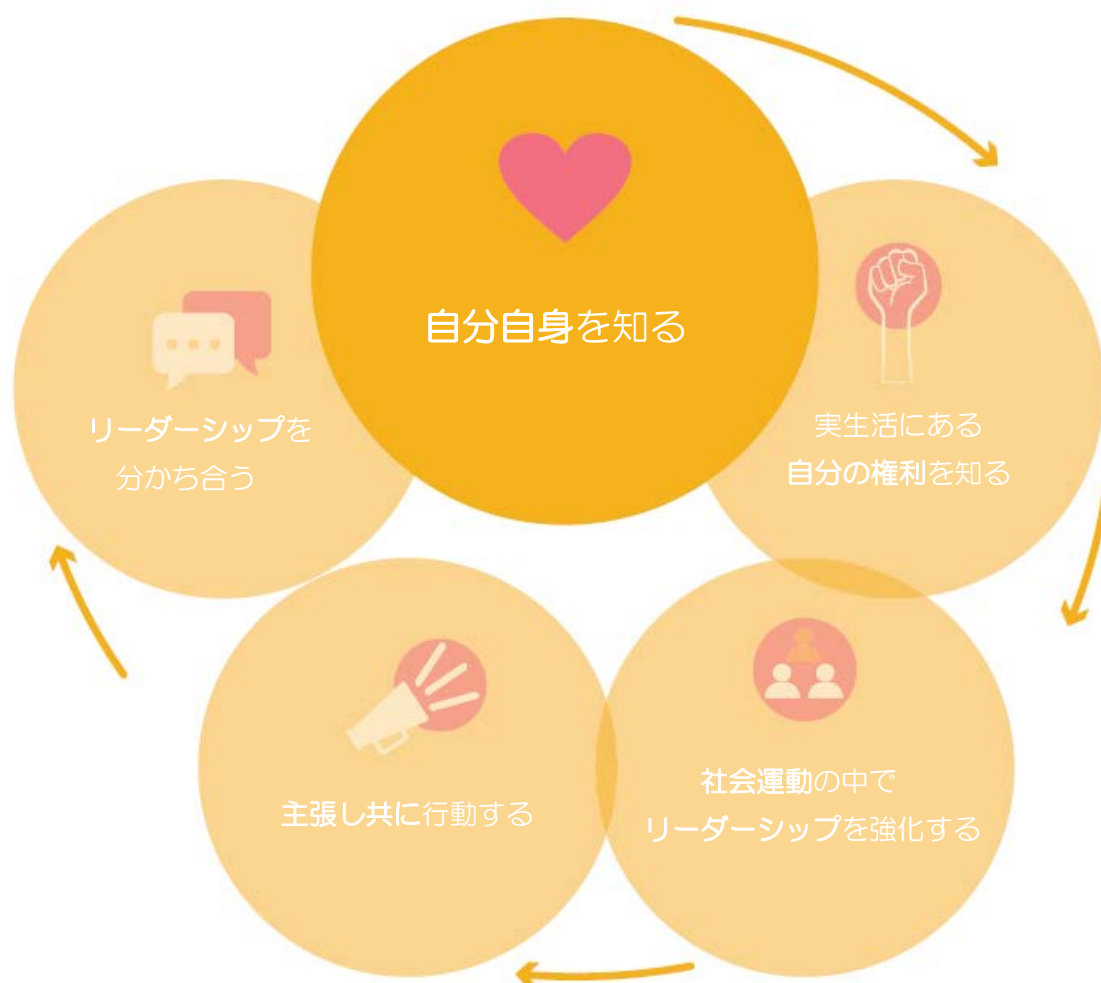
若い女性たちがサポートを受け自信を持った能力のあるリーダーになると同時に、その能力で、女性の進歩を妨げる深く根ざした不平等や権力構造に立ち向かい変革することができるという2つの成果が出ます。一人の人生をこれほど大きく変えられるリーダーシップスキルは、ジェンダーによる力の不均衡、排除的意思決定プロセス、差別的態度に立ち向かうよう国や地域に働きかける際、同じくらい大きな力になります。

変革をもたらすリーダーシップへの道の実践：

例



変革をもたらすリーダーシップへの道：第一段階



「変革をもたらすリーダーシップへの道」のこのパートでは、若い女性が自信をもち、情報を得られ、権利を主張するためのリーダーシップスキルを学び、他の若い女性とネットワークを構築したり、経験を分かち合うことができるよう、エンパワーすることについて述べています。

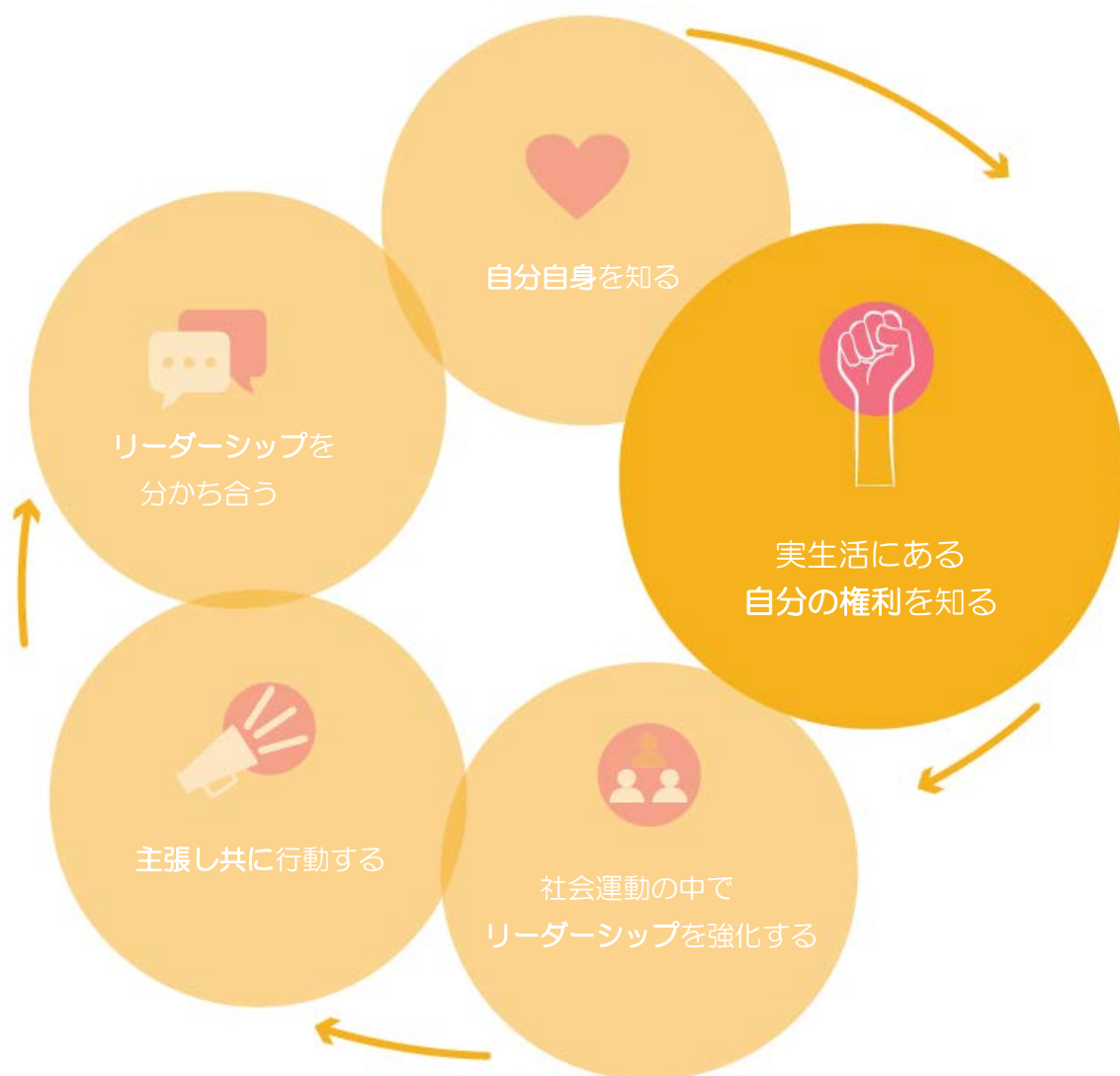
若い女性がリーダーになることは、リーダーシップの資質の多様性を認識することでもあります。リーダーシップへの道は己を知ることから始まります。自己を認識し、自信を持つことは、生涯を通じてさまざまな経験や選択をする際の土台となります。すべての若い女性は、自分の考えや意見を発信し、個性を活かし、自分がリーダーとしてふさわしいと認識できるセーフ・スペースを持つに値します。YWCA は若い女性が自分の強み、価値、力を認識できるようエンパワーします。

変革をもたらすリーダーシップとは、不平等や無力化によって若い女性が人権を十分に享受できずにいる根本原因を理解し、それらに取り組むことです。人権を主張する権利があることを知り、そのためのスキルやサポートを手に入れることで、エンパワメントはもたらされます。

変革をもたらす取り組みは、YWCA が若い女性や少女と協働する中から生まれます。若い女性や少女の強みと能力を認識している YWCA は、リーダーシップスキルの実践や向上の機会を提供して、若い女性の意見が尊重され、意思決定者として家庭やコミュニティ、国際舞台などで正当な場に立てるようにします。

忘れてはいけないことは、若い女性の中には、特に人権を侵害されやすい人たちがいるということです。(HIV と共に生きている人、障がいを持っている人、農山漁村地域で暮らしている人、低所得者、学校に通っていない人、孤児、少数民族、宗教的少数派、性産業に従事している人、LGBTIQ など)。そして何よりも大事なことは、社会から疎外されているこうした若い女性に手を差し伸べ、変革をもたらすリーダーシップへの道のすべての段階に彼女たちを参加させることです。

変革をもたらすリーダーシップへの道：第二段階



人権について知り、人権を主張することは、若い女性の一生を左右する大きな影響力を持つ行動です。直面する課題を特定し、解決策を見つけるのに最も適しているのは若い女性です。若い女性には自分の身体や人生、将来について決める権利があります。変革をもたらすリーダーシップとは、人権を理解し、その知識を使って持続可能な変革のために行動することです。

巻末付録に人権に関する条約および協定についての簡単な説明が載っています。世界人権宣言（UDHR）、女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（CEDAW）、児童の権利に関する条約（CRC）、障害者の権利に関する条約（CRPD）に目を通してから、以下の質問について考えてください。（付録：『人権とは何か』を参照）

以下は、若い女性が直面する課題を理解し、解決する手段として人権を活用するときに、ポイントとなる質問です。これらの質問について考えることで、若い女性は自分の権利を認識し、何がおかしいのか、どうすべきなのか、誰に責任があるのかなどを明確にすることができます。

1.何が問題ですか、また誰が取り残されていますか。家庭やコミュニティでどのような不公平で正しくないと思われることがおこなわれていますか。どのような若い女性や少女が人権を無視されたり侵害されたりしやすいですか。

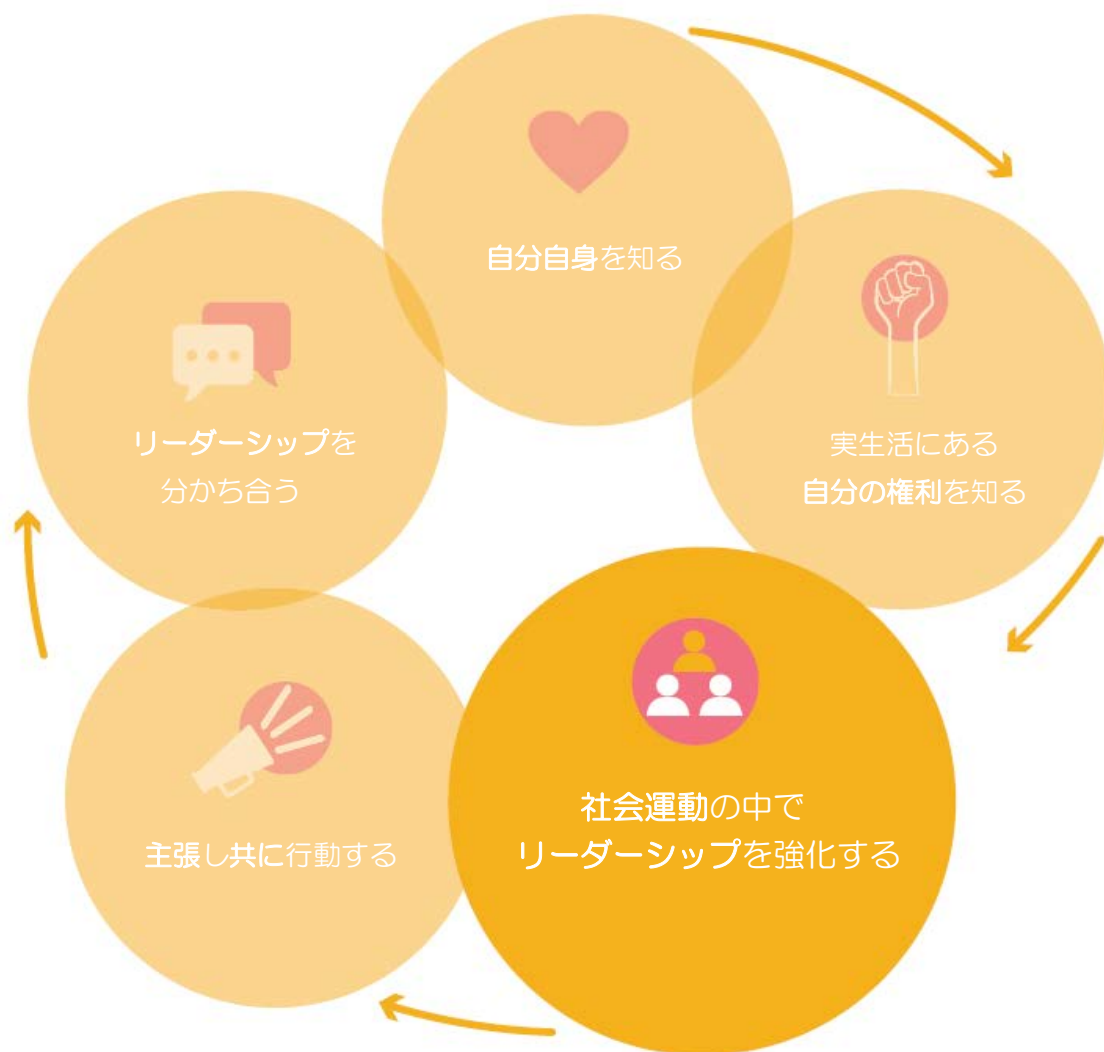
2.なぜこのようなことが起きるのですか。若い女性が権利を享受しにくいのはなぜですか。差別的な文化習慣や伝統が残っていますか。若い女性を不当に扱っている法律がありますか。社会は若い女性を軽視したり、「女性としての役割を担うべきだ」と強いたりしていませんか。なぜ若い女性は差別されるのですか。

3.問題に対処する責任は誰にありますか。地域における意思決定者、権力者、政府の役人、サービス提供者など、問題解決に向けて行動すべき人は誰ですか。こうした人々には対応義務があり、教育、健康、法の施行などにおいて人権を守る責任があります。

4.何をする必要がありますか。若い女性ができることは何で、そのためには何が必要ですか。若い女性は自国の法律や人権条約などにより、自分の権利をより深く理解し、政府に対して何を期待できるのかを知ることができます。そして、リーダーシップスキルを活用して、問題解決に意思決定者を巻き込むよう計画し、力を結集して働きかけることができます。また、その進展と変革状況を観察しモニターすることもできます。若い女性の生活や地域社会の変革を求めるにあたり忘れてはいけないことは、若い女性にはサポート、協力者、セーフ・スペースが不可欠ということです。



変革をもたらすリーダーシップへの道：第三段階



“

これまでの経験が示していることは、若い女性一人一人の声は
しばしば忘れられ無視されるけれども、彼女たちが声を合わせれば、
それはとても大きな声になる、ということです。”

”

「Her Future 若い女性が求める未来：世界への呼びかけ」

社会運動の中でのリーダーシップの強化とは、若い女性の間で目的を分かち合い、団結力を生むことです。情報、支援、後押しなどがあれば、若い女性は何が問題なのかを特定し、自分たちの人権を認識し、戦略的なパートナーシップを働きかけ、解決策を練り、変革を主張できます。こうした観点から、変革を求める活動に関心があり、若い女性のリーダーシップを促進することが重要だと認識している一般の若い女性や若者や大人に、社会運動への参加を呼びかけることもできます。また、サポートを提供してくれるグループがあれば、同年代の仲間や年配者がメンターとして助言してくれるので、若い女性にとっては他の人たちから学ぶ機会にもなります。

YWCA のリーダーシップの定義は幅広く、一人の人間が他の人たちのために意見や提案をして決めるというような狭いものではありません。YWCA のリーダーは多種多様で、多く発言する人もいれば無言の人さえいます。社会運動におけるリーダーシップには、自信と知識、他者からのサポート、他者への援助や配慮などが含まれます。社会運動の中のリーダーシップは、共通の大義を設定し行動計画を共有することに力を注ぎます。若い女性は仲間と共に活動を導いてもいいし、すべての年代の女性と共にリーダーシップを分かち合う機会にしてもかまいません。若い女性はひとりで声をあげても大勢の中のひとりとして声をあげてもいいのです。若い女性リーダーは組織の中で権限のある立場や意思決定をおこなう立場につく人でも、国内外で多くの人々の意見を代表して発言する人でも、また家族の前で自分の意見を、自信を持って述べる人でもあり得るのです。

単独での行動を選ぼうが運動の中での行動を選ぼうが、若い女性の多岐にわたるリーダーシップの選択をサポートする環境が実現できるかどうか重要です。リーダーシップがどのような形であれ、若い女性にとってサポートは有益です。

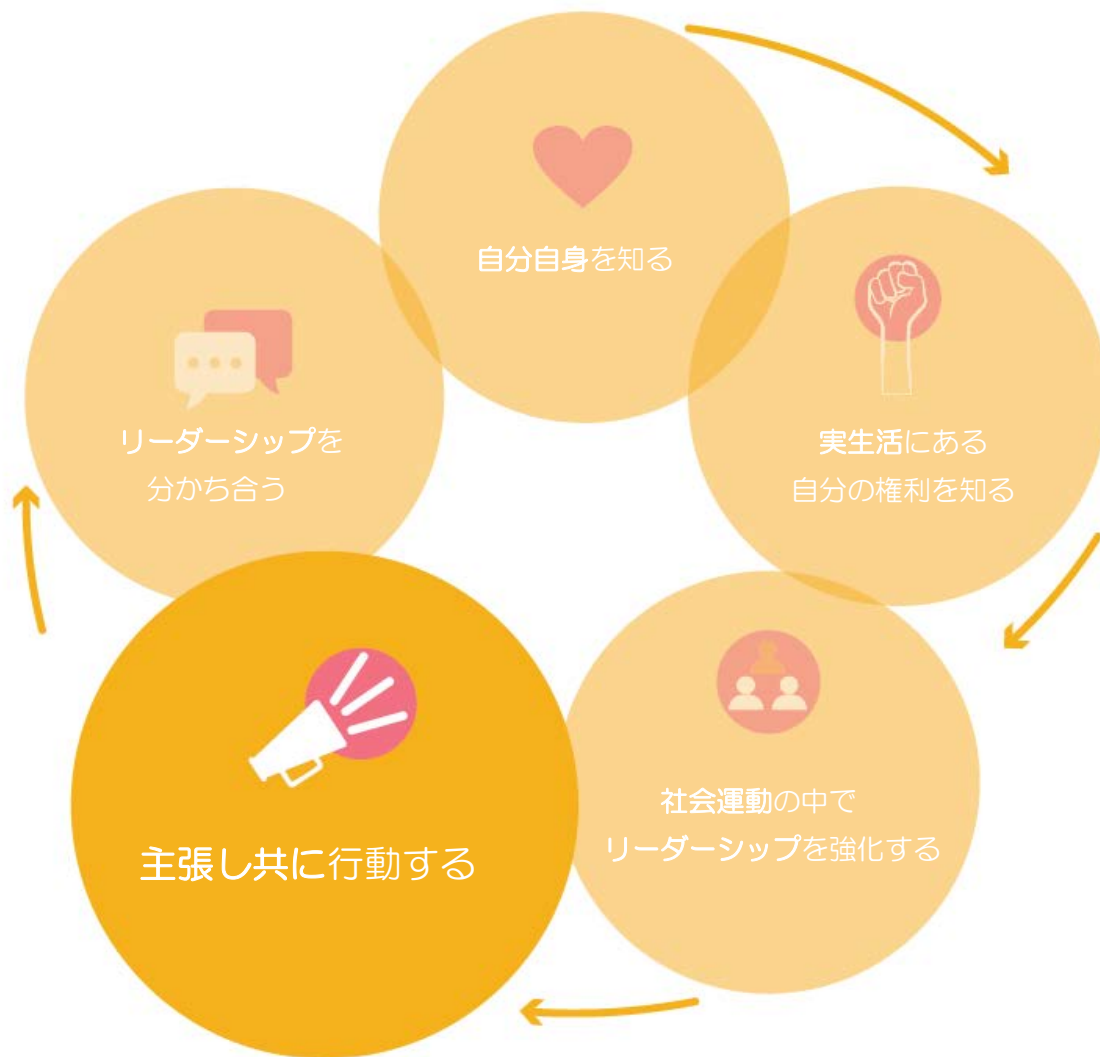


政治、経済、公共分野での
あらゆるレベルの意思決定に
おいて、完全かつ効果的な
女性の参画および
平等なリーダーシップの機会を
確保する。

SDGs ターゲット 5.5

社会運動、友だちや仲間、目的を同じくするグループ、そして市民団体によるネットワークなどはすべて、若い女性のリーダーシップを育成する役目を担うことができます。社会運動は若い女性にとって「セーフ・スペース」となることが必要です。信頼できるか、多様性を受け入れているか、プライバシーが守られているかなどは、人権を分析している若い女性をサポートする際に必要不可欠な要素で、若い女性の人権を知る事から人権のために行動するようになるのを助けます。

変革をもたらすリーダーシップへの道：第四段階



“ 時にはあなたの権利が無視され軽視されていると気づくかもしれません。法律や規則が守られなかった時の対応が、いつも公平であるとは限りません。だからこそあなたが不公平に扱われた時、どのような行動を起こすべきか判断するのが非常に難しいのです。自分の権利をいつも主張したり、宣言したいわけではないかもしれませんが、それでもいいのです。時にはその主張があなたを危険にさらしてしまうこともあります。しかしながら大切なことはあなたの権利を知ることです。あなたが権利を知ることで、いつどのようにそのことを主張するのか、あるいはしたくないのかを決断できるのです。 ”

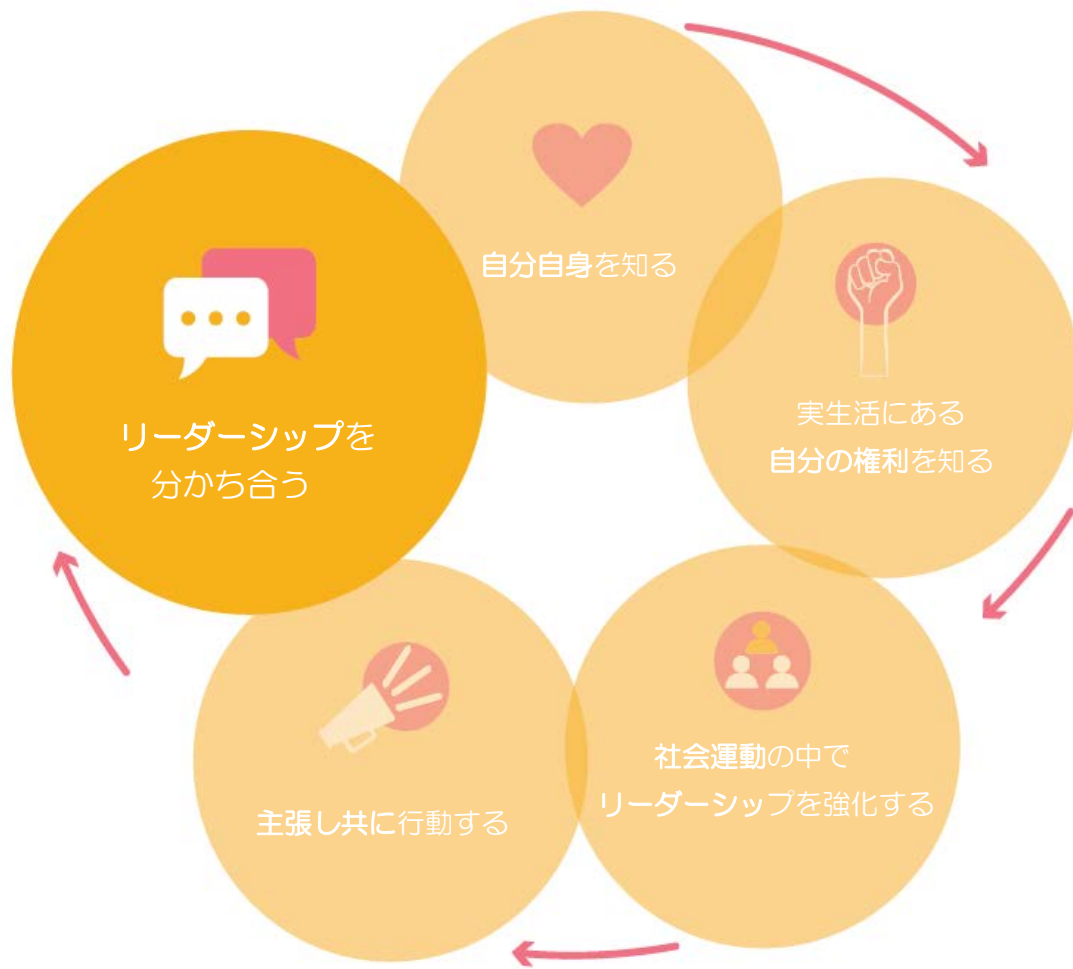


若い女性は、自分がとりくみたい社会問題を自分で決める必要があります。そうすれば自分がかかわる社会運動の中で、話し合いや有意義な対話のために必要なセーフ・スペースを確保することができます。リーダーシップにおいて人権というレンズを使うことで、どのような人権問題があるのか、どのような人がもっとも被害を受けやすいのか、行動を起こすべき人は誰なのか、そしてその人たちと若い女性たちが行動するためには何が必要なのかなどを明らかにする質問がしやすくなります。自分の権利について知るということは、家庭やコミュニティ、国の中で、あなたの人権や他の人の権利を尊重し、擁護し、保障しなくてはならない人の責任を認識することでもあります。

政府、サービス提供者、さらには親や宗教指導者に対してさえ、期待できることに焦点を絞って行動したりアドボカシー活動をおこなったりするのは重要です。人権を擁護する責任がある人たちとの結びつきを強化する行動とアドボカシー活動は持続可能な効果を生み出す最善策といえるでしょう。影響力を持つ人や人権を守る責任がある人を特定し、巻き込むことは、若い女性たちが共に活動してできることであり、また関心を持っている他の個人や団体と共にできることです。若い女性たちは国内や地域内の YWCA とも協力し、経験を分かち合い、アドボカシー活動の成功事例から学習することができます。

権力の不均衡を是正したり社会規範に挑戦したりする行動は、対立と緊張を生み出す場合があります。すべての人の安心と安全を考えることが最優先事項です。若い女性リーダーはどのような行動なら無理せず安心しておこなえるかを特定することができます。そして、協力者や支援者はリスクを最小限にする手助けができます。すべてのアドボカシー活動において、若い女性が不安を話し合うセーフ・スペースを維持し、必要に応じて計画した行動を変更すべきです。社会運動の中で活動することは、若い女性の安全を確保するための一つの方法です。

変革をもたらすリーダーシップへの道：第五段階



“ほんの一握りの思慮深い、献身的な市民たちが世界を変えることができることを決して疑ってはなりません。実際、これこそが、これまで社会を変えてきたただ一つの力なのです。”

マーガレット ミード

YWCA でのリーダーシップは長い道のりです：意思決定の場に加わったとき、組織を率いたとき、重要な目的のためのスピーチを依頼されたとき、またはあなたの提案が政策になったときが終わりではありません。「変革をもたらす若い女性のリーダーシップへの道」の最終段階は、若い女性リーダーと、若い女性リーダーの助けによって恩恵を受けるであろう家庭や学校、地域や国などの若者とのつながりを確かなものにしていくことです。若い女性リーダーは、ライフスキル、情報、そして人々に影響を与えるようなリーダーシップ経験を若い人たちと分かち合います。リーダーシップは限りある資質ではありません。それどころか、それは向上し続け、分かち合いによって元のリーダーのリーダーシップが減ることはありません。YWCA ではリーダーシップは広範かつ包括的です。

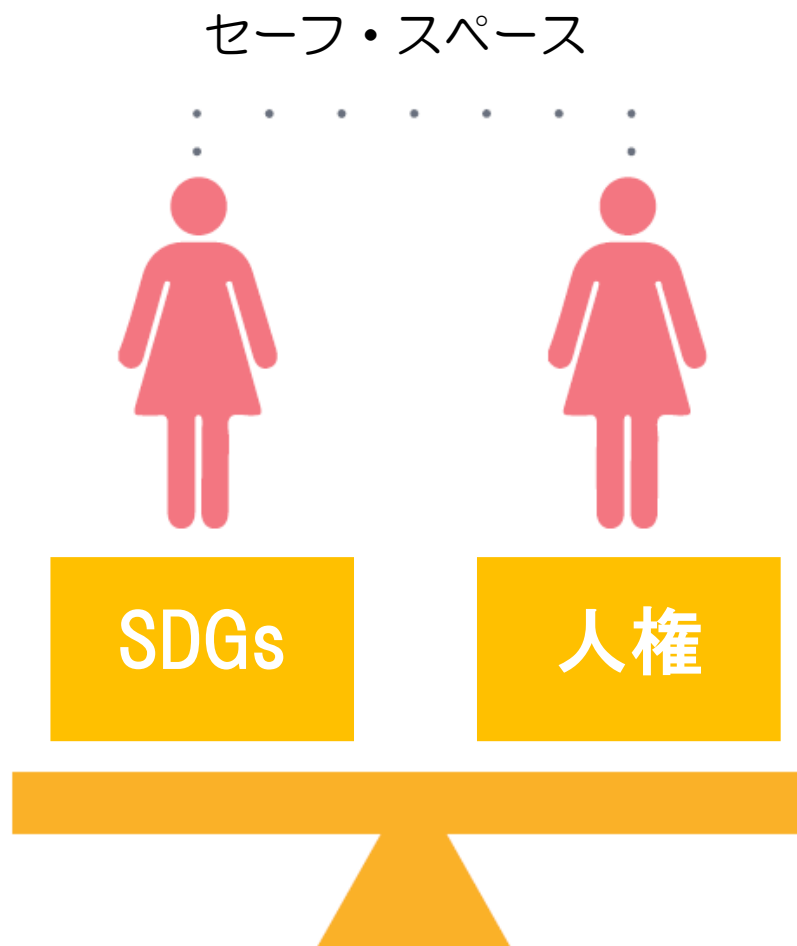
リーダーシップはしばしば世代を超えて分かち合われます。人生経験豊かな年長女性は、意思決定者に会う機会を若い世代に与え、助言し、アイデアを聞き入れ、意思決定をさせ、生きていく術と専門分野のノウハウを教える機会を作ることによって、若い女性を応援します。若い女性は年長の女性に新しいスキルや行動の大切さを教えることができ、それにより彼女たちも自分自身のために立ち上がり、声をあげることができます。また、エンパワーされ、情報を得た若い女性は、リーダーシップを仲間と分かち合い、今までリーダーシップを経験する機会を持てず、疎外されてきた若い女性にも、その機会を与えることができます。世代を超えたリーダーシップの分かち合いは、多くの場合、「セーフ・スペース」をつくることから始まります。そこではさまざま若い女性が出会い、お互いに学び合うことができます。組織レベルでは、すべての YWCA において、意思決定をおこなう役職の 25% は 30 歳未満の若い女性でなくてはならないと義務付けられています。これは非常に重要なことです。何故なら、リーダーシップの分かち合いは必ずしも自然に実現するとは限らないからで、義務付けられ、積極的にモニターされる必要があります。

このリーダーシップへの道のゴールは、すべての若い女性がサポートされ安全と感じながら、自分の人生における重要な問題に対して自分の意見を述べ、行動できる準備ができていることを実感することです。リーダーシップとは継続していくものであり、始まりはありますが終わりは決まっていません。



若い女性の変革をもたらすリーダーシップの力

このライズアップ・ガイドは、変革をもたらすリーダーシップを段階的に説明しています。まずは世代を超えて分かち合うリーダーシップのあり方から、リーダーシップを定義し、変革をもたらすリーダーシップの特徴や価値を明確にします。次に人権について知り主張することで、変革をもたらすリーダーシップを発揮するにあたって、どのような変化が求められるかを明らかにします。第三に、YWCA の中でも外でも、「セーフ・スペース」が、変革をもたらすリーダーシップを支持し、実践する機会を提供していることについて書かれています。そして最後に、変革をもたらすリーダーシップによって、地域社会から全世界レベルにおいて持続可能な変化をもたらす、「持続可能な開発目標（SDGs）」の枠組みがあります。



YWCA には 1884 年以来、地域社会や国、世界の組織において、重要な分析や組織変革の中心にいた女性リーダーたちの歴史があります。YWCA では、変革をもたらすリーダーシップは、若い女性と少女を含むすべての女性が自分の権利を知り、主張できるようになるための、一生を通じて歩む道なのです。変革をもたらすリーダーシップは、不平等や無力化、そして若い女性が自分の人権を享受できない状況を生み出す根源的な原因や根底にある問題に取り組まなければならないことを理解することから始まります。

これは、人権に根差した意図的なかわりを促進するリーダーシップの概念です。

年齢や性別のために、若い女性はさまざまな差別や暴力に直面します。例えば、身体的・性的な暴力、教育を受ける権利の剥奪、強制婚、HIV 感染への高い危険性、非公式経済部門での就業、そして性と生殖に関する健康について情報を得たり、責任ある決断をするためのサービスを受けられない、などがあります。若いこと、女性であることは、祝福されるべきことです。彼女たちの自信やリーダーシップを高めること、また、社会運動の中で彼女たちの立場を強めることによって、彼女たちは自らの選択やチャンスを制限する根深いジェンダーや年齢による差別や権力のアンバランスに対抗することができるのです。

リーダーシップといえば、多くの場合、男性のヒーローのようなリーダーがおこなうものと思われ、女性や若い女性、少女のリーダーシップの働きは歴史的に長い間、そして今でも見過ごされています。YWCA は世代を超えたリーダーシップの分かち合いを教え、実践しています。つまり、YWCA の組織文化や働き方は、新しい世代が直面する課題や変化に適応していくということです。リーダーシップの分かち合いを学ぶためには、リーダーシップを個人の資質とみなすのではなく、共同の学習プロセスとしてリーダーシップを実践できるようにしなくてはなりません。YWCA はあるリーダーたちから次のリーダーたちへと交代していくのではなく、皆がリーダーである組織をめざしています。

変革をもたらすリーダーシップは、自己実現や自己成長、他者（年齢・宗教・民族・性別などの違う人）と協働すること、仲間や年配者から支援を受けること、意思決定にかかわる機会などを含みます。また、世代を超えて分かち合うリーダーシップを理解し、実践することを含みます。

私たちの運動の中で、世代を超えて分かち合うリーダーシップをどのように確認することができますか。

-  地域、国、世界レベルで互いを尊重しエンパワーする対話のできる、「セーフ・スペース」をつくる
-  積極的で有意義な参加から生まれる、誠実で包括的な取り組み
-  さまざまな機会へのアクセスや影響力を持っている人を把握し、その情報を共有する
-  重要な問題における世代を超えた対話に参加する
-  包括的な意思決定プロセス

変革をもたらすリーダーシップは個人にとっても組織にとっても長期的な取り組みです。また、若い女性の変革をもたらすリーダーシップは、SDGs を実行し成功させるために重要な影響を与えます。自分自身の人権の課題を注意深く評価し、社会的、経済的、環境面での変革のために組織化し主張できる若い女性は、「誰一人とり残さない開発」を目指す地球規模の努力の一翼を担っています。

若い女性は、さまざまな面で多様ですが、リーダーシップを支える共通の資質を持っています。例えば、自信、自分自身の価値や権利への気づき、他者とつながるコミュニケーションスキル、原因に立ち向かう勇氣、他者を理解しようとする思いやり、問題に疑問を持ち、理解しようとする知性などです。これらの資質や力を強化することは、変革をもたらすリーダーシップへの道にとって重要です。

若い女性がリーダーになるために必要なこと

YWCA 運動にかかわっている若い女性たちは、リーダーシップスキルを構築して変革に影響を与える機会を作るには何が必要なのかを特定しました。以下は、研修のためのセッションを計画する際に検討すべき重要事項であり、影響力があり責任ある立場で若い女性に関する問題に取り組んでいる人なら誰でも共有できます。YWCA の若い女性が重要だと考えているのは：



安全であること—若い女性が肉体的、性的、経済的、精神的暴力を経験すると、公共分野への貢献、意思決定への参加、収入を得ること、リーダーとしての潜在能力を最大限に発揮することなどができなくなってしまいます。

やへき地で暮らす若い女性などは、社会的に不利な状況に置かれた上に疎外されるという二重三重もの負担を経験します。



尊重されること—若い女性は尊敬されることで、より自信を持って自分や家族のために発言できるようになります。自らの身体的および性と生殖に関する健康をよりコントロールできるようになります。学業を続ける可能性がより高くなります。そして自分の潜在能力を発揮する機会がより増えるのです。



繋がっていること—知識や情報、資源などを共有することで、若い女性はリーダーシップを構築する効果的な取り組みを確実に続けていけます。仲間同士で学び合える機会があれば、若い女性は個人として成長できます。



疎外されないこと—若い女性は「見落とされてしまう」場合がよくあります。子どもが対象の法律や政策ではカバーされないし、若者向けプログラムでは男子に数で劣ってしまいます。また、女性向けの公開討論会などでも若い女性が発言できないことは珍しくありません。障がいを持つ若い女性や HIV ポジティブの若い女性、若い女性同性愛者、農村地域



スキルを身に付けること—若い女性は、教育、研修、仕事などのあらゆる面で、平等、機会、権利を与えられるべきです。若い女性がリーダーになるためには、質の高い公教育を受けること、働きがいのある仕事に就くことが不可欠です。

※出展：太平洋地域 YWCA 若い女性のリーダーシップ計画 2011 - 2014 (Pacific YWCA Young Women's Leadership Strategy 2011-2014)

持続可能な開発目標(SDGs)と 若い女性のリーダーシップ実践



2015 年 9 月に、国連において世界のすべての政府が「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」を採択しました。アジェンダはすべての人にとっての社会正義、経済成長および持続可能な環境を確実なものに

するための 17 の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を掲げています。SDGs はジェンダー平等を達成し、若い女性をエンパワーし、その基本的人権を実現することを開発の取り組みの中心にしています。

持続可能な開発目標は、若い女性への約束であり、機会の提供です。SDGs は単に政府間の合意であるだけでなく、これらの目標を実現させるために政府と市民とが共に働く社会的契約でもあります。誰もが置き去りにされないということです。誰でも果たすべき役割を持っています。自分の生き方に直接影響を及ぼすような決定がなされるとき、取り残され、沈黙させられ、無視されることが多い若い女性と少女にとっては特に重要なことです。若い女性と少女の能力とリーダーシップの強化が SDGs 達成の鍵になります。

2030 アジェンダを成功させるための基本的な重要項目がジェンダー平等であることから、**目標5を、ジェンダー平等を達成し、すべての女性および少女の能力強化を行うとし、すべてのジェンダーに基づく差別および暴力の排除を要求しています。**17 の目標にはそれぞれターゲットがあります。以下は目標5達成のためのターゲットです。

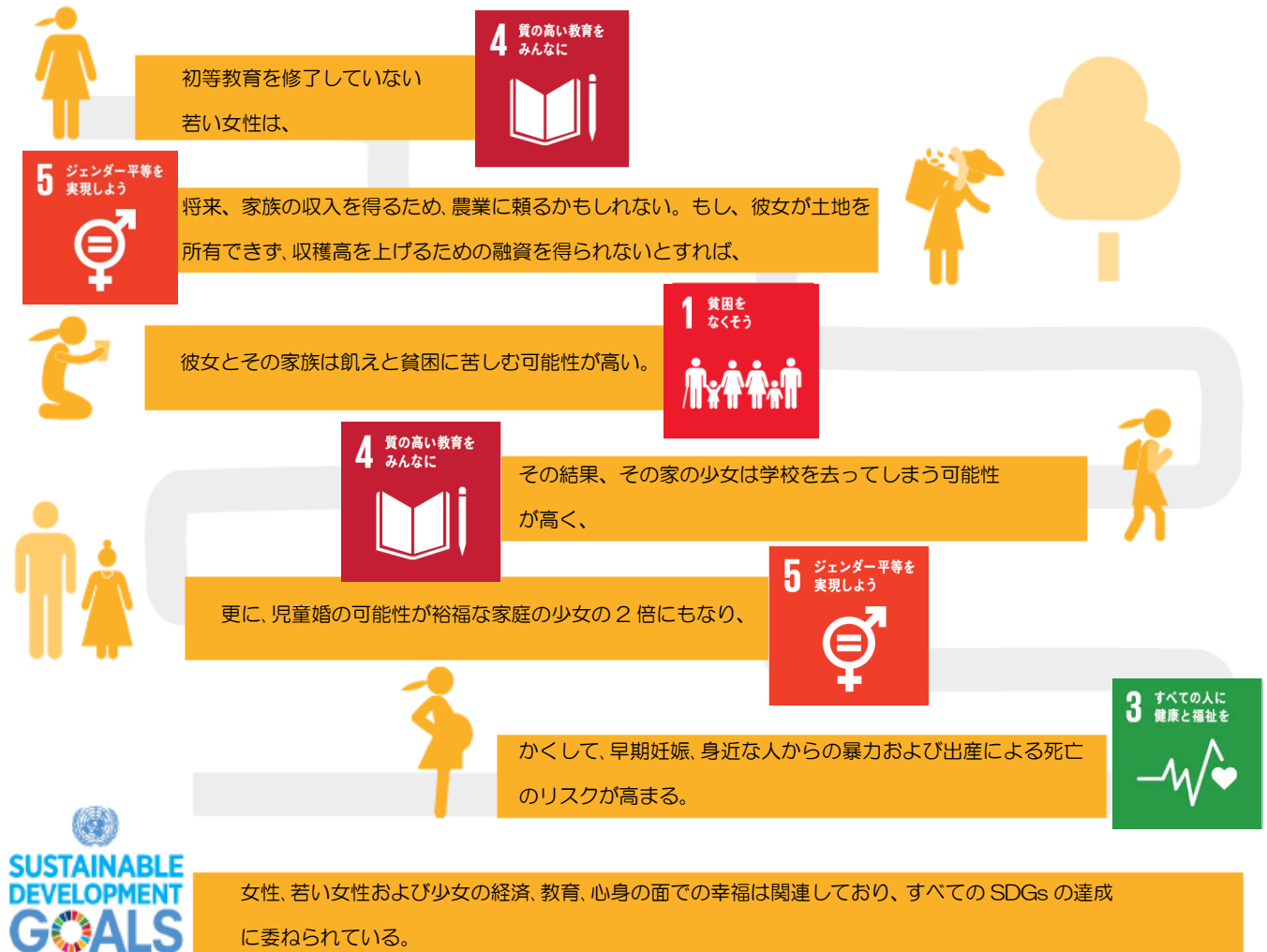
ジェンダー平等を 実現しよう



- あらゆる場所におけるすべての女性及び少女に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、**すべての女性及び少女に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。**
- 児童婚、早婚、強制婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
- 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた**世帯・家族内における責任分担**を通じて、**無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。**
- 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、**完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。**
- 国際人口・開発会議 (ICPD) の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、**性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。**
- 女性に対し、**経済的資源に対する同等の権利**、ならびに各国法に従い、**オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。**
- 女性の能力強化促進のため、ICT をはじめとする**実現技術の活用を強化する。**
- ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び少女のあらゆるレベルでの能力強化のための**適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。**

SDGs は相互に関係しています。1 つの目標を達成することが他の目標の達成の助けになり得ますが 1 つの目標を無視すれば、他の目標の達成を妨げるかもしれません。いずれの場合も若い女性がジェンダー平等をどのように経験するかに影響を与えます。今、すべての政府は 2030 年までに目標を達成するために、法改正、政策の実行、適切な資金の提供、プログラムおよびサービスの拡大という課題を負っています。政府にはこれらの目標を実行に移す義務があるのです。

SDGs がいかに相互に関係し、若い女性の人生に関係しているかを示す例です。



- ✓ 私たちは SDGs の成否を 2030 年の若い女性および少女の状況で判断します。2015 年に 20 歳の女性は 2030 年には 35 歳になり、10 歳の少女は 25 歳になります。
- ✓ 誰を愛し、誰と結婚するかについて、彼女たちはどんな決断ができるようになっているのでしょうか。
- ✓ 子どもを持つとすれば、それはいつか、そして何人持つことになるのでしょうか。
- ✓ お金をどうやって稼ぎ、使い、貯金するのでしょうか。
- ✓ 気候変動に関連する課題をどうやって防ぎ、備えるのでしょうか。
- ✓ 若い女性および少女の人権尊重こそが SDGs の達成評価の物差しとなるでしょう。

若い女性による行動への呼びかけ

YWCA に所属する世界中の若い女性が 2030 年までに達成したいと望むこと



私たちが世界の平和、平等、正義を達成するためには、世界の 8 億 6 千万人の若い女性たちに対して責任をもたなければなりません。彼女たちはただの数字ではなく、計り知れない価値を持っています - それぞれの国の貴重な資産であり、人類の持続可能な発展のために極めて重要な存在です。そして、人類の未来を形づくるための声となるべき存在なのです。



世界 YWCA 「Her Future 若い女性が求める未来：世界への呼びかけ」

課題を見つけ、それを人権問題として主張し、伝えることは、アドボカシー活動や行動に向けた大きな一歩です。例えば、持続可能な開発目標（SDGs）が策定されるときに YWCA の若い女性は SDGs の作成を補助し、その中に彼女たちの懸案事項も含まれるよう、結集し、「行動への呼びかけ」を作成しました。彼女たちが望んだのは：

- 暴力に対する不寛容を貫き、加害者への免責をなくして、女性や少女に対するあらゆる暴力を排除すること。
- 早婚や強制婚、そして女性器切除を含めその他の有害な慣習を撲滅すること。
- 包括的で年齢に応じた性教育を若い世代に学校の内外でおこなうこと。また、科学的根拠に基づく、一方的な価値観によらない、秘密厳守の情報提供ができるよう性教育者を訓練すること。
- 性と生殖に関する情報サービスと生殖への権利への普遍的で平等なアクセスを確保すること。
- 効果的で自発的な HIV の予防、治療、ケア、支援を、それを必要とするすべての人に提供すること。
- 保健やその他のサービスへの十分なアクセスを阻害する法的、社会的障害を排除すること。
- すべての少年少女が小学校や中学校で十分な教育を受けることができること
- 適正な仕事、経済活動への平等なアクセスを確保し、また、資産の管理や保有の平等な権限を持つこと。
- 平和で、持続可能で、健康的なコミュニティの建設に向けて、社会的弱者を含むすべての若い女性が、すべてのレベルや部門における意思決定に平等に参加できること。

社会運動を通じて、若い女性は、より良い変革のために、行動を呼びかけ、提言し、共に活動することができます。あなたはどのような行動への呼びかけをおこないますか。

若い女性の変革をもたらす リーダーシップへの人権に基づくアプローチ



YWCA 運動では、女性の不平等、権利の侵害、疎外、排除の基となる原因、そして女性がチャンスにアクセスすることを阻害する障壁を認識し、それに取り組む必要があります。現在でも家父長制度に表れているような、社会、経済、文化、政治の力関係を変革させることは非常に重要です。特に人種、階級、カースト、ジェンダーが錯綜する場合、特権や権利に関連した課題に取り組むためには、しっかりとした分析と共に、YWCA 運動の内と外の両方において変革が必要になります。

世界 YWCA 『私たちの 2035 年への共通目標』



若い女性には、自らの人生に良い変化をもたらすために必要な情報、支援、機会にアクセスする権利があります。彼女たちには、社会変化を模索するための活力、創造性、勇気、ビジョンがあります。若い女性には、人生や選択を制限する考え方や制度に対して声をあげ、疑問を呈する権利があります。

リーダーシップ、アドボカシー活動、運動構築などに人権に基づくアプローチ (HRBA) を採用することは、個人や組織レベルで若い女性のリーダーシップを強化することになります。若い女性たちのために人権の力を役立てるには、人権の原則を理解すると共に日々の生活に人権がどのようにかわるのかも理解する必要があります。人権とは普遍的なものであり、つまり人権はすべての人に平等に適用されるということです。

人権に基づくアプローチとは、 重要な人権の原則を行動に移すことです

差別のないこと、参加すること、説明責任を負うこと

非差別を実践するということは、すべての人が確実に公正かつ公平に取り扱われるということです。変革をもたらすリーダーは、誰かの権利が脅かされているとき、そのことを認識でき、若い女性の中には無視されたり差別されたりする危険性がより高い人もいることを知っているリーダーです。つまり、政府のサービス、プロジェクト、プログラム、政策は、忘れ去られ、差別化され、沈黙させられ、無視された人々に役立つものでなくてはなりません。国やコミュニティによって、疎外された状況におかれている人々が違うことがありますが、最も差別されている人々の中に若い女性が多く見受けられます。



しばしば疎外される若い女性には、以下を含め様々な女性がいます：障がいのある若い女性や少女、LGBTIQ、学校に通えない少女、少数民族、性労働者、先住民の若い女性、国内避難民の女性や子ども、難民、難民としての保護を求める人々、移民労働者など。

参加することは、人々、特に意思決定から疎外されていた人々に、コミュニティの意思決定に関わり、自分自身やその他の人々の生活をより良い方向に変革することに貢献する機会を与えます。「参加」が人権を守る変革をもたらすためには、この参加が能動的で意味のあるものでなければなりません。参加とはただ座って聞いているだけのものではありません。ましてや

お手伝いをすることでもないのです。若い女性リーダーにとって、能動的な参加とは議論の進行を助け、課題の解決を模索し、状況を改善する方法を考え、行動を起こし、そして変革が起きたかをチェックすることにあります。参加することによって、力のアンバランスに対抗し、意思決定の過程がより多様なグループ間で再配分されるようになります。

説明責任とは、作業、業務、プログラム、または法を遵守することに説明責任を持つことです。人権に対して説明責任を負うということは、例えば政府の代表者や行政サービスの提供者が、人権を尊重し、擁護し、それを保障するということです。説明責任を行動に移すということは、**若い女性**が自分の権利を理解し、要求することであり、そして状況を改善するために責任ある者が行動を起こすということです。

参加とエンパワメント

若い女性

変革をもたらすリーダーとして
自分の権利を知り、
要求することができるようになる

若い女性

意思決定者に権利を要求

平等と非差別

最も疎外された人々に
焦点をあてる

意思決定者

要求に応え、人権を達成

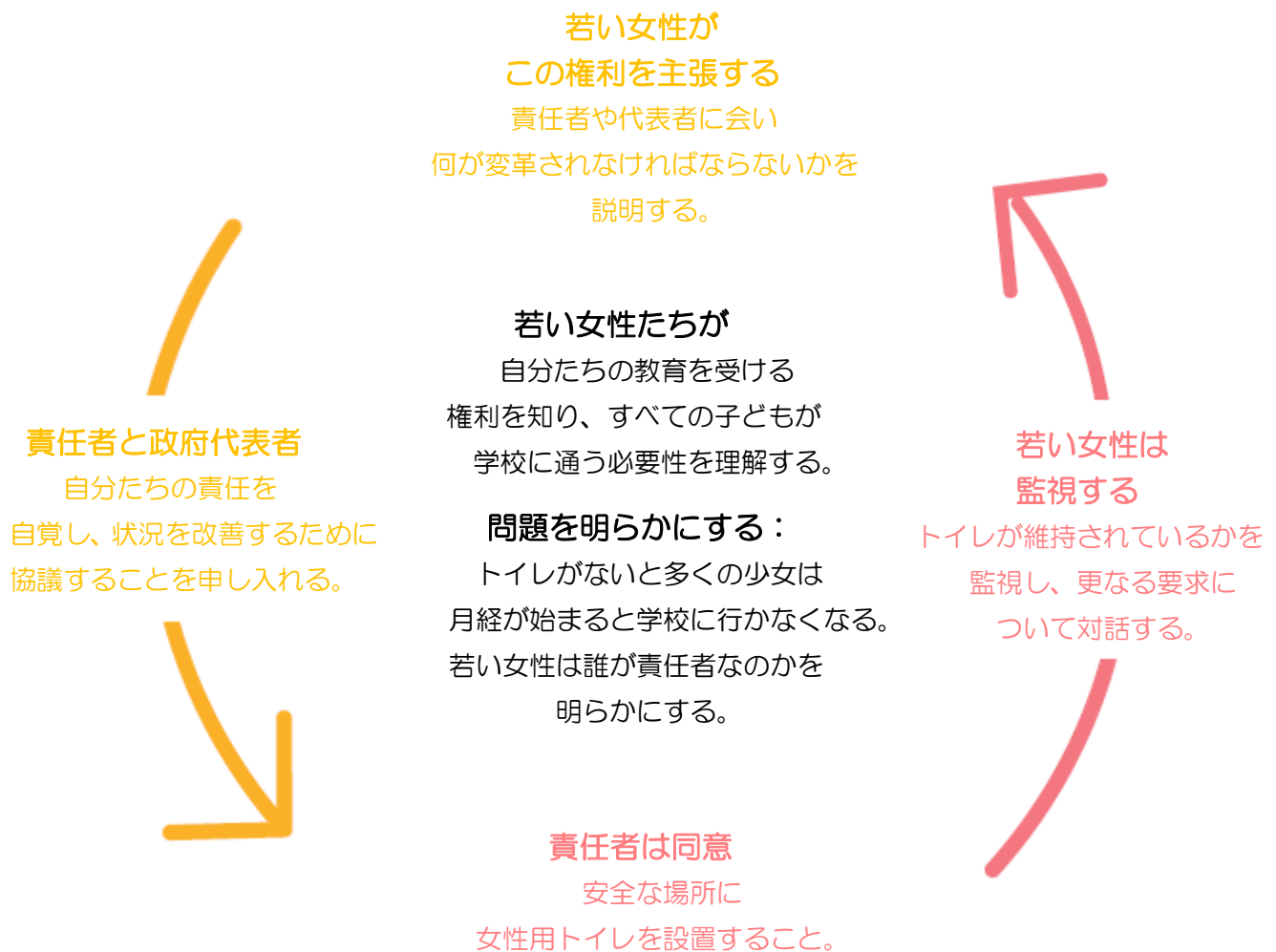
意思決定者/政府

自分たちの責任の自覚

説明責任と透明性

これらの人権の原則を行動に移すとどのようなようになるか：

一つの事例：



“健康への権利を実現するためには、若い女性は包括的な性教育や HIV 教育を受け、性と生殖に関する保健支援や必需品にアクセスできるべきであり、そして、いつ結婚するか、いつ子どもをもうけるかについて自由に決定する能力を備えているべきです。どのような形であれ、この権利に影響を与える暴力は廃絶されなくてはなりません。”

「Her Future 若い女性が求める未来：世界への呼びかけ」

若い女性のリーダーシップのための セーフ・スペース



暴力から逃れてきた人のためのシェルター、
悪しき伝統的慣習や文化上のタブーについて話
し合うための安全な場、HIV と共に生きる若い
女性の自助グループ、障がいのある女性が利用
できる包括的な居場所。YWCA はそのような
場所を「セーフ・スペース」と捉えています。
しかし、「セーフ・スペース」とは何でしょうか。
また、女性、若い女性、少女のための「セーフ・
スペース」作りはどのように保証されるので
しょうか。世界 YWCA が発行した、
**女性や少女のための YWCA の
セーフ・スペース：変革のための
グローバル・モデル**(2013)²には、
セーフ・スペースを作り、促
進し、広めていくための方
法や実例が掲載されて
います。

研修や話し合いのグループでは、若い女性がタブーになっている問題について、不安を感じたり批判されずに話し合える場が提供されています。そこでは女性の人生にかかわる国際的な、また国内の取り組みについて、気づきを高めることができます。「セーフ・スペース」では若い女性が勇気を持って、自分や他の人の経験について振り返り、アイデアや情報を共有し、変革をもたらす行動を計画できるようになります。

「セーフ・スペース」で話すことで、若い女性は、政府代表、政策立案者、その他の意思決定者に直接話をする機会を持つことができます。YWCA の変革をもたらすリーダーシップ研修を受けることで、若い女性は地域や国内の意思決定者と連携することができるようになります。その結果、彼女たちの説明責任能力が育ち、地域と国内の政策やプログラムと若い女性の実体験を結びつけることができるようになるのです。

² 以下でダウンロードできます。(英語)

<http://www.worldywca.org/wp-content/uploads/2014/02/World-YWCA-Safe-Spaces-Model.pdf>

「セーフ・スペース」で若い女性のリーダーシップが発揮されるためには、以下のものがが必要です。

8 「YWCA セーフ・スペース」の定義

- ① **便利で安全なロケーション**：研修やミーティングは、女性や少女にとって利用しやすく便利などところで開かれます。安全で、プライバシーが保護される場所です。モバイル端末で提供するプログラムや地方のネットワークを使って、遠く離れたコミュニティにも情報を届けることが重要です。また都市部と農村地域の両方に YWCA の活動を知らせ、参加してもらうようにすることも大切です。
- ② **リーダーシップと参加**：YWCA は女性が主導し、あらゆる年齢そして多様な女性、若い女性、少女を包括的にエンパワーする場所となっています。YWCA は、誰かに変革を起こしてもらうのではなく、自分たちで変革を起こすという連帯感と当事者意識を育てるプログラムをおこなっていますが、そのようなプログラムには、リーダーシップ開発と女性の参加が必要不可欠です。
- ③ **正確で信頼のおける情報**：女性、若い女性、少女が十分に知識を得た上で選択できるよう、YWCA は事実に基づいた情報を提供し続けます。
- ④ **信頼を築く**：YWCA は女性、若い女性、少女が自分の経験、課題、トラウマをオープンに話せる場所です。プライバシーは守られ、支援は保証されます。
- ⑤ **包括的なアプローチ**：YWCA は女性の人生の多様な側面を考慮し、女性、若い女性、少女のライフサイクルに応じたサービスを提供します。教育と経済力は、エンパワメント、個人の安全、権利の主張のための基本的なツールであると認識しています。
- ⑥ **世代を超えた協力**：YWCA は、すべての年齢の女性や少女の世代を超えた分かち合い、メンタリング、そして協力を推進しています。これらの相互支援的な関係は、世代を超えた尊重と平等を基本とし、若い女性のリーダーシップを開発することに焦点が置かれています。
- ⑦ **尊厳と尊敬**：国内および世界の YWCA は、女性、若い女性、少女がお互いにサポートし、刺激し合うようにネットワークされています。そこでは、多様な女性、若い女性、少女が尊重され、尊厳と権利が守られています。
- ⑧ **パートナーシップと説明責任**：YWCA はコミュニティの一部であり、女性、若い女性、少女と変わらず寄り添い続ける、信頼できる場です。女性の人権を促進し、関係者の説明責任を要求するために、地域、国内、国外の関係団体と連携して行動しています。



ファシリテーターの心得

概要

この「ファシリテーターの心得」は、若い女性の変革をもたらすリーダーシップ養成ワークショップを始める際に役立つよう作られました。以下の項目について述べています。

- 若い女性限定のワークショップを開くことがなぜ重要か
- セーフ・スペースの設定
- 話し合いのテーマ
- ダイナミックなワークショップのための技法
- セッションを企画するための要点
- テーマに沿ったワークショップの要点

各国 YWCA や世界 YWCA の研修マニュアル、さらに研修、人権、若者のリーダーシップなど多岐にわたる分野の専門家のマニュアルを元に、話し合いをおこなうためのさまざまなアクティビティや技法を紹介しています。

1. ウォームアップとエネジャイザーのアクティビティ
2. リーダーシップ・アクティビティ
3. 人権に関するアクティビティ
4. テーマに沿った話し合い
5. クロージングと評価のためのアクティビティ

これらのアクティビティと話し合いはすべて、若い女性が自分自身や自分の人権について学ぶきっかけとなるものです。また若い女性が不平等について理解し、不公正に対して勇気をもって立ち向かうことができるように作られています。

以下の話し合いのテーマは、YWCA の若い女性が、知識や勇気を持った健康な若い女性を育成するための基本として、選んだものです。若い女性が自分の権利について学び、自分の経験や意見を掘り下げることで、自信やリーダーシップが育ちます。これらの分野で若い女性に変革をもたらすリーダーシップを発揮し、行動することは、彼女たち、家族、コミュニティそして世界に、より良い未来をもたらすことでしょう。

- 児童婚、早婚、強制婚（CEFM）
- 早すぎる妊娠、望まない妊娠
- HIV と AIDS
- 性と生殖に関する健康と権利（SRHR）
- 平和、安全、ジェンダー平等
- 公正な気候変動への対応とジェンダー平等
- 性的目的の人身売買
- 女性と少女に対する暴力（VAWG またはジェンダーに基づく暴力）
- 経済的公正とジェンダー平等
- 性自認と性的指向（LGBTIQ）
- いじめとネットいじめ
- 月経
- 信仰、フェミニズム、人権

若い女性限定のワークショップを開くことがなぜ重要か

※参考：オーストラリア YWCA、「より大きな展望へ(Greater Expectations)；少女や若い女性と共に活動するためのガイドブック(A source Book for Working with Girls and Young Women)」、1984

世界 YWCA は、若い女性のリーダーとしての資質を引出し、これまで個人的でタブーと考えられていたようなさまざまな問題について話し合うためにも、若い女性限定の「セーフ・スペース」の確保を強く勧めています。そのような場所を設けることで、各テーマが参加者共通の問題であるという雰囲気を生み出し、若い女性の意見や経験を優先することができます。

注意

若い女性限定のワークショップを開くと、否定的な目で見られたり、よくある性差別的態度に直面したり、以下のような事実と異なる言葉を聞くことがあるかもしれません。

- 男性は除外されているので性差別的だ。
- 技能や知識が増えると、女性は現状に満足しなくなり、家族の崩壊につながる。
- 若い女性は現実と向き合わなくてはならない。女性限定のグループではそれができない。
- 男性も問題を抱えており、同じようなグループが必要だ。
- 既に私たちは平等な機会と平等な賃金をもらっているので、変革は必要ない。

若い女性限定のワークショップを開くには**正当な理由**があり、以下の文書や調査がそれを証明しています。

- 女性は職場、健康、教育、余暇など、どの分野でも差別を受けている。
- 女性と男性の社会化は異なる。その結果、女性はしばしば自信や自己評価、自分の人生を管理していくスキルを得ることができない。
- 話し合いや教育の場を含むすべての場で、女性は男性に従うよう教育されている。女性は男性がいるグループと女性だけのグループでは異なったふるまいをする。
- 男性がいるグループでは男性が会話を主導してしまう。女性限定のグループでは、男性がいるグループではできなかったリーダー役になるなど、女性の力を遺憾なく発揮することができる。

若い女性限定のグループではテーマの専門家として、あるいはメンターとして、年上の女性の経験から色々と教えてもらうことができます。しかしながら、年上の女性はあくまでも若い女性のサポート役に徹し、話し合いの中心になったり、決定に口を出してはいけません。

ファシリテーターの心得

セーフ・スペースの設定

(インド YWCA より)

- 人は誰もさまざまな場所に自分の「世界」を持っています。それは家の中の私的な場所、寝室やキッチンなどにあります。皆、これらの温かな場所で愛情を受け、世話を焼いてもらい、助けを受けながら、可能性を育んでいきます。しかしながら、これらの私的な場所で若い人、特に女性や少女が頻繁に DV、性暴力、ネグレクトの被害にあっています。「安心できる」ということは人権が守られ、そして偏見や差別がないことを意味します。
- YWCA のセーフ・スペース拠点 (Safe Space Hub) は若い人、特に少女が自由に自分たちの経験や課題を分かち合い、情報にアクセスできる場所です。自分の権利について自覚し、勇気あるリーダー、意思決定者、変革を起こす人として、権利を主張する力をつける場所となっています。また、ここは**若者や少女が友だちを作る機会**にもなっています。この友好関係によって、課題を話し合い、解決策を決めることが可能になります。話ができる友だちを持っていることを多くの人は当然のことのように思いますが、それが自分の人生にとってどれほど重要か気づかないことがままあります。
- 話し合いをするためのセーフ・スペースがあることにより、問題の核心に気づき、意味のない迷信をこわし、共通の関心事について話し合いをすることができます。アイデンティティや考え方の違いで差別されたり、排除されずに自由に話すことができ、ワークショップで安心できる場所が確保されれば、偏見や不安を乗り越えることができます。
- ファシリテーターは、開かれたしかし攻撃的でない安心できる雰囲気を作り出す大きな責任があり

ます。参加者には、そこで分かち合われた情報は守られ、その場だけのものとされることが保証されなければなりません。

- そこで分かち合われた発言は、差別をしたり偏見を持つことなくお互いをエンパワーするためのものであり、他の意見を阻害するようなステレオタイプはあってはなりません。
- ファシリテーターは、誰もが自分の意見を言う権利があり、他人の意見をそっくりそのまま受け入れる必要はなく、自分の意見を述べても非難されたり、批判されることはないことを保証しなければなりません。
- このように、若い人のためにセーフ・スペースを作ることは、最も安価な介入技法ですが、すべての人の人生、特に女性や少女のエンパワメントに大きな影響を与える最も意味のある方法なのです。



話し合いのテーマ

「話し合いのテーマ」は、少女が大人になるまでに経験する、人生の課題に関する情報を提供するものです。YWCA 運動の若い女性はこれらの問題が、若い女性の幸せ、安全、成長に欠かせないものであると認識しています。各テーマには以下のものがあります。

- 予備知識
- 関連する事実
- 関連する人権と持続可能な開発目標（SDGs）
- 行動を促すための人権に基づく課題

これらの情報は、若い女性が自分自身について理解し、そして家族、コミュニティ、国の中での自分の役割を理解するために、これらの課題を掘り下げるのに役立ちます。これらのテーマにはタブーだったり、話し合うのに痛みや恐怖を伴うものもあり、決して易しいものではありません。主な目的は、若い女性が互いに分かち合い、支え合うことができる「セーフ・スペース」で、これらの問題に向き合うよう勇気づけることです。自分の権利をよりよく理解することにより、差別に立ち向かい、不平等をなくすための「**変革をもたらす行動**」を起こすことができるようになるでしょう。このような「話し合いのテーマ」を議論することを通じ、若い女性は自分には問題を解決する主体的な役割があることを知るようになります。また同時にリーダーシップを向上させ、コミュニティにおいてリーダーのポジションを担うことができるようになります。

ファシリテーターであるあなたは、若い女性がジェンダーの平等と人権問題をより深く理解するよう導く案内役です。あなたの役割は、すべての人がこれらのテーマや自分の人生の課題をより深く理解できるようにすることです。

あなたはこの選ばれたテーマをよく読み、テーマについて話せるようになることが必要です。ワークショップをおこなう前に、テーマの内容を把握し、想定される質問に対して答を出しておいてください。若い女性と質の高い情報を分かち合うために、テーマに即した**専門家を招待すること**も有効です。あなたはファシリテーターとして、提供された情報が根拠に基づいたものであり、差別的でないことを保証する責任があることを覚えておいてください。参加者の分析を補足するために、関連する情報を追加することや、**偏見やステレオタイプを修正すること**もできます。

選ばれたテーマと「**導入のための質問**」は、併用して使用するよう作られています。話し合いがテーマからそれないように、また、若い女性が**権利について学び、権力の不均衡に疑問を持ち、行動を計画することができる**よう、これらのテーマにある重要な情報を分かち合い理解してもらうためです。新しい知識をもとに何をするかを決断するのは若い女性に委ねられます。若い女性が疑問を探り、意見を分かち合い、自分なりの積極的な「**変革をもたらす行動**」を起こすことができるようセーフ・スペースを用意することが重要です。

ファシリテーターの心得

ダイナミックなワークショップのための技法

※参考：「すべては一つのカリキュラムに」(It's all One Curriculum)-2009 The Population Council, p.8

グループの中でさまざまなファシリテーションの方法を使うことにより、広範囲の人が参加でき、すべての人が関心をもち、学ぶことができます。以下にセッションを独創的でダイナミックなものにするヒントがあります。

アイスブレイクとエネジャイザー

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。このようなちょっとしたアクティビティによりワークショップは楽しく生き活きとしたものになります。グループのアイデンティティや所属感を生み、また参加者が集中して取り組めるようになります。

※独創的なエネジャイザーのアクティビティを考え出したり、若い女性に何か楽しいゲームを知らないか聞いてみてください。

話し合いのヒントになるようなアクティビティ

課題を導いたり、参加者が質問するよう促すアクティビティです。これらはセッションの冒頭でおこなうのが有効です。ブレインストーミング、賛成・反対クイズ、ケーススタディ、会話のきっかけとなるような質問と意見、問題の提起などがあります。

※まずテーマを紹介します。そして、参加者にブレインストーミングをしてもらい、このテーマで連想した言葉をすべて集めます。（全員が見ることができるようフリップチャートに貼り出します。）または、話し合いを始めるために実際にあった話（ケーススタディ）をしたり、テーマに関連したイラスト付きのストーリーを使うこともできます。また、若い女性に知っている話をしてもらうのもよいでしょう。（その際はプライバシーを尊重すること）

創作活動

これらのアクティビティは参加者のモチベーションを

向上させ、新しい考えやアイデアをもたらします。ゲーム、アートプロジェクト、ロールプレイ、劇、詩、歌などのほうが学びやすい参加者もいます。

※テーマに関連のある人権について参加者に演じてもらうこともできます。または若い女性に積極的なリーダーの資質に関する歌や詩を作って披露してもらうこともできます。

グループでの話し合い

グループでの話し合いを通して、参加者は自分を表現したり、他の人に意見を聞いてもらったり、他の人の話を聞くことができます。考える力を高めることによってアイデアや知識を広めることもできます。形式ばらない会話やディベートなどが一例です。

※ワークショップの冒頭や最後に大きなグループで話し合いをし、すべての人がテーマに関して共通の理解をもっていることを確認します。そこで誤った情報については訂正します。テーマに関する情報がすべての参加者に行き渡った後にディベートをすることは、若い女性が議論に多くの側面があることを知る楽しい方法です。（大きなグループでの分かち合いが苦手な人もいることを覚えておいてください）

グループでの振り返りと分析

参加者を小さなグループに分けることで、共に作業し、自分の体験を分かち合い、共同で問題を解決することを学びます。

※若い女性にテーマに関する経験を思い起こしてもらい、小さなグループの中で分かち合い、他の人の経験と比較してもらいましょう。小さなグループは、コミュニティの中で何が変わらなくてはいけないかを把握し、変革をもたらす行動を計画するためにとても有効です。

ファシリテーターの心得

個々の振り返り

これらのアクティビティによって、参加者は自分の経験を振り返り、学ぶことができます。また、新たな態度や行動につながる気づきをもたらすのに役立ちます。記憶を思い起こすこと、価値の明確化、独創的なアートプロジェクトなどが一例です。

テーマを話し合った後、若い女性に自分の人生について考えたり、自分や他の人の人権が踏みにじられた時のことを思い起こすよう促します。次に自分の人権について知った現在、どのように違った行動をとるか想像してもらいます。（中には自分の個人的な振り返りを分かち合うことを避け、秘密にしておきたいと思う人がいることを覚えておきましょう）

ワークショップの間はさまざまな人が積極的に参加できるよう、多様な方法を使うのが良いでしょう。

セッションやワークショップを企画する

ファシリテーターとしてどのようなワークショップをおこなうか工夫を凝らしましょう。参加者である若い女性に、企画段階にも参加してもらうことが一番良い方法です。彼女たちにとって、それは良い練習にもなります。一緒に参加してもらうことで、テーマが若い女性に関連するものとなり、ワークショップの時間や構成も彼女たちのスケジュールに合うものとなります。

理解、自信、リーダーシップを生むための方法の一つではありません。このライズアップ！ガイドは、人権問題を取り上げ、前向きな変革のための行動を育成するために、話し合いのテーマを探求することができますよう作られています。

ここに掲げた「ワークショップを企画するための要点」と「テーマに沿ったワークショップの要点」は、

ファシリテーターと若い女性が、変革をもたらすリーダーシップと人権についての理解を深めるためのものです。

ワークショップを企画するための要点

1. コミュニティに赴き、若い女性の参加をサポートし促す地域の力ギとなる人（地域のリーダーや、古くからのリーダー、宗教上のリーダー、保護者）と会う。
2. 若い女性参加者に面会し、話し合いのテーマを決める。
3. 決めた「話し合いのテーマ」をよく読み、どんな質問にも答えられるようにしておく。地域や国内の統計、人権や地域の法律に関する追加情報、またワークショップが地域の現実に根差すものとなるよう、文化的な情報も調べておく。地域のサービスにアクセスできる情報を提供できるよう準備する。例えば、HIV テストのような性と生殖に関する健康、避妊具の入手方法、暴力を受けた被害者のためのカウンセリング、その他テーマに関連した社会的、法的サービスなどである。
4. 情報を提供したり、経験（若い女性との活動経験が一番良い）を分かち合いながらワークショップをサポートしてくれるような専門家や活動家（例えば、看護師、地域のリーダー、地域のNGO）を把握する。
5. 「ダイナミックなワークショップのための技法」（「ファシリテーターの心得」にあり）を選び、テーマを深めるためにどのアクティビティを使うか決める。まず、大きなグループを作ってプ

ファシリテーターの心得

レインストーミングをし、さまざまな人権に関するロールプレイをする。次に小さなグループになり人権問題について話し合いをする。これにより、ひとりひとりが振り返り、「行動計画」を作成することができる。

6. 心地良くて私的な、そしてアクセスのよい安心できる場所を見つける。
7. 必要な教材を用意する。フリップチャート用紙とマーカー、参加者全員のための紙とペン、選んだアクティビティに必要な材料。必要な資料（人権やリーダーシップのためのアクティビティ）をコピーする。ワークショップ評価用紙が全員分あるか確認する。
8. ワークショップ後のフォローアップを計画する。ここでは若い女性が実行した「行動計画」や直面した困難について話し合う。リーダーシップに関して勇気づけてくれる話を集め他の人や他のYWCAと分かち合う。

な部分を基に独創的なセッションを企画して下さい。「若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道」を参照する時はその段階を心に留めてください。

参加者の理解を深めるために、小さなグループでの話し合い、劇、ストーリー、ゲーム、その他の方法を使います。そこで得た知識をどう活かすかは参加者に委ねられます。参加者が自分の疑問を探り、意見を分かち合い、自分自身の「**変革をもたらす行動**」を作り出すようにすることが重要です。

テーマに沿ったワークショップの要点

13 ある話し合いのテーマはそれぞれ、若い女性に変革をもたらすリーダーシップへの道について理解を深め、自信をつけるための情報を提供します。ファシリテーターとしてのあなたの役割は、若い女性が現実の中で人権に関する理解を深められるよう、情報やアイデアの分かち合いを促すことです。ワークショップを企画するにあたっては「**ダイナミックなワークショップのための技法**」（ファシリテーターの心得）を参照し、話し合いのテーマのさまざま

ファシリテーターの心得

テーマに沿った話し合い形式のワークショップをどのように作るか

話し合いのテーマ：

ワークショップの所要時間：この例では約4時間のセッションを3回おこないます。（これはあなたの計画やアクティビティによって異なります）

の一つを使ってテーマを紹介することもできます。「話し合いのテーマ」の中にある「現状データ」や「あなたは知っていますか」という項目を使ってグループの話し合いを始めることもできます。「話し合いのテーマ」にある情報を手引きとして使ってください。

第1セッション

はじめに

まず、「変革をもたらすリーダーシップ・ワークショップ」への参加者に歓迎の挨拶をし、参加へのお礼を述べます。洗面所の場所や昼食、軽食のための休憩時間、終了時間などの具体的で大切な情報を伝えます。始める前に質問がないか聞きます。

グループのルールを決める

この手引きにある「ウォームアップ」、「アイスブレイクとエネジャイザー」の項目に沿って「基本ルール」を決めます。これによりすべての参加者が安心して分かち合いや学習をすることができます。ルールは皆が見ることができる所に貼り出し、毎日開始前に確認します。

アイスブレイク

これにより参加者はリラックスし、またお互いを知ることができます。

テーマを紹介する

テーマに関する基本情報と、それがどのように若い女性の人生やリーダーシップに結びついているかを共有します。これは国内や地域の事情や統計を共有できる良い機会となります。ガイドの中にある話やイラスト

リーダーシップまたは人権に関するアクティビティを選ぶ

若い女性がリーダーシップについて考えたり、人権に関する理解を深めるアクティビティを使って開始します。アクティビティリストから選ぶか、すでに持っているマニュアルを使ったり、ウェブサイトにあるものを使うと良いでしょう。

第2セッション

テーマを深める

「話し合いのテーマ」をガイドとして使う。

テーマをより深く理解してもらうために、「話し合いのテーマ」から、「なぜこのようなことが地域で起こるのか」という質問をして、参加者の疑問を引き出し、アイデアを分かち合うよう促します。ファシリテーターは、「質疑応答」や大きなグループでの「ブレインストーミング」、その他、「話し合いのヒント」となるような働きかけをします。はじめは小さなグループでテーマについて話し合い、その後みんなで集まってアイデアを分かち合いブレインストーミングをすることもできます。フリップチャートに皆から出たアイデアを貼りだし、皆が見えるようにします。これは記録にもなります。

専門家からの情報セッション（オプション）

可能なら、地域の専門家に経験や地域に関連した情報を提供してもらい、若い女性からの質問に答えてもらいます。

短い休憩を入れます

アクティビティの背景を説明するために、ガイドにある「持続可能な開発目標と若い女性のリーダーシップ」、「若い女性のリーダーシップへの人権に基づくアプローチ」を使い、話し合いのテーマの中の人権と持続可能な開発目標について紹介します。グループでの話し合いの後は、ロールプレイやドラマなど、創作活動の手法を使って、人権や持続可能な開発目標について、深く考察することもできます。「あなたの権利は何ですか」と「持続可能な開発目標」を話し合うために、小さなグループで自分の地域ではどのようなになっているかを実際に演じてもらうこともできます。

第3セッション

「話し合いのテーマ」にある「人権に基づくアプローチ」についてさらなる理解を得るために、「変革をもたらすリーダーシップへの道」の、「**実生活にある自分の権利を知る**」に言及し、人権に関する質問を使ってグループでの話し合いを導きます。これにより問題の根本的な原因を話し合うことができ、だれが解決できるか、どんなことがおこなわれなくてはならないかを把握することができます。もしグループが大きければ小さなグループに分けます。まず自分の答えを考え、その後大きなグループになってアイデアを分かち合います。「創作活動」を利用して、自分の権利を知り変革のために前向きな行動に出ることで生じる、いい結果を演じることもできます。

各アクティビティの間に短い休憩時間をとります。

ガイドにある「若い女性による行動への呼びかけ」を参照して、自分の振り返りや「行動計画」を作成するよう促します。この例を使って、「話し合いのテーマ」にあるような状況を変えるために、自分に何ができるかという「行動計画」を作ってもらいます。セッション2の話し合いで出てきた、誰に責任があり、何がおこなわれなくてはならないかという課題に言及することも必要でしょう。「変革をもたらすリーダーシップへの道」の中にある「**社会運動の中でリーダーシップを強化し、権利を主張し、共に行動する**」を使って、行動する際、誰がサポートしてくれるか、お互いをどのようにサポートできるか、またセーフ・スペースを確保しながらどのように社会運動に身を置くかを若い女性が把握できるようにします。また、若い女性が成し遂げたい思いや「夢」を「創作活動」で表現することもできます。そして、自分のアイデアを絵に書いたり、文章で表現することもできます。

クロージングの質疑応答

ワークショップの終わりには質疑応答の時間を必ず設けます。誰にとっても「セーフ・スペース」を確保できるように、話し合いの内容はすべて決して口外されないことを伝えます。

クロージングの評価

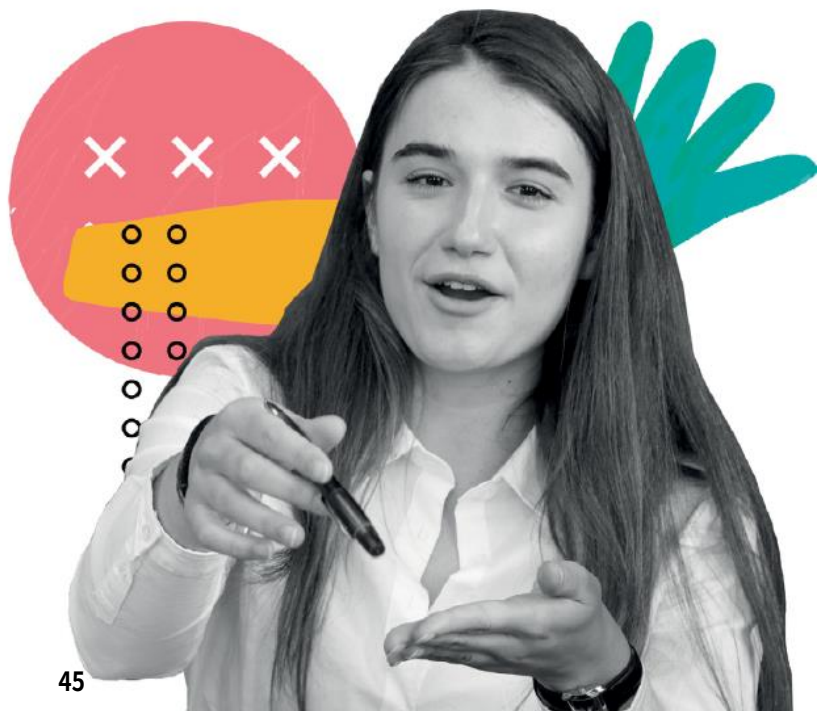
参加者にワークショップで感じたことを伝えてもらう時間を設けることが重要です。参加者用評価シートを全員に渡し、記入後集めます。若い女性と副ファシリテーターに、参加に対して感謝の意を述べます。

覚えておくこと

ワークショップの後で副ファシリテーターと一緒に評価シートを見ながら話し合い、経験を分かち合い、地元の専門家と話し合い、何がうまくいき、今後どうすれば良くなるかを話し合う時間を用意します。

話し合いのテーマ

- 1 児童婚、早婚、強制婚（CEFM）
- 2 早すぎる妊娠、望まない妊娠
- 3 HIV と AIDS
- 4 性と生殖に関する健康と権利（SRHR）
- 5 平和、安全、ジェンダー平等
- 6 公正な気候変動への対応とジェンダー平等
- 7 性的目的の人身売買
- 8 女性と少女に対する暴力
（VAWG またはジェンダーに基づく暴力）
- 9 経済的公正とジェンダー平等
- 10 性自認と性的指向（LGBTIQ）
- 11 いじめとネットいじめ
- 12 月経
- 13 信仰、フェミニズム、人権



1

児童婚、早婚、強制婚 (CEFM)

CEFM とは何ですか。それをなくすために私たちができることは何ですか。

何百万人もの少女が、18 歳以前に同意することも拒否する選択肢もなく強制的に結婚させられています。早婚の悪影響は、少女と女性の人生全般に渡ります。強制婚は人権侵害です。

児童婚とは、当事者一方または両方が 18 歳未満の、公式或いは非公式な結婚のことです。強制婚は、一方または双方が同意または結婚に合意しなかった場合に発生します。

現状データ

- 1 分に 28 人の少女が結婚しています。2 秒に 1 人の割合です。

<http://www.girlsnotbrides.org/about-child-marriage>

- 毎年、推定 1500 万人の少女が 18 歳に達する前に結婚しています。(UNICEF, 2014)

- 開発途上国では 3 人に 1 人の少女が、18 歳までに結婚すると推定されています。

<http://worldywca.org/wp-content/uploads/2016/06/SF-Fact-Sheet-2-Human-Rights.pdf>

あなたのコミュニティや国では CEFM が問題になっていますか。

この有害な慣行に関する地域の情報をどこで見つけることができますか。

例えば…国内の国連事務所、国際 NGO、地域 NGO、子どもに関する省庁など

あなたは知っていましたか？

18歳に達する前に結婚した少女は以下のような可能性が高いのです：

- 学校を辞めるか、強制的に退学させられます。
- 家庭内で夫または他の家族から性的、身体的、精神的、経済的暴力を受けます。
- 少女自身のコミュニティから離され、時には別のコミュニティ、都市、州または地域で生活することにより孤立、疎外、抑うつにつながる可能性があります。
- 雇用の機会が制限され、家計の権限もほとんどありません。
- 若年で妊娠すると、危険な妊娠や出産の合併症（例えば、瘻孔の危険性が高い）のために、死に至る危険性が増したり、身体に障がいが出る危険があります。
- 多くの子どもをもつことは、何回もの妊娠・出産のために健康と生命が危険に晒されることになります。
- 性と生殖に関する健康についての情報やサービスへのアクセスがほとんどありません。
- HIV 感染のリスクが高くなります。



児童婚は、少女の健康、教育、機会への権利の侵害です。少女の生涯を暴力に晒し、貧困のサイクルに閉じ込めることになります。

<http://www.girlsnotbrides.org/about-child-marriage>

CEFM を強制されやすいのは誰ですか。

18歳になる前に結婚した少女の多くは、貧しく、十分な教育を受けておらず（学校に通ったことがない、退学した、強制的に辞めさせられた）、農村地域に住んでいます。しかしそのことは、都市部や恵まれた家庭の少女がこの脅威から免れていることを意味するものではありません。さらに、武力紛争、不安定な国々、

自然災害や緊急事態にある地域の少女は CEFM により陥りやすくなりますし、処女性を「家族の名誉」とするような伝統的な慣習があるコミュニティに住む少女も同様です。

児童婚に最も陥りやすいのは誰かを理解するためには、あなたのコミュニティや国でこの問題を調査することが重要です（場所、宗教、年齢、学校内外の少女を調査）。早婚の危険に晒されている少女に手を差し伸べることで、あなたはこの問題に関するより良い情報が得られるし、少女たちはこの有害な慣行に立ち向かう機会を得ることができます。若い女性と少女は CEFM を排除していく上で重要な役割を果たすことができるのです。

CEFM はなぜ起こるのでしょうか。

少女が児童婚・早婚・強制婚（CEFM）の犠牲者となってしまうには、多くの要因があります。

- この有害な慣行は、男性や男子に比べて、女性や少女をあまり重要でない、あるいは公平で平等な扱いには値しないと考える社会的態度に深く根ざしています。このジェンダーに基づく差別は、年齢差別とも重なり、少女は特にこのような虐待を受けやすいのです。
- 保護者の中には、娘を結婚させることで彼女の安全を守り、結婚外で性的に活発にならないようにすると考えている人もいます。これは少女の性をコントロールしようとする考えです。しかし、早婚は性暴力と虐待の可能性があり、少女はそれを防ぐことができないことを、保護者は知る必要があります。

- 一部の保護者は、夫の家族が、少女の授業料の支払いや貧困状況の改善、農村地域から都市部に住む機会を与えてくれるなど、より良い経済的機会を提供してくれると期待しています。

- 一部の保護者は、娘を結婚させることで彼女を家庭に閉じ込め、彼らのコミュニティやそれ以外の

世界の男性の危険から娘が守られると期待しています。

- 多くのコミュニティでは、少女と女性に与えられる伝統的な役割は、妻と母親です。少女には、仕事を見つける、ビジネスを始めるなど、妻と母親以外の人生の目標を達成できると教えられていないのです。少女は一度結婚してしまうと、仕事を始めたりビジネスを始めたりする可能性は非常に低くなります。
- 児童婚は、紛争や危機、自然災害の際により多く見られます。状況が不安定になると、保護者は娘の安全を心配し、結婚が解決策に思えるのです（たとえそれが危険で暴力的な状況に少女を置くことになるとしても）。
- 家庭が貧しいときには、保護者は口減らしのために娘を嫁がせることを選ぶかもしれません。また、花嫁代償が支払われる場合、家族にとってこれが動機になることもあります。多くの場合、例えば兄弟の教育費などの他の経済事情は、少女の幸福より優先されます。
- 子どもを結婚させることは、家族によっては問題を解決したり、借金を返済したり、提携を結ぶ手段ともなります。少女は、取引される対象物または商品として扱われるのです。

CEFM を強制されやすいのは誰ですか。

CEFM が間違いであること、すべての少女の権利と国際法に違反していることは、以下に明確に説明されています：

1. **子どもの権利条約（CRC）**は、「締約国は、児童の健康を害するような伝統的な慣行を排除するため、効果的かつ適当なすべての措置をとる」と規定しています。つまり、早婚は、少女の命を危険にさらし、文化や伝統の名において実行される有害な慣行とみなされています。子

どもの健康と幸福を脅かす文化的、伝統的な慣行は排除しなければなりません。すべての子どもの健康の権利は保護されなければなりません。

2. **市民権及び政治的権利に関する国際規約（ICCPR）**は、「婚姻は、両当事者の自由かつ完全な合意なしには成立しない」と規定しています。つまり、第一に、すべての人は、結婚するかどうか、いつ、誰と結婚するかを選ぶ権利があります。第二に、18 歳以上の人のみが法的に同意することができるため、結婚に同意するには少女は少なくとも 18 歳以上でなければなりません。
3. **女性差別撤廃条約（CEDAW）**は、女性は男性と同等に「自由に配偶者を選択し及び自由かつ完全な合意のみにより婚姻をする同一の権利」を有し、「児童の婚約及び婚姻は、法的効果を有しない」と規定しています。
4. 2014 年、国連総会は、すべての国は、「児童婚、早婚、強制婚、強制的婚姻の予防と排除、危険にさらされている人々の保護を目的とした法律と政策を制定し、施行し、維持すること、また、結婚は希望する相手との自由かつ完全な同意を得てのみ行われることを保証する。」との決議を採択しました³。つまり、国（警察、裁判所、医療機関など）は、確実に法律を遵守し、少女を保護し、コミュニティに早婚の危険性を知らせることによって、児童婚を排除させるよう行動しなければなりません。

³ 2015 年 1 月 児童婚、早婚、強制婚に関する国連総会決議
<http://www.refworld.org/pdfid/54c7a1254.pdf>

持続可能な開発目標



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.3＝未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。

つまり、国は、児童婚や女性器切除（FGM）を（例えばキャンペーンなどを通じて）防止する責任があります。そして児童婚が起きた時には少女を守る責任があります。（そのためには警察が違法な結婚から少女を救出し、報復がないように安全を確保しなくてはなりません）。そして警察と裁判所は、加害者が処罰されるように法的処置をとらなければなりません。

児童婚、早婚、強制婚を排除させる役割を果たせるのは誰ですか。

- 「セーフ・スペース」で自分の権利について学び、自信を得た若い女性と少女、特に既婚の少女は、サポートを受けることで、強制婚を避けたり、遅らせたり、または（結婚を）破棄させるための支援や保護を求めることができます。
- 警察には児童婚事件を捜査する義務があり、裁判所は少女の権利を守るために行動すべきです。
- 地方自治体は、CEFM に関して人々の意識を高め、CEFM を排除し、少女の権利を保護するためのプログラムと資金を確保すべきです。
- 保護者はこの問題について教育を受け、娘の権利

を尊重し、最善の利益（すなわち、少女を学校に通わせること）の為に行動するよう支援されるべきです。

- 教師は、児童婚の恐れがある少女を特定する役割があります。少女が学校に来なくなったときは、当局に通報する役割もあります。
- 保健医療従事者は、児童婚の事例を特定できるよう訓練を受け、結婚して性と生殖に関する健康相談を求める少女のカウンセリングをおこなう役割があります。
- コミュニティリーダーは、住民を教育し、児童婚の危険性がある家族を特定し、児童婚を遅らせたり防止したりするために行動する役割があります。また、児童婚を警察や関係当局に通報する役割もあります。
- 宗教指導者は人々を教育し、児童婚を認めず、警察や関係当局に通報する役割があります。
- 男性と少年は、児童婚に反対の声を上げ、そのような結婚をしている仲間を非難し、自分の結婚は確実に平等なパートナー同士であるようにする役割があります。
- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

どのように声を上げて、あなたのコミュニティの意識を高めることができますか。

共に協力して CEFM を排除する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり CEFM を排除する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして少女の人権を守るようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。



早すぎる妊娠、望まない妊娠

望まない妊娠はなぜ起き、それを避けるには、何ができるのでしょうか。

少女は妊娠する可能性があり、もし家族や地域の支援や、適切なヘルスケアが無ければ、身体に障がいを負ったり、死の危険にさらされます。妊娠や、出産中の合併症によって、健康や生命が脅かされてしまうのです。妊娠によって、少女の未来の幸福、収入、そして良い仕事に就く機会が脅かされます。早すぎる妊娠は、自身や、その家族そして地域に大きな犠牲を払わせることになります。

現状データ

- 15 歳から 19 歳までの約 1600 万人の少女および 15 歳未満の約 100 万人の少女が毎年出産しており、その多くは低・中所得の国々においてです。
- 妊娠中および出産時の合併症が、世界中で 15 歳から 19 歳までの少女の 2 番目に多い死因となっています（例えば、出産中または、産後の出血多量や感染症、又は危険な中絶、閉そく性分娩、そして高血圧です。）
- 毎年、15 歳から 19 歳までの 300 万人の少女が危険な中絶を行っています。
- 10 代の母親から生まれた赤ちゃんは、20 歳から 24 歳までの女性から生まれた赤ちゃんより死亡する危険性がかなり高くなります。（WHO 2014）⁴（例えば、低体重などにより）

早すぎる妊娠、望まない妊娠は、あなたの地域や国では問題になっていますか。

この危険な妊娠について、どこで地元の情報を得られますか。地元のヘルスクリニックや、国際的および地元の NGO、保健省など国の保健機関、UNFPA や WHO といった国連機関などがあります。

⁴ <http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs.364/en>

あなたは知っていましたか？

19歳未満で妊娠すると、以下の状況に陥りやすいということを。

- 出産時の合併症や、危険な中絶の影響で死亡します。
- 閉そく性分娩による健康上の問題や、瘻孔*による障がいが出る可能性があります。
*瘻孔=体の器官にあいた、あるべきでない穴。閉塞性分娩などに対して適切な医療処置が行われない場合、胎児の頭が母体の骨盤を長時間圧迫することにより、母体の膀胱・膣・直腸などの組織が壊死し、瘻孔が形成される障害
- 学校を中退したり、それを余儀なくされたりして、良い仕事に就くことが困難になります。
- パートナーからの暴力を受けやすくなります。
- 自殺する危険が高まります。
- 生涯産む子どもの数がより多くなり、健康や、生命を脅かします。

早すぎる妊娠に最も陥りやすいのは誰ですか。

教育をあまり受けられず、貧しく、性と生殖に関する情報や避妊手段が乏しい農村地域で暮らしている少女の間で、望まない妊娠が多く起こっています。強制結婚させられた少女たちは、避妊具の使用や、性行為をおこなうのか、おこなうとすればいつかを交渉する能力がほとんどないので、早すぎる妊娠の割合がより高くなってしまいます。性暴力の犠牲となった少女は、妊娠してしまう可能性があります。また、積極的に性行為をおこなうことを決めた若者も、避妊方法を知らないか、避妊具を手に入れることができれば、妊娠する危険があります。

誰が望まない妊娠に最も陥りやすく、そういった人たちはどのような支援があれば妊娠を避け、まだ子どもでありながら結果として母親になってしまう状況に対処できるのでしょうか。それらを理解するためにも、地域および全国レベルでの早すぎる妊娠についての問題を調査することが重要です。

なぜそのような事が起きてしまうのでしょうか。

10代の少女たちが、妊娠を望む前に、またそのための身体的準備ができる前に、意思に反して妊娠してしまうには多くの要因があります。

- 児童婚、早婚そして強制婚の慣例により、10代の少女が妊娠する危険性が高まります。更に、早婚では、暴力や、強制的な性行為の危険が高まり、それにより結果的に性感染症（STIs）やHIVの割合が高くなります。
- レイプや、強制的な性行為では、少女たちには性行為をコントロールし、妊娠を避ける方法がありません。
- 少女の人生の役割を妻や母に限定し、子どもを産むことを第一に考える（赤ちゃんを産まないで女性になれない）という社会規範や考えが圧力となって、妊娠したり、早く結婚したりします。
- 暴力と男性支配を容認するその他の社会規範により、性暴力が当たり前のこととなり、（少女や女性を妊娠させてこそ、男性になれるという）男性に生殖能力があることを示すことが期待される風潮が擁護されてしまうのです。
- 性と生殖に関する健康についての情報が得られないなど、家族計画と性についてほとんど知識が無い場合、少女は妊娠する危険が高まり、HIVやその他のほかの性感染症から自らを守ることができなくなってしまいます。
- 多くの国には、性と生殖に関するヘルスケアへのアクセスを制限する法律があります。そのため少女は、親や保護者、配偶者の許可が無いとケアが受けられません（つまり既婚で妊娠している少女は、夫の許可無しでは医者に診てもらうこともできないのです）。

あなたの権利は何ですか。

ここに挙げるのは、若い女性や少女を、早すぎる、望まない妊娠から守る人権に関する法律や勧告の一部です。

1. **子どもの権利条約（CRC）**は、可能な限り高い水準の健康に対する権利を認め、思春期の若者は成長する過程で、性と生殖の健康に関して「発達しつつある能力」を持つことを認めています。つまり、少女が成長し、成熟するにつれ、自ら判断することができるようになり、またそうすべきなのですが、インフォームド・チョイスをするためには、情報が必要となります。子どもの権利委員会は、性と生殖に関する健康についての情報やサービスへのあらゆる障壁を無くすことを勧めており、若者が性を理解し、妊娠や HIV といった性感染症から身を守ることを目指しています。
2. **CRC およびその他の人権擁護機関**は、若者が、性と生殖に関する情報やサービスを、第三者や親の同意が無いと受けられないといった障壁を、締約国が取り除くことを求めています。つまり、少女には、親や保護者、又は夫からの承諾なしに、家族計画に関する情報、避妊に関する助言、HIV テストまたはその他の性と生殖に関する健康サービスを求める権利があり、自分の体について自ら判断を下す権利があるのです。
3. **市民権および政治的権利に関する国際規約（ICCPR）**によると、いかなる結婚も配偶者となる者同士の自由で完全な同意なしには、あってはならないとしています。つまり、第一に、結婚するのか、するならいつ、相手は誰かを選ぶ権利が誰にもあり、両者とも 18 歳以上でなければならないのです。強制かつ早すぎる結婚を無くすことにより、早すぎる、望まない妊娠を大幅に減らすことができます。
3. **女性差別撤廃委員会（CEDAW）**は若者のための健康情報を重要視していますが、それにはジェンダー平等、性暴力、そして HIV といった性感染症の予防策についての話し合いも含まれます。つまり、早すぎる妊娠について話し合

う事は、単に避妊に関する情報や避妊具の入手方法の提供についてではありません。早すぎる妊娠がしばしば、少女や若い女性が直面するプレッシャーによって、また、性行為の強要、レイプ、そしてそのほかの暴力の結果起こるということなのです。性差別および性暴力は、蔓延しており少女や若い女性の力を奪っています。

持続可能な開発目標



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.3＝未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。

ターゲット 5.6 = 国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画および北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。つまり、国には望まない妊娠を防ぐために、性と生殖に関する入手可能な情報やあらゆる避妊法を提供する責任があります。また、児童婚や女性器切除（FGM）を（例えばキャンペーンなどを通じて）防止する責任があります。そして児童婚が起きた時には少女を守る責任があります。（そのためには警察が違法な結婚から少女を救出し、報復がないように安全を確保しなくてはなりません）。そして裁判所は、加害者が処罰されるように法的処置をとらなければなりません。

少女が早すぎる望まない妊娠に苦しまないために、役割を果たせるのは誰ですか。

- **少女と若い女性**は、性と生殖についての健康と権利について学ぶ「セーフ・スペース」を提供されることによって、望まない、早すぎる、または意図しない妊娠を避け、性的に健康でかつ安全に過ごせる可能性が高まります。少女の自信と自主性を支援し、人脈を広げることは、自主的に意思決定をするための重要な情報と支援を提供することになるのです。
- **保健医療従事者**は、事実に基づいた情報を提供するという責務を理解し遂行しなければなりません。これらの情報には、若者が自分の体や相手との関係について知識に基づいた意思決定をするため、また感染症や望まない妊娠を防いで健康かつ安全でいるために必要なすべての性と生殖に関する情報やサービスが含まれます。
- **警察**は、少女に対する暴力および性暴力事件や、児童婚を捜査し確実に起訴する任務があります。
- **地方自治体**は、早すぎる結婚や妊娠に関連して、少女の性と生殖に関する健康のニーズに特に注意を払い、若者向けの健康サービスを支援するプログラムと資金を確保しなければなりません。
- **保護者**は、子どもの発育全体を通じて、成長し安全でいられる情報を与える義務がありますが、これは性と生殖に関する情報も含まれます。もしできなければ、少なくとも少女が、性と生殖に関する情報、およびサービスを求めることを妨げるべきではありません。
- **教師**は、教育の一環として青少年に包括的な（必要な情報をすべて含むということ）性教育を提供しなければなりません。これは少年、少女が、自らの体、思春期がもたらす変化について知り、妊娠や性感染症、そしてHIVの予防法についての知

識を確実に理解するようにするためです。このためには、ジェンダー平等や非差別についての話し合いも必要です。

- **宗教指導者やコミュニティリーダー**は、性暴力やレイプについて、はっきりと反対の声を上げることができます。また、保護者に子どもの教育を促し、若者が安全でいられるための、性と生殖に関する情報やサービスが確実に得られるようにすることもできます。また、児童婚を認めることを拒むこともできます。
- **少年と男性**は、しばしば早すぎる妊娠の原因である暴力に反対の声をはっきりと上げることができます。また、仲間の早婚を非難し、自分の結婚は確実に平等な関係の大人同士の結びつきとなるようにすることができます。そして、性的決断について責任を取り、安全なセックスを実践することができます。
- **他に誰かいますか・・・**

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

少女の望まない妊娠を防ぐことについて、共に協力して支援をする誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、早すぎる妊娠を防ぐ責任を負っている人々が、必ず行動を起こして少女の人権を守るようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。



HIV は若い女性や少女の人生に どのような影響を与えるのでしょうか

私たちはどのようにして HIV の感染を防ぎ、感染者に対する差別や偏見に立ち向かうことができるのでしょうか。

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）と AIDS（後天性免疫不全症候群）について考え、話をすることは健康であるために重要なことの一つです。HIV は性感染症（STI）で、主に無防備なセックス（コンドーム不着用でのセックス）、または血液（麻薬使用の際の注射針の共有）を通して感染します。そして HIV から AIDS という病気に発展します。HIV 陽性の人が長生きし、充実した人生を送ることを助ける薬剤も存在しますが、残念ながら未だに AIDS を治すことはできません。HIV 陽性であろうとなかろうと、HIV 感染のリスクは性と生殖に関する健康、判断、行動に影響をもたらします。

現状データ⁵

- 新しく HIV に感染した人々のうち、過半数（60%）は 15 歳～24 歳の若い女性です。
- サハラ以南アフリカの女性は男性よりも 5～7 歳若い年齢で HIV に感染をします。
- サハラ以南アフリカの 15～24 歳の女性は、若い男性の 2 倍 HIV に感染している可能性があると考えられています。
- HIV 陽性の女性は HIV 陰性の女性の 10 倍、暴力や虐待の被害を受ける可能性が高いとされています。
- 親密な関係にある相手から暴力を受けている若い女性は、HIV 陽性である可能性が 50% 高いとする調査結果もあります。

あなたの住むコミュニティや国で HIV は問題になっていますか。あなたの住む地域のどこで HIV、AIDS、検査、投薬、カウンセリングについての情報を得ることができますか。保健省、地域の保健所、病院、国連エイズ合同計画（UNAIDS）、国際 NGO、地域 NGO など…

⁵ 国際連合同エイズ計画（UNAIDS）ギャップレポート 2014（The Gap Report, 2014）
<http://www.unaids.org/en/resources/campaigns/2014/2014gapreport/gapreport>
 国連人権高等弁務官事務所（OHCHR）、性と生殖に関する健康と権利についての情報集 2015（Information Series on Sexual and Reproductive Health and Rights, 2015）
<http://www.ohchr.org/EN/Issues/Women/WRGS/Pages/HealthRights.aspx>

あなたは知っていましたか？

- ジェンダーに基づく暴力やその他性差別的行動や考え方（児童婚、早婚、強制婚や、女性器切除（FGM）など）により、少女や若い女性は HIV に感染するリスクが高くなっています。こうしたおこないは彼女たちの心身の幸福を害するものであり、保健サービスや検査を求める妨げにもなっています。
- 強制的性行為（セックスを強要されること）、虐待、搾取、レイプ、人身売買などによって、少女たちはより HIV に晒されています。さらにその結果としてうつ病、麻薬やアルコール中毒、妊娠婦死亡、自殺など、その他多くの健康問題に陥ってしまいます。
- 検査や医療ケアを求め、受けるにあたって最大の妨げとなっているのが、偏見や差別を受けることへの恐れです。HIV 陽性の少女や女性たちの中には、家族やパートナーから暴力を受けたり絶縁されたりすること、また、検査結果に対するプライバシーが守られないため、コミュニティの恥とされ追放されることを恐れる人がいます。そうした差別や偏見のせいで、ホームレスになったり、仕事を失ったり、強制的に不妊手術をされたりするケースもあります。
- 少女や若い女性たちは、HIV 陽性や AIDS を患う家族の面倒をみるうえでより重い負担を負い、彼らのケアをおこなうために学校を中退しなければならないこともしばしばあります。

HIV に最もかかりやすいのは誰ですか。

若い女性や少女たちは特に HIV に感染しやすいとされています。というのもジェンダー不平等により社会的立場が低く、暴力や性暴力の被害に苦しむ割合が高いからです。さらに、先住民族、移住者、難民、避難民などといった社会的に無視されるグループに属する少女や女性は、HIV に感染する確率がより高くなっています。それに加え、性労働者、注射による薬物使用者、トランスジェンダーの人々の HIV 感染率も高くなっています。他の国や地域に比べて HIV 感染率

“

有害なジェンダーの規範や慣例、妊娠や出産にまつわる文化的認知や信条、医療サービスに対する不信感などすべてが HIV 予防と治療への障壁になりかねません。特に女性はジェンダーに基づく不平等な力関係や偏見に苦しみます。”

国連合同エイズ計画(UNAIDS) 『ジェンダー問題: 子どもたちへの新たな HIV 感染を予防し、母親たちの生命を守るために、ジェンダーの壁を乗り越える』 2014 年

の高い場所がある（最も感染率が高いのはサハラ以南アフリカ地域）ものの、性行動が活発で安全な性行為を行わない人すべてが、HIV に感染する可能性が高いということを知っておくことも重要です。

誰が最も HIV に感染しやすく、最も偏見や差別を受けやすいのかを知るために、地域レベル、国レベルで HIV について調査をすることが重要です。そして、HIV の更なる感染を防ぎ、すべての人々に質の高いケアを確実に提供するために、彼女・彼らと共に取り組むことが重要です。

あなたの権利は何ですか。

世界人権宣言の中で、HIV 陽性の人々の人権に関連した事項には以下のようなものがあります。

1. **健康と生命の権利**には、HIV 予防、治療、ケア、サポートが整っていて、利用可能である（無料もしくは低料金で提供されている）ことが含まれます。感染症の予防、治療、抑制は各国政府の責務でもあります。
2. **プライバシーの権利**とは、検査を受ける際には本人の同意が必須で、また HIV 検査結果に関するいかなる情報も公表されないということです。

3. 科学の進歩の恩恵を享受する権利は、薬剤、特に HIV 陽性者にとって幸せで健康な生活を送るために欠かせない薬剤、抗レトロウイルス薬が入手できるということにつながります。
4. **決定する権利。**妊娠中もしくは将来子どもを出産したい HIV 陽性の女性には、妊娠をするかどうか、それはいつにするのか、子どもを何人産みたいのかなどについて決定する権利があります。またこの権利によって女性は、強制的な不妊手術や強制的な中絶から守られます。
5. **差別を受けない権利は、** HIV 陽性者が、医療従事者、その他サービス提供者、コミュニティの人々、仕事の同僚、さらには家族からも不当な扱い、差別的な扱いを受けることがありふれていることから、非常に重要な意味をもちます。

持続可能な開発目標



目標 3 = あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ターゲット 3.3=2030 年までに AIDS、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶すると共に肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.3=未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。

ターゲット 5.6 =国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。**つまり、** 国には、HIV 予防（教育、情報、コンドームの提供など）や HIV 陽性者のケア（無料かつプライバシーを保護した検査と抗レトロウイルス薬の提供など）、偏見や差別が容認されないことを保証するための、あらゆるサービスを提供する責任があります。

HIV の感染を防ぎ、偏見と差別をなくす役割を果たせるのは誰ですか。

- **少女や若い女性**には、HIV 陽性、陰性にかかわらず、HIV や受けられるケアについて、また性と生殖に関する健康と権利などについて学ぶことができる、「セーフ・スペース」が必要です。そうした場所は、HIV 陽性の少女やあらゆる世代の女性たちが検査や治療を受け、彼女たちに対する不当で差別的な姿勢や行動に立ち向かう力を培う助けになります。
- **保健医療従事者**の第一の責務は、女性、若い女性、少女たちに、彼女たちの尊厳とプライバシーを守る偏見のない姿勢で、性と生殖に関する情報やサービスをできる限り多く提供することです。保健医療従事者はすべての患者のプライバシーを保護しなければなりません。また、保健医療従事者は HIV 陽性者に、カウンセリングや社会的支援について情報を提供することもできます。
- **地方自治体**は、包括的な HIV ケアを提供するプログラムや資金を確保しなければなりません。これには、HIV 予防のためのキャンペーン、若い女性

や少女が利用できる検査、若者のためのカウンセリング、薬剤へのアクセス、そして女性や少女の権利を保護するためのコミュニティによる広範な支援システムなどが含まれます。

- **国**は、HIV 陽性者を犯罪者とする、もしくは差別をするような法律や、感染のリスクを高める行動（性労働、同性愛）を犯罪とする法律が存在しないことを確保しなければなりません。同様に、HIV 検査や治療の妨げとなる、両親や配偶者の同意を必要とする法律も存在してはなりません。こうした法律のすべてが HIV 予防と検査の妨げとなり、平等の権利、差別をしない権利に悪影響をもたらします。すべての人が検査を受けられるようにならなければなりません。
- **警察**は、HIV 陽性かどうかに基づいて、ある行動が犯罪に相当するかどうかを判断してはなりません。また警察は、HIV 陽性者に対する暴力や暴力の脅威について対応をしなければなりません。関連して、児童婚、早婚、強制婚（CFFM）といった有害な慣行は、法に反しており、捜査が行われなければなりません。
- **教師**は、包括的で事実に基づいた、HIV 予防、治療、ケアなどを含む性と生殖に関する健康についての情報を提供しなければなりません。
- **コミュニティリーダーや宗教指導者**は、事実に基づいた、HIV 関連の性と生殖に関する情報を地域の人々に広く提供し、HIV 陽性者に対する社会的許容とケアを促すことができます。
- **男性と少年**は、自身の妻や家族が病気になったときに、介護者の役割を担うことができます。また、自身のパートナーが検査を受けるよう促したり、HIV と共に前向きに人生を送れるよう支援したりすることもできます。安全な性行為をすることができます。
- **他に誰かいますか・・・**

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

HIV 陽性の女性、特に若い女性と少女について、共に協力して支援する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり HIV 予防、検査、治療、ケアを確保する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして若い女性や少女たちが持っている特有の懸念や現実に関心を当てるようにするようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

性と生殖に関する健康と権利

性と生殖に関する健康と権利とはどのようなものでしょう。そして、私は、どのようにしてこの権利を守り、行使することができるのでしょうか。

あなたの性と生殖に関する健康は、あなたの健康と幸福の一部です。体のさまざまな機能やどのように成長するのかに関する情報や知識が多ければ多いほど、性と生殖に関する健康を維持できる可能性が高くなります。いつ、誰と性行為を持つのか、子どもを産むのであれば、いつ、何人産むのか、そして望まない妊娠や、HIV のような性感染症から身を守る方法を自分で自由に決定できるとき、あなたは、自分の性と生殖に関する権利を行使していることになります。

性と生殖に関する健康と権利のニーズは人によって異なります。若い女性のニーズは若い男性のものとは異なっています。彼女たちが権利を行使する時には異なる障害に直面します。同様に、農村地域の出身であったり、宗教的背景、文化的背景、民族的背景がさまざまであったり、そして教育のレベルが異なることにより、若い人が性と生殖に関する権利を行使する際の知識、ニーズ、能力、資源のレベルは異なります。また、妊娠している若い女性、母親である若い女性、HIV と共に生きている若い人、性的に活発な、または、性暴力やジェンダーに基づく暴力を経験した若い人のニーズは、それぞれ異なることに注意するのも重要です。しかし、そうした背景の違いにかかわらず、すべての若い人は、自分の性と生殖に関する健康と権利が守られる価値があるのです。

若い女性の性と生殖に関する健康に関して重要なのは、彼女たちがニーズや現実に対応した保健サービスを利用できるようになることです。差別や偏見の心配をせずに、避妊の方法に関する情報を得られる場所があること、秘密厳守で HIV 検査を受けられること、出産前後の健康管理サービスを求めることができることなどは、すべて性と生殖に関する権利を実現するために不可欠な要素です。

しかし、情報だけでは不十分です。自分が望まない性行為も多々あります。家庭内、または家庭外（学校、教会、職場、刑務所、難民キャンプなど）で起こる性的虐待によって、若い女性や少女は身体的にも、精神的にも準備ができる前に、彼女たちの意志に反して性行為を強要されます。残念ながら、若い女性や少女は、特に児童婚、ジェンダーに基づく暴力、レイプのような虐待の被害を受けやすいのです。性差別に起因し、若い女性の健康をさらに深刻な危険にさらす要因には、女性器切除の慣習、利益と引き換えの取引的な性行為、性的目的の人身売買、妊娠につながる暴力、コンドームの使用を交渉する能力の欠如などがあります。

すべての人には、自分の体を健康にし、心地よい関係を保ち、暮らしを守るためにさまざまな情報を理解したうえで意志決定をする権利があります。尊厳と敬意をもって扱われることは、すべての人がもつ人間としての権利です。性と生殖に関する健康と権利は、人生の基本的な部分であり、それがなければ、若い女性は今を楽しむことも、未来を決めることもできません。

現状データ

- 毎日100万人が、性感染症にかかっています。
<http://www.unfpa.org/sexual-reproductive-health>
- 146 カ国において、保護者が同意した場合には、18歳未満の少女の結婚を認める地方自治体の法律や慣習法があります。
<http://www.unfpa.org/human-rights#sthash.UUDc3NLU.dpuf>
- 5人に1人の女性が少女のころに性的虐待を受けています。
<http://www.unfpa.org/gender-based-violence>
- 妊娠や出産関連の原因による死亡は、15～19歳の少女の死亡の主要な原因の一つです。
<http://www.savethechildren.org/atf/cf/%7B9def2ebe-10ae-432c-9bd0-df91d2eba74a%7D/ASRHR%20UPDATE%202014.PDF>

“思春期の少女や若い少女が妊娠した場合には、貧困の悪循環へ陥る傾向があります。なぜならば、若くして母親になることにより、学歴や経済力、そして満足できる社会生活をあきらめざるを得ない場合が多いからです。”

www.astra.org.pl/pdf/publications/Webready_Factsheet.pdf

あなたは知っていましたか？

誰でも、特に若い女性は、自分のヘルスケアの必要性をないがしろにされる可能性があることを。人権侵害を受ける可能性がより高いとされる若い女性や少女には以下のような女性・少女がいます：

- 高等教育を受けていない
- 低所得の家庭で暮らしている
- 障がいを持っている
- HIV や AIDS と共に生きている
- 移民または難民である
- 紛争、自然災害、またはコミュニティからの排除などの困難な状況の中で生きている
- ジェンダー規範に一致していない（レズビアン、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックス、クエスチョニングなどである）

“女性が無力な状態におかれることは、深刻な健康への危険（ヘルス・ハザード）へとつながります。⁶”

⁶ Cook Rebecca 『生殖に関する健康と人権：医療、倫理、法律の統合』（Reproductive Health and Human Rights: Integrating Medicine, Ethics and Law), Oxford Press 2003

あなたのコミュニティでは、セクシュアリティや性行為がどのように受け入れられているか、または受け入れられていないかをより深く理解するために以下のような質問をしてみましょう。

- 若い女性は性行為や生殖に関する情報をどこで探すことができますか。
- 保護者または夫の許可がなくても、若い女性は（既婚であっても、未婚であっても）診療所に行って避妊の相談をしたり、HIV 検査を求めることができますか。
- あなたのコミュニティでは、同性愛のカップルはどのように扱われていますか。
- 障がいをもつ人、特に彼らの性的な欲求や権利に関しては、どのように扱われていますか。
- HIV または AIDS と共に生きている人は、どのように扱われていますか。
- 女性または少女がレイプされた時、彼女の家族、コミュニティ、警察は、彼女をどのように扱いますか。

最も暴力の被害を受けやすいのは、どのような人なのか、そして、その人たちがどのようにして積極的に自分たちの権利を守り、行使するために行動できるのかを理解するために、地域および全国レベルで、性と生殖に関する健康と権利を調査することが重要です。

あなたの権利は何ですか。

世界人権宣言(UDHR)と国際人口開発会議(ICPD)の行動計画から、性と生殖に関する権利の一部を紹介します。それは、若い女性の幸福の鍵となる権利です。

1. 最高水準の性と生殖に関する健康を得る権利や、性と生殖に関するヘルスサービスを利用できる権利。つまり、あなたには、性と生殖の健康に関して十分な情報を得たうえで、何かを決断するのに役立つサービス、医療、そして情報を利用する権利があります。

2. セクシュアリティや性教育に関する情報を求め、それを受け取り、それを伝える権利。つまり、あなたは性と生殖に関する情報を求めたり、手に入れたり、伝えたりしていいのです。
3. 自分の身体のこととは自分で決める権利。つまり、あなたは自分の体に対して何をおこなうのかを選択することができます。そして、あなたの許可なしに、あなたの体に触れたり、何らかの行為をおこなう権利は、誰にもないのです。
4. パートナーを自分で決め、性的に活発であるかそうでないのかを選択する権利。
5. お互いに同意したうえで性的関係をもち、自分の自由な意思で完全に合意したうえで、結婚する権利。つまり、あなたは誰と結婚するか、誰と性行為をもつのかを選択することができます。そうすることに対して、お互いの意見が一致し、お互いに同意していなければなりません。
6. 子どもを産むかどうか、いつ子どもを産むのか（子どもの数や出産間隔）を決定する権利。
7. 安全で満ち足りた性生活を追及する権利。

同意とは何ですか。これは、性と生殖に関する健康と幸福に密接な関係があるととても重要な概念です。同意とは他の人が何かをすることに許可を与え、承諾することです。性的関係に同意するということは性行為をおこなうことを承諾するということを意味します。同意の上の結婚とは結婚することにお互いが承諾したということです。同意は強制や力づくでさせるものではなく、また 18 歳未満の人がおこなうことはできません。したがって児童婚は違法です。なぜなら 18 歳未満の少女は同意することができないからです。

持続可能な開発目標



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.6 は、国際合意に直接言及したものであり、その国際合意は、ジェンダー平等、非差別、そして性と生殖に関する健康と権利は、人間の成長にとって不可欠であるという認識を示したものです。「国際人口開発会議の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。」

つまり、あなたの国の政府は、地方レベルでも国レベルでも性と生殖に関する健康と権利に関連するサービスをすべての人に提供しなければなりません。そのサービスは、すべての人にとって利用しやすく、手に入れやすく、そして受け入れやすいものでなければなりません。

若い女性や少女が確実に性と生殖に関する権利を享受できるようにする役割を果たせるのは誰ですか。

- 性と生殖に関する健康と権利に関して、自分の選択枝や自分の体について学び、質問できる「セーフ・スペース」を与えられた少女や若い女性は、自信と知識を得、安心して健康で幸福な暮らしを送ることができます。
- 家族は、若い女性や少女が無理やり交際させられたり、結婚させられたりしないようにする；小学校よりも上の学校に通えるように支える；家庭内

で尊重され平等に扱われるようにする：性と生殖に関する情報やサービスを求めるための支援が受けられるようにする役割があります。

- 保健医療従事者は、若い女性と少女に特有のニーズを理解し、若者が利用しやすい環境をつくり、さまざまな避妊方法や、HIV 検査などの性と生殖に関する健康への医療行為やサービスを提供すべきです。保健医療従事者はまた、DV やジェンダーに基づく暴力のケースを把握する訓練を受け、彼女たちが医療や他のサービスにより確実に支えられるよう、カウンセリングをする役割があります。
- 教師はすべての生徒が十分な情報を得たうえで、性と生殖に関する決定をできるように確実に情報を与える包括的な性教育をおこなう役割があります。また、暴力の被害を受けやすい少女や、児童婚が疑われるケースを特定する役割があります。
- 警察や裁判所は、児童婚、女性器切除、またはほかの何らかの形の差別などのジェンダーに基づく暴力を止める義務があります。警察は、事件を捜査し、確実に女性を保護し、ほかの司法機関と協力して公正な裁判がおこなわれるようにすべきです。
- 地方自治体は、特に若い女性や少女の性と生殖に関する健康やニーズに配慮した、若者向けの医療サービスを提供するために、プログラムや資金を確保しなければなりません。
- 宗教指導者やコミュニティリーダーは、性と生殖の健康の重要性について住民を教育する役割があります。また女性や少女に対するいかなる形の暴力、特に児童婚や女性器切除に対して声を上げ、ジェンダー平等を損なう宗教的な教えに対して異議を唱える役割もあります。

- **少年と男性**は、安全な性行為についてパートナーと率直に話し、保健所で情報やサービスを求めるようパートナーを支援する役割があります。彼らはまた、DV や他の暴力、そしてそれらが若い女性の健康に及ぼす悪影響に対して声を上げる役割があります。
- **他に誰かいますか・・・**

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

性と生殖に関する情報やサービスの利用をさらに促すために、
あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

若い女性や少女が求めている性と生殖に関する情報を入手できるよう、
共に協力する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、性と生殖に関する情報やサービスをすべての女性が
確実に手に入れられるようにする責任を負っている人々が、必ず行動を起こして少女の人権を
守るようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

平和、安全、ジェンダー平等

安全で平和な、そして平等なコミュニティや国を手に入れるにはどうしたらよいでしょうか。

コミュニティや国民が戦争や武力衝突によって苦しんでいる時には、女性、若い女性、少女の安全および幸福は、ジェンダー差別や社会における彼女たちの低い地位のために、さらに大きな危険にさらされます。紛争地の女性は、初めはレイプ、性奴隷および強制妊娠のような恐るべき犯罪に直面し、紛争後には和平会談や復興からも除外されるため、二重に差別を受けます。武装勢力はテロや脅迫の一形態として性暴力を使用します。そのような人権の粗暴な侵害は計り知れない苦しみや大量の避難民を生み出します。その大多数は安全や生き残りを求める女性や子どもです。若い女性や少女が難民となった場合は、性暴力や児童婚などの虐待行為を受けやすくなります。

YWCA は女性、平和および安全保障に関する「国連安保理決議第 1325 号」を支持し、その実施を支援しています。これは 4 つの分野からなっています。事前防止、参加、保護そして平和の構築と復興です。全世界の YWCA は平和、正義、平等および人権の尊重に対する解決策の一部として、若い女性のリーダーシップを築き上げています。若い女性や少女は、武力衝突の防止および解決にいかんして参加し、公正で持続する平和を構築するかを学ぶことができます、セーフ・スペースが必要です。紛争中および紛争後の国々では、女性、若い女性および少女が和平交渉や紛争後の再建、復興に参加し、意見をきいてもらうことは重要です。若い女性の意味のある積極的な参加は永続的な平和への鍵となります。女性が正義を手にし、将来の犯罪を防止できるようにするためには、処罰無しにはせず、戦争犯罪に責を負うべきものを訴追することが、持続可能な平和を築くための和解、賠償および市民による真実の追及と同じくらい重要なのです。真に持続可能な平和はジェンダー平等および正義が広く行きわたった時にのみ達成されます。

現状データ

- 女性および子どもは避難民や難民の大多数を占めています。

<http://www.unwomen.org/en/what-we-do/peace-and-security#sthash-6eiYOawe-dpuf>

- 女性の警察官がいることは確実に性暴力の告発につながります。それでも平均すると女性警察官は10%に過ぎません。
- 和平協定に署名する女性は僅か 3%に満たず、和平会談の交渉テーブルに代表としてつく女性は10%未満です。
- 国連の平和維持軍で働く女性は 3%のみであり、その大多数はサポート要員として雇用されています。

<http://wps.unwomen.org/~media/files/un%20women/wps/highlights/unw-global-study-1325-2015.pdf>

武力衝突や戦争の際に最も被害を受けやすいのは誰ですか。

- 女性と子ども、特に若い女性と少女、高齢女性、障がいを持つ女性
- 言語、民族、宗教における少数派の女性

“ 女性の参加や活動に女性を加えることは、人道的支援をより効果あるものにし、平和維持者が取り組む保護活動を強化し、和平会談の締結や持続可能な平和の達成に貢献し、経済の回復を加速させ、暴力的な過激主義に対抗するのに役に立ちます。

”
ブムジレ・ムランボ＝ヌクカ
UN Women 事務局長



誰が人権侵害の被害を受けやすいか、そしていかにその人たちが平和を持続し、衝突を防ぐことに関わるかを理解するために、地域および国における武力衝突を調査することが重要になります。以下のような質問をしてみましょう。

- コミュニティ、国および地域レベルでの平和の維持および持続可能な開発活動への若い女性の参加レベルは現在どの程度か。
- 若い女性がどのような課題に直面し、どのようにすれば彼女たちのこれらの活動への参加がより高く評価され、強化されるのか。
- 若い女性が参加することにより、コミュニティ、国および地域レベルで、どのように持続可能な平和および開発の達成の手助けとなるのか。
- 若い女性が持続可能な平和および持続可能な開発の役に立つ担い手として従事できるよう、その能力を育成するためには、国連、政府、その他の政府間組織および NGO は今後どのような活動をすべきか。



危機的状況の予防、解決、平和の構築そして平和の確立のより早い段階から、女性が参画し、若い人々が関われば激しい武力衝突の再発の可能性は低減します。若者や女性の貢献度および役割はしばしば過小評価され、登用不足であり、軽んじられています。その結果、政治的、社会的および経済的回復や、更には包括的統治および安全保障への彼らの長期的で有意義な参画には、適切な支援が欠けがちです。



2017年1月24日、ニューヨークにて、国連総会議長：国連総会のハイレベル対話「すべての人のための持続可能な平和構築」

あなたの権利は何ですか。 平和および安全保障を作り出し維持することに関する国際的な指針となる原則および人権には以下のものがあります。

1. 女性、平和および安全保障に関する**国連安保理決議第1325号**は女性が平和の樹立に参画し、人権侵害からさらに保護され、差別を排除するために司法機関および公共サービスにアクセスできるように要求しています。
<http://www.unwomen.org/en/what-we-do/peace-and-security#sthash.KLWO3vdd.dpuf>
2. **戦時における文民の保護に関するジュネーブ条約(1949年)**は、女性が屈辱的かつ品位を貶める扱いを受けること、レイプ、強制売春およびあらゆるわいせつ目的の暴行などから保護されるべきものと規定しています。
3. **北京行動綱領**は、紛争の解決への女性の参加や、武力衝突の状況下での女性の保護を向上させることなどを通して、紛争を解決するためにジェンダーの視点を取り入れることを要求しています。
4. これに関連した**5つの国連安全保障理事会決議、第1820号(2009年)、第1888号(2009年)、第1960号(2010年)、第2106号(2013年)、第2282号(2016年)**があります。

これらはすべて、平和の樹立における女性の有意義な参加、および紛争で女性、若い女性および少女が体験した暴力の認定に関する議論を更に強化することを求めています。そこでは以下の課題が強調されています：性暴力の認識・予防および処罰、平和の確立および紛争予防におけるリーダーとしての女性の積極的な役割、平和構築からの女性の排除および紛争後の回復期における女性のニーズを軽視することを終わらせる必要性、司法および安全保障制度の刷新などの紛争後の再建においてますます大きくなる女性の役割、などがあります。

持続可能な開発目標



目標 16 =平和と公正をすべての人に

ターゲット 16=持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。この目標は子どもに対する暴力、性暴力および人身売買に関するターゲットを含んでいます。

さらにこの目標は、「持続可能な平和は、社会のすべての構成員がエンパワーされ、包摂されている場合のみ達成できるということを[認識して]、今日の複雑で互いに関連しあった世界において、持続可能な開発、人権、集団的平和および安全保障をすべての人びとがどうやって前進させることができるか」ということを明らかにしています。

紛争を予防し、平和を築き上げ、これを維持することに女性、若い女性および少女が確実に参加できるようにする役割を果たせるのは誰ですか。

- 難民、避難民および移民の女性、若い女性および少女は、紛争を予防し、解決し、持続可能な平和に貢献するための意思決定に参加し、影響を与えられるよう、支援を受けることができます。
<http://www.unwomen.org/en/what-we-do/peace-and-security#sthash.6eiYOawe.dpuf>
- 政府は、紛争を予防し、解決し、平和を維持し、推進する活動に、確実に女性を平等に参加させる責任を負っています。

- 平和および復興を担う国際的 NGO はプログラムのすべての局面において、女性の参加者が確実に男性と同人数になるようにすることができます。初期の状況評価や問題点の把握から、対話への参加やプロジェクトの実施に至るまですべてにおいてです。
- コミュニティリーダーや宗教指導者は平和の構築、和解および復興に関して、コミュニティが主導する話し合いおよび意思決定に女性、若い女性および少女を含めることができます。
- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは、どのような紛争の悪影響があり、誰が最も影響を受けますか。

あなたのコミュニティで紛争を減らし、止めさせるために何ができますか。

あなたがより多くの情報や支援を得るために、誰に働きかけますか。

あなたが平和の樹立および紛争の低減について、共に協力して支援をする
誰かまたは組織がありますか。

あなたは、平和を確保し、紛争を回避する責任を負い、また権限を有する立場にある人々が、
確実に若い女性や少女に特有の不安や現実に注目するにはどうすればよいと思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』
を、もう一度読み返してください。そこには、こ
こでの課題やそれに関連する人権についての話し合
いや学びが書かれています。このガイドを通して、
若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権
のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を
立てるよう取り組んでください。



公正な気候変動への対応と ジェンダー平等

公正な気候変動への対応とはなんなのでしょうか。
何が起きていて、気候変動にどのように対応できるのでしょうか。

気候変動とは、長い期間でみた通常の天候パターンと大きく違うものを言います。地域レベルで実感する気候変動もありますし（たとえば、洪水や干ばつをもたらすような降水量の増減）、地球レベルで実感するもの（世界的な気温や海面の上昇）もあります。天候パターンの変化は天気や環境へ予測不能な影響をもたらし、それらはしばしば破壊的で、特に女性や、若い女性や少女にとって危険なものです。

ジェンダーの不平等は豊かな国でも貧しい国でも、気候変動による悪影響を増幅させます。貧しい人々の大半を占める女性は、気候変動の悪影響に対応する手段をあまり持っていません。土砂崩れ、洪水、ハリケーンなどの自然災害による短期的影響も、海面上昇や森林破壊などによるよりゆるやかな環境破壊による長期的影響も、女性やその家族の福祉や生命を危険にさらします。さらに、農業、食の安定供給、生物の多様性や生態系、水資源、人類の健康、定住や移住のパターンなど生活の多くの重要な部分に影響を与えます。これらの変化に対処するための女性の能力は、経済的、政治的、社会的障壁によって制限を受けています。（世界 YWCA 『私たちの 2035 年への共通目標』）

現状データ

- 自然災害時、女性や子どもが死亡する可能性は男性の 14 倍です。

https://www.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/climateconnections_1_overview.pdf

- 途上国では主に女性や少女が水汲みをします。実際、サハラ以南アフリカの 25 カ国の分析によると、この地域での水汲みの 71% を女性と少女がおこない、すべて合わせるとたった一日で女性は推定 1,600 万時間を水汲みに費やしていることが明らかになりました。詳細は以下を参照：

<http://beijing20.unwomen.org/en/in-focus/environmental#sthash.2E67d2YJ.dpuf>

- 途上国では、女性が60～80%の食料を生産する一方で、2%未満の土地しか所有していません。
<http://www.foundation.org/what-we-do/campaigns-and-initiatives/universal-access-project/briefing-cards-srhr.pdf>

- 気候変動を防ぎ、悲惨なその影響に適応するうえで、女性は、消費者、起業家、農業従事者、育児・介護者として、またそれ以外にもさまざまな重要な役割を担っています。女性は気候変動が生んだ難民の大半を占め、多くの場合もっとも被害を受けやすい土地で暮らしていますが、人々や地球のために解決策を見つけ、変化した現実に対処する日々の改革者でもあります。(Women Deliver)
<http://womendeliver.org>

“災害以前の[女性の]人生を規定するジェンダー不平等が、災害後に彼女たちを非常に大きなリスクにさらしています。”

カヴィタ ラムダス (Kavita Ramdas)
女性のための世界基金 (Global Fund for Women)

あなたは知っていましたか？

- 女性は食料生産、食の確保、料理や暖房、衛生的な生活水の汲み取り、家族の健康、家計収入の獲得、家畜と自然資源の管理に従事するため、気候変動への適応や準備の方法についてしばしば男性よりも精通していますが、彼女たちは殆どの場合、地域や国の計画策定やプログラム作成から除外されています。
- 気候変動について話し合う際、非常に多くの場面で、あらゆる年齢の女性が被害にあいやすい弱い存在とのレッテルを貼られ、適切な知識やリーダ

ーとなるような専門性を有していないと見なされています。気候への対処や適応の計画策定では、女性はしばしば意思決定プロセスから外され、彼女たちの意見には耳を傾けられていません。

- 食料が不足し、作物の収穫が不安定になり、食料価格が上昇すると、家族の健康や生活を守るための女性への負担が一層大きくなります。
- 燃料（薪など）が手に入りにくくなったとき、女性と少女はより遠くまで足を運ばなければなりません。それは、彼女たちにより長い時間を費やさせ、ハラスメントや性暴力の危険にさらすこととなります。
- 気候変動により人々が居住地を変わらなければならなくなったとき、少女や若い女性を含むすべての女性が、児童婚、早婚、強制婚などの性暴力にさらされる危険性が高くなります。

気候変動の影響による被害を最も受やすいのは誰ですか。

農村地域で暮らしている貧しく、力を奪われている人々、特に収入や生活を自然資源に依存している女性や少女が、もっとも被害を受けています。さらに、先住民族の女性や海岸地区や干ばつに苦しむ地域、土砂崩れや洪水の被害が多い土地の周辺に住む女性は、一層気候変動の影響を受けやすくなっています。

これらの環境への影響から最も被害を受けている人々は誰で、どのような方法で彼らを気候変動の防止、気候変動への適応や対応に参画してもらうかを理解するために、地域や国レベルで気候変動を調査することが重要です。

あなたの権利は何ですか。

以下に、気候変動への取り組みに関係するいくつかの国際的な指針となる原則や人権を紹介します：

1. **国連気候変動枠組条約（UNFCCC）と直近のパリ協定（2016）**は、温室効果ガス（二酸化炭素など）放出量の削減や世界の平均気温上昇を摂氏 2 度未満に保つことへの義務に関する、各国政府間の国際協定です。
2. **北京行動綱領**の非常に重要な部分の一つが「女性と環境」で、以下のことを強調しています。環境に関するすべてのレベルでの意思決定への女性の積極的な参画、政策やプログラムに女性の懸念事項や視点を組み入れること、開発および環境政策が女性に及ぼす影響を見極める方法を確立すること。
3. **先住民族の権利に関する国際連合宣言**（Declaration on the Rights of Indigenous Peoples）は、土地や領土、資源の使用に関する決定と計画策定に対する先住民族コミュニティの権利を保障しています。つまり、自然資源の管理に関する専門性や経験がある先住民族こそ、土地、気候変動への対処や適応に関して決定する権利を有する、ということです。
4. **発展の権利に関する国連宣言**（The UN Declaration on the Right to Development）は、すべての人権の実現のためには発展の全領域で国民参加が重要であることを強調し、女性が積極的に参加することを求めています。つまり、女性、若い女性や少女は、気候変動に関する協議、アセスメント、プログラムやプロジェクトの立ち上げ、それらのプロジェクトの実施とアセスメントに貢献する権利を有する、ということです。

持続可能な開発目標



目標 13 =気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 13 には後発開発途上国での効果的な気候変動関連計画の策定と管理のための能力を高めるメカニズムを促進させるためのターゲット（13b）があります。これは女性、青少年、地方や社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てることを含みます。つまり、各国政府は、気候変動の影響を減少させ、不安定な環境に対処する方法をよりの確に特定するためのプログラムとプロジェクトの開発チームに、若い女性を含めなければならない、ということです。

リスクの減少と気候変動への対応において、役割を果たせるのは誰ですか。

気候変動の影響を緩和し、対応することにおいてはすべての人に役割があります。個人、集団、またネットワークとしての市民社会は、気候変動による悪影響への課題や、その解決策を見極めるための、包括的な協議の場を求める行動を起こすことができます。政府や民間企業が環境の悪化に対し責任がある場合、市民社会は政府の責任を追及し、政府や企業に異議を唱えることができます。

国および地方の行政機関は、以下のことを保障する責任があります：

- 計画やプログラム作成において、農村地域の女性の経験や専門性と先住民女性の知識と伝統的慣習を考慮し、取り入れる包括的な協議。
- リスクの削減、事前準備、対応、災害後の活動などで協働する市民社会ネットワークに対する経済的またはその他の支援。
- 女性が国、地方、コミュニティレベルで、自然災害への対応や、災害後の対応に影響を与えるようなリーダーの地位に就くこと。
- 若い女性や少女が、地域社会の計画策定や啓発活動に貢献できること。

以下のウェブサイトから、ジェンダーと気候変動に関する情報が得られます。

女性の環境と開発に関する組織（Women's Environment and Development Organization）

www.wedo.org

グローバルジェンダーと気候同盟（Global Gender and Climate Alliance）

www.gender-climate.org

ジェンダーと災害のネットワーク（Gender and Disaster Network）

www.gdnonline.org

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための質問です：

あなたのコミュニティにおける気候変動の悪影響は何で、誰が最も被害を受けていますか。

あなたのコミュニティでは、何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

気候に関する課題や災害について、共に協力して支援する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり気候変動への準備や対応に対して責任を負っている人々が必ず若い女性や少女に特有の懸念や現実を重視するようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

性的目的の人身売買

性的目的の人身売買とはどういうことで、止めるには何ができるでしょうか。

性的目的の人身売買は、ビジネスとして増加しており、若い女性や少女にとっては、その脅威は増え続けています。性的目的の人身売買には、売春、ポルノ、ストリッパー、ライブセックスショー、売春ツアー、強制結婚などのために、人を集め、輸送し、売買することが含まれます。人身売買の大半の被害者は、騙され、裏切られ、脅され、強制的に性労働に従事させられる少女や若い女性です。人身売買業者は、絶望した人や十分な知識がない人につけ込む犯罪者です。人身売買は世界的な問題で組織犯罪と深く関わっています。

現状データ

- 世界全体で、人身売買のおよそ 20%は子どもです。
<http://www.unodc.org/unodc/en/human-trafficking/global-report-on-trafficking-in-persons.html>
- 毎年推定 550 万人の子どもが人身売買されています。
<http://www.unicefusa.org/stories/infographic-global-human-trafficking-statistics>
- 人身売買によって、1 年で 320 億ドルの利益が生み出されています。
- 推計で毎年 50 万～200 万人が人身売買によって、奴隷状態に置かれたり、売春、強制労働、苦役などに従事させられています。見つかった犠牲者のおよそ 80%は、女性や少女です。
http://www.un.org/en/events/endviolenceday/pdf/UNiTE_TheSituation_EN.pdf
- 性的搾取を目的とする人身売買の被害者の 96%は女性や少女です。
<http://www.equalitynow.org/traffickingFAQ>

あなたは知っていましたか？

人身売買された少女は、以下のような被害を受けることがあります。

- 屈辱的で残忍な扱い(レイプ、殴打、飢え、監禁)
- 強制的な薬物摂取
- 強制的な中絶、不妊処置
- 望まない、または強制的な妊娠
- 強制的な結婚
- 自分だけでなく、家族に対しての暴力の脅威
- 家族に自分の状況がさらされる脅威
- 骨折、打撲、やけどなどの怪我や健康上の問題
- アルコールや薬物の中毒
- HIV や他の性感染症への感染
- 心理的ストレスによる精神疾患
- 自殺の試み

性的目的の人身売買の被害に最もあいやすいのは誰ですか。

人身売買の被害者の大半は、貧しい女性、若い女性や少女です。子どもがターゲットになることも多く、高等教育を受けていない若い女性や少女は、人身売買の被害をより受けやすく、紛争中や不安定な国、自然災害や緊急事態にある地域の女性や少女は更に被害者になりやすくなります。また、文化的社会的ネットワークの中心から除外された人、社会から疎外された人は、最も被害を受けやすい人たちです。すべての世代の女性を社会的、政治的、経済的に不公平に扱う蔓延するジェンダー不平等は、彼女たちを人身売買に陥らせる環境を作っています。

誰が最も人身売買の被害者になりやすいか、どうしたら人身売買を撲滅する運動に彼らを参加させられるかを理解するためには、性的目的の人身売買の問題を地域、国レベルで調査することが重要です。

あなたの権利は何ですか。

ここに挙げるのは、性的目的の人身売買を阻止したり懲罰を与えることに関する人権文書の一部です。

1. 「人、特に女性および児童の取引を防止し、抑止しおよび処罰するための議定書」(2000)は、国際的な組織犯罪の防止に関する国際連合条約の補完的な役割を果たし、人身売買を犯罪としています。その目的は、人の人身売買を阻止し、根絶することで、例えば、人身売買の被害者を保護し、助け、また、この目的を遂行するために政府間の協力を促進することを目的としています。
2. 「女性差別撤廃条約」(CEDAW)は、被害者である女性への偏見を認識し、人身売買をジェンダーに基づく暴力の形態だとみなしています。CEDAW は、すべての国に、あらゆる人身売買や売春を通じた女性の搾取への適切な対策を取るよう呼び掛けています。
3. 人身売買に関する人権はたくさんあります。例としては、奴隷、苦役、強制労働や奴隷労働をさせられない権利、拷問または残酷、非人道的、屈辱的な扱いや罰を受けない権利、ジェンダーに基づく暴行を受けない権利などがあります。特に重要なことは、子どもは特別な保護を受ける権利があるということです。
4. 女性差別撤廃条約(第6条)と子どもの権利条約(第35条)は、人身売買について直接言及しています。

持続可能な開発目標



目標 16 =持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべて人に司法へのアクセスを提供すると共に、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。

ターゲット 16.2 = 子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

つまり、政府は、すべての人が人身売買の被害に遭うことから守り、人身売買の被害者、特に子どもに対して、支援を提供し、法的な行動を起こすべきです。

性的目的の人身売買を止める役割を果たせるのは誰ですか。

- 若い女性と少女は、自分たちの経験を分かち合う「セーフ・スペース」において、人身売買の危険性や回避の方法を学び、人身売買の危機に晒されている他の少女にとって、力強い擁護者になる役割があります。
- 若い女性には、学校や研修センター、その他政府の支援プログラムなどで提供される、教育、職業訓練、雇用機会が必要です。
- 政府や市民社会は、被害者になる可能性のある人々に注意喚起するための教育キャンペーンを支援し、人身売買がおこなわれた場合に、コミュニティに対して介入するよう求める役割があります。
- 教師や保健医療従事者は、人身売買の危険に晒さ

れている少女や若い女性を認識・識別できるように訓練を受ける役割があります。

- 保護者は、娘を学校に行かせ、彼女たちの教育を支援する役割があります。また保護者は、自分たちの子どもが奴隷として売られないようにすべきです。そして、人身売買の被害者になった若い女性は、家族から受け入れられ、世話を受ける必要があります。
- 宗教指導者やコミュニティリーダーは、人身売買の危険性やケアの必要性、人身売買の被害者を差別しないということを、人々に説く役割があります。
- 少年と男性は、人身売買について反対の声を上げる役割があります。
- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

共に協力して、人身売買を阻止する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、人身売買を阻止する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして少女の人権を守るようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。



女性と少女に対する暴力

それはどのようなもので、どのようにすれば防止できますか。

年齢にかかわらず、女性は生涯にわたって暴力の恐怖にさらされており、そういった暴力は世界中に蔓延しています。身体的なものであれ、精神的・心理的なものであれ、女性や少女への暴力は性差別の一形態です。また、そのような差別は常態化され、処罰されることもなく許されている傾向にあります。

VAWG（女性と少女に対する暴力）とはどんなものでしょう。国連の「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」は次のように定義しています。「ジェンダーに基づく暴力であって、女性に対して身体的、性的、若しくは心理的な危害又は苦痛となる行為、あるいはそうなるおそれのある行為であり、さらにそのような行為の威嚇、強制もしくはいわれのない自由の剥奪をも含み、それらが公的生活で起こるか私的生活で起こるかを問わない。」つまり、女性だからという理由だけでおこなわれる性差別なのです。暴力や暴言の脅威にさらされると、人は身体的にだけでなく、精神的にも危害または苦痛を被ることになります。権力を使ったり、力づくで女性の生活や体を支配しようとすることは、最も酷い性差別の形態です。暴力は家庭でも、仕事場でも、学校でも、公共の場でも起こり得ます。どこで起ころうと女性と少女に対する暴力は許されるものではありません。女性の尊厳を傷つけ、人権を脅かすものだからです。

現状データ

- 15 歳から 49 歳の女性のうち、3 人に 1 人が身体的、性的暴力を受けた経験があります。
- 15 歳から 19 歳の少女のうち、30%がパートナーからの暴力を受けたことがあります。
(2016 年 5 月) www.who.int/mediacentre/factsheet/fs345/en
- 5 人に 1 人の女性が、少女のときに性的虐待を受けたことがあります。
www.unfpa.org/gender-based-violence

どのような行為が「女性と少女に対する暴力」と見なされますか。

暴力にも色々な形態があります。以下はその例です。

- 早婚/強制婚/児童婚、女性器切除、その他有害な慣習；身体的虐待（平手打ちをする、叩く、やけどを負わす、殴る、蹴る）、性的虐待（レイプや性的接触の強要、強制不妊手術）、心理的虐待（叫ぶ、脅かす、中傷する、侮辱する）；身近なパートナーや配偶者からの暴力；配偶者間レイプ；孤立化（他の人に会ったり話すことをさせない）；魔術や花嫁持参金などの慣習による虐待と殺害；近親姦；児童買春と児童ポルノ；経済的暴力（仕事に就くことを許さない、家計を管理させない）；交際相手からの暴力（レイプ、酸を使用した暴力、職場や学校での性的虐待またはハラスメント）；女性と少女の人身売買、強制妊娠、ソーシャルメディア上での脅迫や虐待…

あなたは知っていましたか？

暴力を受けた若い女性には以下のような危険性があります。

- 望まない妊娠をする、または危険な中絶をする
- HIV あるいは他の性感染症に罹患するリスクが高まる
- 流産、死産、低体重児の出産
- 頭痛、腰痛、腹痛、運動機能障害、身体の不調などの、身体的な傷を負う
- うつ、不安障害、不眠症、摂食障害などの精神的疾患を負う。また、自殺率が高まる
- 孤立感に苦しみ、仕事に就くことができない。収入はなくなり、通常の生活ができない。自分の身の回りのことも、子どもの世話もできない。
- 特に少女の場合、暴力によって、喫煙、薬物、アルコールの過剰摂取につながることもある。



女性の身体的及び精神的保全に対するかかる暴力は、女性の人権及び基本的自由の平等な享受、行使及び認識を奪う結果となる。（中略）これらの形態のジェンダーに基づく暴力の根底に横たわる（構造的な）結果によって、女性の従属的な役割の維持が助長され、女性の政治参加の低水準、及び、女性の教育、技能及び労働機会の低水準につながる。



CEDAW 一般勧告第 19 号

誰が一番暴力を受けやすいですか。

何歳であっても、女性や少女は暴力の被害者になる可能性があります。しかし、人権侵害を受けているような女性は、生涯にわたって暴力を受ける可能性がさらに高くなります。

- 教育レベルが低い人
- 障がいと共に生きている人
- HIV/AIDS と共に生きている人
- 幼い時に強制的に結婚させられた人
- 移民・難民
- 紛争や自然災害にあった人、立ち退きさせられた人
- 子どもの頃に親の夫婦間暴力に曝された人
- 社会的なジェンダーの規範に一致していない人（レズビアン、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックス、クエスチョニングなど）

誰が一番暴力の被害を被っているかを理解するためにも、あなたの国、住んでいる地域で「女性や少女に対する暴力」について調べることは大事なことです。あなたの地域特有の形態の暴力が常態化しているかもしれません。

なぜそのような事が起きてしまうのでしょうか。

女性と少女に対する暴力が広がる要因はさまざまです。

- 女性と少女に対する暴力は、男性や少年に比べて、女性や少女をあまり重要でない、あるいは公平で平等な扱いには値しないと考える社会的態度に深く根ざしています。ジェンダー不平等や差別は、女性と少女に対する暴力の原因であり結果です。コミュニティや家族のなかで、女性や少女が男性と同等の力を持っていないと、暴力を受ける可能性は高くなり、助けを求める術も限られてしまいます。同時に、女性や少女への暴力は、女性の地位を男性よりもさらに低くします。
- 多くのコミュニティで暴力は容認されています。このような文化が暴力を正当化し、大目に見ているのです。男女が不平等な社会では、女性や少女が暴力を受けていても、無視されたり、軽視されます。
- 暴力や虐待に関して沈黙するという文化もあります。暴力を受けても、更に暴力がひどくなるのを恐れるか、または恥としたり非難されるのを恐れて、誰にも打ち明けることをしません。特に、暴力が日常的に行われている環境に置かれた子どもは沈黙という態度に出ます。
- 暴力事件の裁判では、無実になることが多くあります。たとえ法令があったとしても、正しく理解されていなかったり、無視されて、暴力の罪を犯しても処罰されないことがあります。
- 紛争や緊急事態が発生した時など、女性や少女に

対する暴力は増加します。彼女たちは家族から引き離され、社会的なつながりから離されてしまいます。彼女たちを守る法律も慣習も効力を失います。さらに、レイプなどさまざまな形での暴力は、戦争地帯では武器として使用されます。

- 文化や伝統と言われているような悪しき慣習は、女性と少女の人権を蹂躪し、彼女たちの健康と幸福を阻害します。（例えば児童婚/早婚/強制婚、女性器切除などです）

あなたの権利は何ですか。

以下に挙げる人権を参照すれば、「女性と少女に対する暴力」は国際法から見ても違法であることがわかるでしょう。

1. **子どもの権利委員会と女性差別撤廃委員会**は、すべての締約国は、「誰も、性差に基づく暴力を含め、女性と少女に対する差別に加担しないことを保証しなくてはならない。」そして、「差別を防ぎ、状況を調査し、犯人を罰し、被害者を救済しなくてはならない」、と明文化しています。つまり、第一に政府に暴力の発生を防いだり、または抑止する責任があるということです。政府の責任には、女性と少女から力を奪い、暴力を容認し続けるような社会、文化を変えていくことも含まれます。また、政府は、警察と司法機関が、暴力被害にあった女性と少女の話を聞き、重く事案を受け止め、犯人を探し出して処罰することを、保証しなければなりません。暴力に苦しんでいる被害者には、適切で妥当な医療ケアや補償を受ける権利があります。
2. **世界人権宣言(UDHR)**は、「何人も、拷問又は残虐な、非人道的なもしくは屈辱的な取扱もしくは刑罰を受けることはない。」と唱っています。つまり、誰もあなたに危害を加えたり、傷つけることは許されない、ということです。誰もあなたの尊厳を傷つけたり、幸福を阻害するようなやり方で扱ったり、罰を与えることはできないということです。女性と少女は、性差別によ

り、そのような扱いを受けることがよくあります。

3. 国際人口開発会議（ICPD）は、行動計画の中で「女性、青少年、子どもへのあらゆる形での搾取、虐待、ハラスメント、暴力 に対して、万全の対策を講じる」ことを各国に義務付けています。つまり、女性や少女の人権が守られ、恐怖にさらされることなく人生を謳歌するためにも、性差別による女性と少女への暴力は許してはならないのです。
4. 他にも女性と少女を暴力から守る人権があります。生存権、平等権、健康権、差別を受けない権利、などです。
5. ほとんどの国には、女性や少女を暴力から守る法律があります。あなたの地域の暴力を処罰する法律を調べ、どの程度執行されているのか、暴力を受けた女性と少女を支援できているのかを調べてみることは大切なことでしょう。

持続可能な開発目標



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.3＝未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。つまり、国は児童婚や FGM（女性器切除）を（例えばキャンペーンなどを通じて）防止する責任があります。そして児童婚が起きた時には少女を守る責任があります。（そのためには警察が違法な結婚から少女

を救出し、報復がないように安全を確保しなくてはなりません）。そして警察は、加害者が処罰されるように法的処置をとらなければなりません。

女性と少女への暴力を排除する役割を果たせるのは誰ですか。

- 自分の権利について学び、自信を得るよう「セーフ・スペース」を与えられた少女と女性は、支援、保護を受け、正義を追求するようサポートを受けることができます。
- 警察と裁判所は、性差に基づく暴力の通報をうけたら、事件を捜査し、確実に被害者を保護し、他の法の執行機関と共に正義が遂行されることを保証する義務があります。
- 地方自治体は、女性と少女に対するあらゆる形態の暴力、特に女性と少女を不利な立場に置いている根深い性差別の風潮を排除するためのプログラムと財政支援を確実なものにすべきです。
- 家族はこの問題について教育を受け、女性と少女の人権を尊重することができ、家庭は女性と少女にとって安全な場所であると確信できるよう、支援されなくてはなりません。
- 教師は暴力の被害にあいやすい少女を見分ける役割があります。暴力や虐待の疑いがあれば、関係機関に報告する役割もあります。
- 保健医療従事者は、DV やジェンダーに基づく暴力を見極めることができるように訓練を受け、また女性と少女がヘルスケアやその他のサービスを通してサポートを受けるよう助言する役割があります。
- コミュニティリーダーは住民を教育し、どんな形であれ女性と少女に対する暴力は許されないとはっきりと宣言する役割があります。

- **宗教指導者**は、人々を教育し、女性と少女に対する暴力を批判する役割があります。また、ジェンダー平等に反するような教義に異議を唱えることもできます。
- **少年と男性**は、家庭内であれ、どんな形での暴力にも反対であると表明し、自分の人間関係を確実に尊敬と平等に基づいたものにする役割があります。
- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

共に協力して、女性と少女への暴力を根絶する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、ジェンダーに基づく暴力を撤廃する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして女性と少女の人権を擁護するようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

経済的公正とジェンダー平等

それはどのようなもので、どうすれば経済的な不公正を根絶することができますか。

若い女性の経済的なエンパワメントに投資をすることはジェンダー平等、女性の権利、貧困の根絶、すべての人のための包摂的な経済成長のために重要です。しかしながら、ほとんどの労働市場において女性や若い女性は男性と比べて不平等な条件で働き続けています。彼女たちのスキルはしばしば認識されなかったり、過小評価されたりしています。

女性が仕事に就いたとしても、男性よりも賃金は少なくなります。その賃金の差（男性と女性と同じもしくは同様の仕事をした際に支払われる賃金の差）は女性に対する差別であり、そのような差別は世界中のあらゆる国に存在します。賃金支払いの格差という不公平に加えて、労働機会の不平等もあります。経済危機の時には、女性は、まずはじめに解雇され、雇用されるのは一番最後になり、賃金のはじめに減らされます。それに加えて、労働者組織（例：労働組合、労働者団体）からもしばしば排除されます⁷。

多くの女性、若い女性、少女にとって、性とジェンダーの差別は他の差別と交錯します。それは人種（特に先住民の女性）、宗教、年齢、階層、カースト、身体能力、移民の立場、性的志向、性自認に基づいており、多重的に社会から疎外され貧困に追いやられます。

女性は経済やデジタル格差によっても社会から取り残され、結果として貧困や経済的に不安定な状況に置かれます。グローバリゼーションというのはすなわち、雇用者が最も高い利益をあげられる場所に仕事が継続的に移って行くことを意味します。男性が仕事のために移住する場合は、女性は仕事がなく、銀行からの借入れもできず、ヘルスケアや高度な教育を受けることもままならないまま置いていかれます。女性が仕事のために移住する場合は、危険で虐待を受ける状況に置かれたり、金銭的に家族の元へ帰ることができなくなったりします。家族で移住する場合は、女性、若い女性や少女は性的虐待や人身売買を含む暴力にさらされるリスクが高まります。経済が不安定な時に、女性が経済的な自立を失って男性への依存が高まれば、パートナーからの暴力や危険なセックスの割合が高まり、女性、若い女性や少女の生活や将来がリスクにさらされます。

⁷国連合同エイズ計画討議資料「世界的経済危機が女性、少女、ジェンダー平等に及ぼす影響」（英文）2012
UNAIDS Discussion Paper, Impact of the global economic crisis on women, girls and gender equality, 2012

公式または非公式の仕事のいずれにおいても、女性たちは年齢を問わず、妊娠中から育児の時期にいたるまでサポートを受けられずにいます。家庭内での立場は最も低いにもかかわらず、家族の世話をする中心的な役割を負わされています。家事や家族の世話は目に見えづらく賃金が支払われないだけでなく、女性は長時間の賃金労働とそれらの無賃金の家族の世話とを両立させなければなりません。経済危機が起これば政府サービスが削減され、女性、若い女性や少女の無賃金の労働が増えて、就学率、栄養や健康、ストレスそして自由時間に悪い影響をもたらします。経済における権力構造は、何十億もの「安い労働力」とみなされている女性、若い女性や少女の直接の犠牲によって、特権的な男性に利益をもたらします。

何百万もの女性は家庭のための労働者として、不安定で保証のない状況におかれ、権利を侵害されやすいのです。多くが非公式な経済分野に追いやられ、労働者保護へのアクセスやまともな仕事がないために安全や健康が脅かされています。適正な賃金労働がない場合には、性労働が一つの選択肢になります。その職業に就くことにより、暴力、意図せぬ妊娠、社会的な偏見、HIV やその他の性感染症のリスクが高まったとしてでもです。

労働力の安い国々において操業する多国籍企業の成長は、女性、若い女性や少女にとって脅威です。労働法制が脆弱なため、彼女たちは人権や基本的な救済法について知る機会がないままです。弱体化した政府や汚職により状況はさらに悪化します。公正や人権の保護を求めようとしても女性、若い女性、少女には申し出る先がほとんどありません。

現状データ

- 国際労働機関（ILO）の試算によれば、ターゲットを絞った措置が取られなければ、男女間の賃金の平等は 2086 年まで達成できないとされています。⁸

- ジェンダー平等を達成することと女性の経済的なエンパワメントは、道徳的にも社会的にも不可欠なことであり、優良なビジネスでもあります。

<http://blogs.worldbank.org/psd/economic-opportunity-women-its-good-business>

- 若者は特にワーキングプアになりやすく、その割合は 25 歳以上の被雇用者では 9 パーセントに対して、15 歳から 24 歳では 16 パーセントと考えられています。

<https://sustainabledevelopment.un.org/sdg-1>

- グローバルな不平等 = 8 人の男性が 36 億人（人類の半数のうち、貧しい側の人々）と同等の富を保有しています。

<https://oxfam.org/en/pressroom/pressreleases/2017-01-16/just-8-men-own-same-wealth-half-world>

“労働と人権の原則を取り入れ、それに則った経済政策は、女性たちが障壁を取り除き、家庭内での世話における不平等解消など自分たちの権利を実現するための基礎になります。そうすることで、経済成長を広く分かち合うことも促進されます。権利に基づいた労働と、女性労働者とその協力者によるコミュニティ作りは、力関係を変化させ、労働条件を変え、労働市場への完全で平等な参加の妨げとなる障壁に立ち向かうことを可能にします。”

UNWomen CSW(国連女性の地位委員会)

⁸ 国際労働機関(ILO)「働く女性の動向 2016 年度版」p.28 シュネーブ

経済的な不公正はグローバルな課題であり、地域の課題でもあります。地域と国家の両面において経済的な差別を調べることは、誰がもっともこれらの人権侵害の被害に遭いやすいかを理解するために重要です。また、どうすればそのような人たちが経済的な不平等に立ち向かい、変えて行くことができるかを考える上でも重要です。以下の質問について考えてみてください。

- 児童婚、早婚そして強制婚の慣例により、10代の少女が妊娠する危険性が高まります。更に、早婚では、暴力や、強制的な性行為の危険が高まり、それにより結果的に性感染症（STIs）やHIVの割合が高くなります。
- あなたのコミュニティでは女性、若い女性、少女はどのような仕事に就けますか。それは、男性や少年のものと異なりますか。また賃金は異なりますか。
- 家庭内のどのような仕事を男性や少年がおこないますか。女性、若い女性、少女はどうですか。また、誰がもっとも多くの時間を家庭内の仕事に割いていますか。それはなぜですか。
- 女性、若い女性、少女が家庭の仕事をしている間に、男性や少年は何をしていますか。有給の仕事、自由時間、余暇の活動、社交ですか。それは公平ですか。
- 子育てや、高齢者や障がい者などの世話のための公的なサービスがあり、女性が求職したり、賃金労働を続けたりすることができますか。
- 女性が指導的地位にいる労働組合や労働者のグループはありますか。
- もし、若い女性が勉強をして良い給料の得られる職に就きたいと考えたら、彼女のコミュニティの人たちはどのような反応を示しますか。家族、教師、宗教指導者やその信徒たちはどうでしょうか。

あなたの権利は何ですか。

以下に、裕福な国と貧しい国の間に、そしてすべての人のために、経済的に平等で公正な環境を作り出すことに関連するいくつかの国際的な指針となる原則と人権を示します。

世界人権宣言の第23条と第24条には以下のことが述べられています。

- ✔ **すべて人は、勤労し、職業を自由に選択し、公正かつ有利な勤労条件を確保し、及び失業に対する保護を受ける権利を有する。**
- ✔ **すべて人は、いかなる差別をも受けることなく、同等の勤労に対し、同等の報酬を受ける権利を有する。**
- ✔ **勤労する者は、すべて、自己及び家族に対して人間の尊厳にふさわしい生活を保障する公正かつ有利な報酬を受け、かつ、必要な場合には、他の社会的保護手段によって補充を受けることができる。**
- ✔ **すべて人は、自己の利益を保護するために労働組合を組織し、及びこれに参加する権利を有する。**
- ✔ **すべて人は、労働時間の合理的な制限及び定期的な有給休暇を含む休息及び余暇をもつ権利を有する。**

労働者の権利を考える際には、参加と説明責任に関する人権の原則も非常に重要です。参加に関する人権とは、すべての人が意見を言い、公正な労働条件について交渉する権利を持っているということ、説明責任に関する人権とは、政府や多国籍企業、その他の企業は健全で安全な労働環境を保障し、適切な生活水準を維持できる賃金を支払う責任があるということです。

持続可能な開発目標



目標 5 =包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。

ターゲット 8.6=2020 年までに、就労、就学および職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

ターゲット 8.7=強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終わらせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止および撲滅を確保する。2025 年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。

つまり、各国政府は、仕事を得るための技術や知識を身に付けられるように、若者に投資する義務があるということです。また、各国政府は、人々、特に子どもやその他の弱者集団を、有害な環境、危険な仕事、強制労働から守らなければなりません。また、女性と男性の賃金は平等でなければなりません。



目標 10=各国内および各国間の不平等を是正する。

ターゲット 10.5=世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。

つまり、世界的な通貨の移動と国際的な投資においては、豊かな国々の利益となり、貧しい国々が貧しいままであるような不公平で片寄った利益を許容すべきではないということです。

“ 権利に基づいた労働と、女性労働者とその協力者によるコミュニティ作りは、力関係を変化させ、労働条件を変え、労働市場への完全で平等な参加の妨げとなる障壁に立ち向かうことを可能にします。 ”

UN Women

女性、若い女性や少女たちを経済的に不利な立場に立たせるような、経済的不公正を摘発する役割を果たせるのは誰ですか。経済的公正を擁護することができるのは誰ですか。

- 労働組合と労働者団体は、雇い主や雇用を管理する政府の役人の注意を不公平な取引に向けるよう、努力する役割があります。そのような組織の指導者には、女性が含まれなければなりません。
- 公式や非公式の仕事に就いている女性や若い女性は、労働者の人権を擁護する地域の組織や国際的 NGO の支援を求めることができます。

- **家族**は、家事の分担を話し合い、より公平な家庭を作るために家事を再分配することができます。
- **政府の代表者**は、労働者が公正に賃金を支払われ、過労に陥ることなく、安全で健康的な状況にあることを保証するために、多国籍企業や国内の企業を監督しなければなりません。また、女性の雇用を支援するために、保育などの重要なサービスが受けられるように保証しなければなりません。
- **地域、国内、および国際的な企業**は、すべての労働者の基本的な権利を保障し、国際法と国の法律を遵守しなければなりません。
- **国連の国際労働機関（ILO）**は、労働者の権利を実行するよう各国を支援し、人権侵害を記録しておく役割があります。
- **男性と少年**は、家事の分担を引き受け、家庭や地域社会における、女性の経済的エンパワメントや自立を支援することができます。
- **他に誰かいますか・・・**

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための質問です：

あなたの地域社会における、経済的不公正と不平等によるマイナスの影響は何ですか。

誰が最も影響を受けていますか。

若い女性の適正な雇用を促進するために、あなたのコミュニティでは、何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

女性が仕事で直面する問題に、共に協力して対応する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり安全な労働環境や若者の十分な訓練を保証する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして若い女性に特有の経済上の不安や現実に向けるようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

レズビアン、ゲイ、両性愛者、 トランスジェンダー、インターセックス そして クエスチョニング (LGBTIQ)

性自認、そして性的指向とは何でしょうか。どのようにしたら、これらに向けられている差別や偏見 に終止符を打つことができるでしょうか。

性自認や性的指向について話す時、大切な事は、人間は多様であり、一人ひとりが固有の存在であるということを心に留めておくことです。そして、私たちが、同性であれ、異性であれ、そのどちらもであれ、どのように人を愛し、また、惹きつけられるかも多様であることも。この性的指向の多様性を「普通」として受け入れない人々や文化が多いものの、この多様性は歴史を通して、世界中のあらゆる国や社会文化の中で存在してきました。性自認は宗教、心理療法、又は、医療などで変えることは不可能ですし、一人ひとりの性行動や性自認は状況の変化に応じて、一生の間に変わり得ることも認識する必要があります。⁹ LGBTIQ の人々に対する広く一般的におこなわれている差別によって、これらの人々に対して残酷で暴力的に矯正することが、あたかも、容認可能であるような状況を作り上げています。しかし、そんなことは絶対にあり得ません。

もし、あなたや友人、またはあなたの家族の誰かが、レズビアン、ゲイ、両性愛者、トランスジェンダー、インターセックス、または、クエスチョニングなどであれば、ここで、語られることの多くは、よく知っていることかも知れません。しかしながら、人々の中には、性自認やジェンダーについて語るとき、戸惑いを感じたり、困惑したり、怒りすら感じる人がいます。この話題は多くの人々にとり、慎重に取り扱うべき微妙な事柄なのです。ですから、ファシリテーターは、若い女性が決めつけられることなく、自由に質問できるような「セーフ・スペース」を確保することが大切です。そして、差別があれば速やかに見極め、いかなる脅しや残酷な言動も規制する必要があります。

⁹ It's All One Curriculum, A Unified Approach to Sexuality, Gender, HIV, and Human Rights, 2009. すべてで一つのカリキュラム、セクシュアリティ、ジェンダー、HIV、および人権への統一されたアプローチ、2009年

現状データ¹⁰

- 社会的なジェンダー規範に一致していない女性は攻撃されたり、レイプされたり、強制的に妊娠させられたり、罰を受けたり、時には殺される危険にさらされています。時にはこれらの行為は、政府の命令下においてもおこなわれています。(例えば、刑務所へ入れられた LGBTIQ の女性が性的虐待を受けることが極めて多いです。)
- LGBTIQ の人々への、家族や地域社会の一員による暴行や殺人は、時には、「名誉のための殺人」として受け止められます。というのは、彼らは、LGBTIQ は家族にもたらされた恥、もしくは不名誉と考えているからです。そのような暴力の多くは、性規範に沿わないことや、同性間の性行為やその疑いがある性行動に対して行われています。この類の虐待の対象は一般的には女性ですが、如何なる性別の人にも向けられます。
- 国連は、すべての地域の LGBTIQ の人々に対して広くおこなわれている、殺人、襲撃、誘拐、レイプ、性暴力や組織・その他の場所で行われる拷問、虐待といった肉体的および精神的暴力について報告しています。LGBTIQ の若者、レズビアン、バイセクシャル、そしてトランスジェンダーの女性は、家庭や地域社会で肉体的、精神的、および性的暴行を受ける危険性が特に高いのです。¹¹

あなたは知っていましたか？¹²

- **性的指向**とは肉体的に、恋愛的に、若しくは感情的に他者に惹かれることです。
- **性自認**とは自分が深く感じ、認識している自分のジェンダーの感覚です。トランスジェンダーの

人々は誕生時に割り当てられた性が自己認識と一致していません。

- **インターセックス**とは女性若しくは男性の一般的な定義に適合しない生体構造、生殖器、そして染色体パターンを持っている人々のことです。
- **クエスチョニング**とは自分のセクシュアリティやジェンダーを模索中で、結論を出していない人々です。

それぞれの人の性自認と性的指向にかかわらず、すべての人々のために「セーフ・スペース」をつくるのが大切です。また、LGBTIQ の人々は、警察による残虐行為、職場での差別的扱い、(もしくは、仕事を与えてもらえない)、学校でのいじめ、そして社会からの排除などの人権侵害の被害に遭いやすいことを理解することが大切です。国によっては、同性の人を愛することを法律違反としており、また、死刑判決を下す国さえ存在します。

あなたの権利は何ですか。

以下に、LGBTIQ の福利を支える人権と義務の幾つかを挙げます。国際法および国連の「市民的および政治的権利に関する国際規約 (ICCPR)」に基づき、各国政府は下記の義務を課せられています。

- 個人を暴力から守ること
- 拷問、および残酷で非人間的で品位を貶める扱いを防止すること
- 同性愛、男装や女装を犯罪とする法律を排除すること
- 性的指向と性自認に基づく差別的行為を禁止すること
- LGBTIQ の人々の表現の自由と連携の自由を保護すること

「平等と非差別」という人権の原則は LGBTIQ の人々の権利を守るものです。世界人権宣言の冒頭の言葉は：

“すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。”

¹⁰<http://www.ohchr.org/Documents/Publications/BornFreeAndEqualLowRes.pdf>

¹¹http://www.ohchr.org/Documents/Issues/Discrimination/Joint_LGBTI_Statement_ENG.PDF

¹² Born Free and Equal, OHCHR publication, 2012
<http://www.ohchr.org/Documents/Publications/BornFreeAndEqualLowRes.pdf>

「生まれながらにして自由で平等」国連人権高等弁務官事務所発行、2012 年

経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約（ICESCR）は、到達可能な最高水準の健康を享受する権利を保護しています。LGBTIQ の人々は（医療サービスの提供の拒否、嫌がらせ、虐待といった）多様な形態の差別に直面し、多くの場合、性と生殖に関する健康ケアや医療サービスを受けることができないのです。

持続可能な開発目標

目標 3 = あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。

つまり、それぞれの性自認や性的指向にかかわらず、すべての人々は、ヘルスケア、特に、性と生殖に関するヘルスケアを受ける権利を持っているのです。



目標 5 = ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び少女の能力強化を行う

ターゲット 5.6 = 国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。つまり、政府は、偏見や差別が容認されないことを確保する一方で、性的指向や性自認にかかわらず、すべての国民に対して性と生殖に関する健康と権利（SRHR）についてのすべて

の情報とサービスを提供する義務があります。



目標 16 = 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

ターゲット 16.1 = あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。つまり、政府は LGBTIQ の人々が直面している、国が公認する暴力も含め、すべての暴力を認識し、対決し、減らさなければなりません。そのような暴力に対抗する法律を定め、遵守しなければなりません。

LGBTIQ の人々に対する暴力を阻止し、偏見と差別に終止符を打つ役目を果たせるのは誰ですか。

- **LGBTIQ の女性、若い女性、少女、そして他の若者たちの組織にとって、心地よく過ごせ、質問をすることを後押ししてくれる、そして、LGBTIQ の人々の人権に係る情報を得られる「セーフ・スペース」が必要です。**このような場所の提供は、すべての年代のLGBTIQ の女性が性と生殖に関する健康と権利（SRHR）の情報やサービスを求め、不公正で差別的態度や行為に対して声をあげる能力を強化するための支援となります。
- **地方自治体は、反差別プログラムとその資金援助、そしてLGBTIQ の市民に対する偏見と暴力を防止するためのキャンペーンを実施する役割があります。**

- 国は、LGBTIQ の人々を罰する、もしくは差別するような法律、そして同性間の性的行為（つまり、成人者間の同意による性行為）を罰するような法律が存在しないことを保証しなければなりません。また、政府は、LGBTIQ の人々に対する、あらゆる虐待、差別あるいは暴力が真剣に受け止められ、法廷において対処されることを確保する責任があります。
- 警察官、出入国における管理官・警備員、そして刑務所の職員に対して研修をおこない、LGBTIQ 問題意識を高めさせ、彼らによる虐待を予防しなければなりません。そして、それらの人々が残酷で、品位を貶める、非人間的な如何なる行為又は拷問をおこなわないように、厳重な監視下に置かなければなりません。
- 保健医療従事者の第一責務は LGBTIQ の女性、若い女性、そして少女に性と生殖に関する十分な情報と医療サービスを、彼女たちの尊厳とプライバシーを保護する偏見のない方法で、提供することです。医療従事者はすべての患者のプライバシーを守らなくてはなりません。
- 教師が、若者の LGBTIQ 問題を理解するために、また、LGBTIQ であることを理由にしたいじめや、暴力を容認することがないように研修を行わなくてはなりません。
- コミュニティリーダーや宗教指導者は、LGBTIQ である社会的受容と理解を促す役割があります。
- 男性と少年は同性愛嫌悪、そして「『矯正のため』のレイプ」のような暴力的な反 LGBTIQ 行為に対し、反対であると表明する役割があります。
- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための質問です：

あなたのコミュニティでは LGBTIQ の人々に対する偏見や差別に立ち向かうために、何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

LGBTIQ の女性、特に若い女性と少女を支援するために、共に協力できる誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり地域の LGBTIQ の人々の安全、平等な扱い、そしてケアを保証する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして、LGBTIQ の女性、若い女性、少女に特有の不安と現状に対処するようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

いじめとネットいじめ

それは何ですか。どのような対処が必要ですか。また終わらせるにはどのような手立てがありますか。

いじめは世界中の若者にとって大きな問題です。ユニセフの調査では、先進国でも発展途上国でも若者が同じようないじめやハラスメントを経験していることが報告されています。体の大きさ、性別、肌の色、宗教、言語、身体能力、難民、性的指向、その他の特性をいじめの対象とすることは自信や自尊心を損ねるばかりか、将来にも悪影響を及ぼすことになります。いじめは日常的でどこでも起こり得ますが、特にインターネットやソーシャルメディアと繋がることで起こりやすくなります。

いじめの定義¹³

「いじめは被害者との実在の又は心理的な力の不均衡をもとに、故意に繰り返される攻撃的行為と定義されます。被害者は自分の身を守るため自分は弱者であり力のない人間であると感じてしまいます。嫌なことをされると人は傷つきます。例えば：殴る蹴る、持ち物を壊すなどの物理的ないじめ。からかい、侮辱、脅迫などの言葉によるいじめ。その他、根拠のないうわさや仲間外れなどの関係性から生じるいじめがあります。」

現状データ

- 若者の9割が彼らの周辺でいじめが蔓延していると感じています。(2016年、ユニセフの調査)
- 若者の3分の1はいじめられるのは普通のことだと感じ、いじめにあっていない若者の25%がそのことを誰にも打ち明けられずにいます。
- いじめの多くは外見や性別、人種や性的指向によるものです。
- いじめの半分以上は直接おこなわれますが、ソーシャルメディアを介したネットいじめも頻繁に起こっています。

¹³事務総長報告書 2016、子どもをいじめから守る

<http://srsg.violenceagainstchildren.org/sites/default/files/documents/docs/A-71-213 EN.pdf>

“ ネットいじめを含めたいじめは、子どもや若者の幸福に対するリスクとなっていますが、その実態は正しく理解されていません。この種の暴力を終わらせるためには、いじめが引き起こす有害な影響について社会の認識を広げ、教師や親、子どもたちにリスクを見つけるスキルを身に付けてもらい、被害者に対してケアや保護を提供しなければならないのです。”

あなたは知っていましたか？

- いじめを受けている子どもは落ち込み、孤独や不安で自己評価が低い傾向があります。
- いじめは若者の健康や学業、友人関係に悪影響を与える可能性があります。
- いじめをするのは少女より少年のほうが多く、また少女がするいじめは心理的なもの、友人関係によるものが多い傾向があります。
- ネットいじめにあう子どもは実生活においてもいじめにあう可能性が高くなります。
- 思春期の少女は性的虐待を伴うネットいじめにあう危険性があります。セックスティング(sexting)と呼ばれる性的なメッセージや写真をオンライン上で共有すると脅されたり、サイバーストッキング(cyber stalking)と呼ばれるオンライン上の脅迫やつきまといといった嫌がらせがあります。それは時に被害者と性的な関係を持ったり、性的な行動をするよう強要することを目的としているのです(性的脅迫)。
- 貧困家庭や学校に通っていない子どもはいじめを経験する率が高くなります。

いじめを最も受けやすいのは誰かを理解するためには、あなたのコミュニティや国でこの問題を調査することが重要です。(例えば性別、宗教、性的指向、貧困、難民、障がいなどが原因なのか)。いじめを受けやすい若い女性や少女に手を差しのべることにより、あなたはこの問題に関する有益な情報が得られるし、少女たちには助けを求めることでいじめに立ち向かう機会が与えられます。いじめを根絶するために若い女性や少女が果たす役割は重大です。

あなたの権利は何ですか。

いじめから若者を守る人権は以下の通りです。

1. **子どもの権利条約(CRC)**は、子どもはあらゆる形態の暴力から守られる権利を持つ、としています。これには身体的もしくは精神的な暴力、傷害もしくは虐待、育児放棄もしくは怠慢な取扱い、不当な取扱いまたは搾取(性的虐待を含む)などが含まれます。いじめは虐待の一つなのです。
2. **経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約(ICESCR)**はすべての人々を暴力、拷問、残酷で非人道的なもしくは品位を傷付ける取扱いから守ります。またいかなる形態の差別も禁止します。
3. 2016年、国際連合事務総長の報告書「いじめから子どもたちを守る」は、各国の政府に以下のことを要求しています。国民の意識を高め、いじめ防止とその対処に取り組むための支援を結集する。子どもたちへ情報や支援を届ける取り組みを改善する。いじめを早期発見し、早期対処できるよう学校の対応能力を高めるなど、子どもの安全を確保するための公共政策と法律を制定する。傷を癒し友人関係を修復するための活動を支援する。

持続可能な開発目標



目標4＝すべての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

つまりこれは、いじめに関していえば、人権に関する知識や平和で暴力のない文化の促進が重要だということです。また、学校がすべての人にとって、安全で、非暴力的、包摂的で効果的な学習環境でなければならないことを示しています。いじめは絶対に許されません！



目標 16＝持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

ターゲット 16.2＝子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

つまり、誰もが恐怖や暴力のない生活をする権利を持っています。すべての人は学校へ通い支援的な環境下で学ぶ権利があり、安全で受け入れられていると感じなければなりません。

あなたはいじめられている時、何ができますか。

（カナダ YWCA「少女が自分の権利を知るためのガイドブック」¹⁴に基づく）

- 信頼し頼りになる大人に、いじめを終わらせ、安全でいられる方法を相談します。
- あなたの受けているいじめが違法ならば（殴る、暴力で脅すなど）、警察に訴え、相手を暴行罪で起訴することもできます。
- 助けてくれる人とのバディシステムを作り、いじめめる人が近くにいない時も、常に誰かがそばにるようにします。
- 状況によっては、いじめている人に直接伝えることもできます。相手のしている事に対してはっきりとやめてほしいと言い、その場を立ち去りましょう。
- もしもあなたの周りにいじめられている人がいたら、自分がその人の助けになることを伝えましょう。そして一人ではないと感じてもらえるよう、その人の隣に座ったり、ランチに誘うなどしましょう。
- たとえ仕返しをしたくても、あなたがいじめの側になってはいけません。やり返せばいじめは益々エスカレートし、状況はより危険なものになるでしょう。

ネットいじめといじめの違いはなんですか¹⁵。

- ネットいじめとはいつでもどこにいても起こるいじめです。周りに人がいなくてひとりの時も、昼でも夜でも起こります。

¹⁴<http://ywcacanada.ca/data/documents/00000083.pdf>

¹⁵<https://www.stopbullying.gov/cyberbullying/what-is-it/index.html>

- ネットいじめは匿名の発信元からメッセージや写真などが投稿され、瞬く間に多くのユーザーに拡散されます。発信元を探ることはとても困難で時に不可能です。
- 不適切なメッセージや嫌がらせのメッセージ、メール、写真は一度投稿または拡散されてしまったら削除することはとても困難です。

あなたはどこにいても安全でいる権利があり、安全であると感じる権利があります。もしもあなたがいじめにあっているならば、一番の方法は誰かに相談することです。いじめをできるだけ無視し、参加できそうなグループを見つけ、信頼できる大人に相談することです。

いじめを終わらせる役割を果たせるのは誰ですか。

- **少女と若い女性**は経験を話し、自信を得られる場となる「セーフ・スペース」を提供されることで、サポートされ、いじめに対する支援や保護を求めることができるようになります。
- **教師**は学校でのいじめに気付く研修を受けるべきです。いじめを受けやすいのはどのような子どもか見極められるようになります。また生徒がいじめを受けた時に校長や保護者、関係機関に知らせる役割があります。
- **保健医療従事者**はいじめによるストレスが原因で起こる健康被害を見極める訓練を受けます。健康被害には自傷行為や自殺未遂なども含まれます。
- **コミュニティリーダー**はいじめに対する教育を保護者や子どもたちにおこなう役割があります。また若い人たち向けのサポートサービスを確実に提供できるようにします。
- **男性と少年**はいじめに反対の声を上げ、少女や若い女性に対するジェンダーに基づく性的脅迫などのいじめを非難する役割があります。
- **警察**は若い人たちの命や幸福に脅威を与えるようないじめがあった時は捜査をする義務があります。
- **地方自治体**は、いじめ防止や少女や若い女性の権利を守るための取り組みや資金の確保を確実に行わなければなりません。
- **政府**は反いじめ対策を進める責務があります。例えば、1) 情報提供と啓発キャンペーンを実施して、いじめやそこから生まれるトラウマ、いじめのリスクや重大性などへの理解を深める。2) 他者の価値を認め、思いやる前向きなコミュニケーションを促進する。また責任感を高めて、差別をやめ、人権を尊重し、学校やネット社会での安全性を向上させる。3) どのように自分を守るか、どのように虐待から受ける苦痛に対処するか、どのようにその能力を強化するか、そしてプライバシー、イメージ、名誉、評価を落とすような状況からいかに回避するかということを子どもたちに教える、などです。学校でもネット社会でも子どもたちは正しい決断をするための能力を育てる指導を必要としています。
- **他に誰かいますか・・・**

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何ができますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

どのように声を上げて、あなたのコミュニティの意識を高めることができますか。

いじめについて、共に協力していじめを撲滅する誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、いじめを撲滅する責任を負っている人々が、必ず行動を起こして少女の人権を守るようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。



月経とそれが女性や少女たちに及ぼす影響

望まない妊娠はなぜ起き、それを避けるには、何ができるのでしょうか。

ほぼすべての女性は月経になります。毎年、毎日のあらゆる瞬間に、何億人もの女性、若い女性、そして少女たちが月経になっています。若い女性の月経体験は、彼女たちが住む国や地域によって左右されます。月経をお祝いする人たちもいるでしょう。月経を恥じる人たちもいるでしょう。社会から追放され身を隠すことを強制される人たちもいるかもしれません。あまりに多くの若い女性や少女たちが、月経についての教育を受けたことがありません。月経は女性の人生の一部（さらには生命の源）であり、なぜ月経が起きるのか、そしてそれが少女の人生にとって何を意味するのかを知ることが重要です。

現状データ

- 思春期の少女の 10 人に 1 人が、月経に関連した問題が原因で、学校の授業を欠席し、結果的には学校を中退しています。

<http://kenya.unfpa.org/news/when-menstrual-cycle-becomes-question-human-rights#sthash.JHyVOYlq.dpuf>

- 女性は一生のうちにおよそ 3,000 日間月経を経験します。これは 8 年間に相当します。
- 月経中の衛生管理が行き届かないと、尿路感染症や細菌感染を引き起こし、また貧血や不妊を起こす確率が高くなるとされています。

https://www.wssinfo.org/fileadmin/user_upload/resources/MENSTRUAL-HYGIENE-MANAGEMENT-Paper-for-END-group-1.pdf

少女が知っておくべきこと・・・

- 月経は成長の一環です。
- 月経は身体の障がいにかかわらず、女性なら誰にでも普通に起こることです。
- 月経は女性だけの問題ではなく、普遍的な問題です。男性も月経について知っておく必要があります！
- 月経についてたくさんの作り話や誤った考えが存在します。
- トレーニング資料：

<http://wsscc.org/wp-content/uploads/2016/07/MHM-Training-Manual-WASH-Health-Practitioners.pdf>

あなたはどんな言葉を使いますか。

ある研究によると、世界中で 5,000 種類もの月経を意味する言葉が使われているそうです。

<http://www.independent.co.uk/life-style/health-and-families/menstruation-study-finds-over-5000-slang-terms-for-period-a6905021.html>

月経

- = 「期間」 (period)
- = 「毎月のあの時」 (That Time of the Month)
- = 「呪い」 (The Curse)
- = 「布きれを使っている」 (On the Rag)
- = 「自然の訪問」 (Mother Nature's Visit)
- = 「私のもの」 (Mi cosa)
- = 「おばさんの訪問」 (Auntie's Visit)
- = Chaupadi (女性が月経期間中「不浄」とされて小屋などに隔離されるネパールの慣習)
- = 「周期」 (El ciclo)
- = 「淑女の問題事」 (Lady Trouble)...

あなたの権利は何ですか。

月経に関連した人権のいくつかは以下のとおりです。

1. 女性の権利は、生涯において奪うことのできない、不可欠で不可分である普遍的な人権の一部であると、世界人権会議 (The World Conference on Human Rights) によって改めて表明されました。
2. 女性の性と生殖に関する権利および成長する権利は、国際人口開発会議 (ICPD) によって改めて表明されました。
3. 子どもの権利宣言 (The Declaration of the Rights of the Child) と子どもの権利条約 (CRC) は、子どもの権利を保証し、ジェンダーに基づいた差別をしないという原則を支持しています。

つまり、女性や少女たちは、自然で生物学的な女性であるという事実を理由に不当な扱いを受けるべきではありません。彼女たちの人権を擁護するのは家族、コミュニティ、国、グローバル・ガバナンスの責任です。月経は生殖機能の一部であり、生殖に関する健康を保護する明確な法律も存在します。国は、女性、若い女性、そして少女たちの健康と尊厳をしっかりと保障するインフラやサービスを提供しなければなりません。

考えてみましょう

“生涯において平均 3,000 日も月経を経験する、人口の半分に当たる人々のニーズが、水、公衆衛生、保健衛生サービスの対象から外されています。女性たちがこの月経という生物学的機能を安全に尊厳を保ちながら管理するためには、体を洗って清潔にするための水や場所、経血を吸収するための用具、その使用済み用具を適切に処分するための設備といった、とても現実的で実用的なサービスが必要なのです。”

https://www.wssinfo.org/fileadmin/user_upload/resources/MENSTRUAL-HYGIENE-MANAGEMENT-Paper-for-END-group-1.pdf

さらに考えてみましょう

“こうしたさまざまな会議や関連した行動計画が、女性の性と生殖に関する権利について詳しく述べているにもかかわらず、月経はもっとも汚名を着せられ、隠され、社会が作り上げた沈黙の呪いの一つと呼ばれています。それにより先進国と発展途上国の双方を含めた全世界の人口の約 3 割が苦しめられているにもかかわらず、そう呼ぶのをやめるに至らないのはなぜでしょうか。”

https://www.wssinfo.org/fileadmin/user_upload/resources/MENSTRUAL-HYGIENE-MANAGEMENT-Paper-for-END-group-1.pdf

持続可能な開発目標



目標 3 = あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ターゲット 3.7=2030 年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できるようにする。



目標 6 = すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

ターゲット 6.2=2030 年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び少女、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を向ける。

つまり、学校、公共施設、住宅地は、あらゆる世代の女性が使用でき、月経中に生理用品を洗浄できるきれいな水や個室のあるトイレや洗い場等を配置しなければなりません。

月経中の衛生管理をしっかりと確保し、月経に対する偏見や差別を止めさせる役割を果たせるのは誰ですか。

- **少女や若い女性**は、月経について情報を得て、手ごろな値段の生理用品が手に入るならば、清潔さを保ち健康であり続けることができます。また、誰も恥ずかしい思いをしないで済むように、他の少女たちが月経について理解する手助けをする役割もあります。
- **保護者**は、自分たちの娘が月経について理解をし、清潔で健康であり続けるためにどうしたらいいのかわかり、また生理用品を購入したり、作ったりできるよう、しっかりと確認する責任があります。また、息子たちに月経について教えることにより、タブーや偏見を打ち破る手助けをする役割があります。
- **保健医療従事者**は、健康診断の際や、コミュニティでの健康に関する会議の場で、管轄の住民の健康と幸せに対して責任をもつ他の衛生当局者と共に、月経に関する健康を重要視し、月経について内緒話のようにではなく普通の問題として話し合えるようにする役割があります。
- **地方自治体**は、月経に関する健康問題とその解決について話し合いをし、予算をつけるようしっかりと取り組む役割があります。(例としては洗い場やプライバシーの確保などを勘案した公衆トイレを設置する、地元で生理用品を製造するよう支援するなどがあります。)
- **国**は、国民全体の健康および性と生殖に関する健康、女性、若い女性、少女たちの権利の一環として、月経に関する健康について知り、考える運動に対し出資する役割があります。国は子どもたちが学校の内外で月経について学べるようにしっかりと確認する必要があり、女性や少女たちのための公衆トイレの建設と衛生的な洗い場の確保のために出資する役割があります。

- **教師は**、月経を含めた性と生殖に関する健康について、情報を提供するべきです。その情報は包摂的で科学的根拠に基づいたものであるべきです。月経についてオープンに話せる教師たちは月経を取り巻く社会的タブーを打ち破り、月経を通常の学校の授業や学習過程の一部とすることが出来ます。
- **コミュニティリーダーや宗教指導者は**、月経についてオープンに語り、コミュニティが女性たちのニーズに順応していけるようにしっかりと確認することで、沈黙、タブー、偏見を打ち破る役割があります。
- **男性と少年は**、月経が女性の人生において自然で前向きに捉えられるべきものの一つであると受け入れる必要があります。女性たちを経済的に支援したり、インフラを整える（女性たちのために、プライバシーがあり清潔で安全な場所をしっかりと確保する）、ことでタブーや差別に立ち向かう役割があります。

- 他に誰かいますか・・・

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは何が出来ますか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

月経に関する衛生について認識を高めるために、共に協力してくれる
誰かまたは組織がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、健康と幸せをしっかりと確保する
責任を負っている人々が、必ず行動を起こして、若い女性や少女たちの月経に関する衛生や現実に関心を
当てるようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

信仰、フェミニズム、人権

それはどのような意味で、実際にどのように活かしたらよいですか。

信仰、フェミニズム、人権、この3つの概念は、すべての人にとっての社会正義の共通基盤となるものです。世界中のYWCAの発言と行動が示しているように、人権の擁護において信仰とフェミニズムが一体化すると、女性、若い女性、少女にとってダイナミックでより良い機会が生み出されます。

社会正義の問題に持続的に取り組むときに、信仰とフェミニズムに基づいてジェンダー平等を目指す活動をすることにより、人権の原則がより強固になります。この原則とは、人間が平等であること、差別されないこと、社会への参加とエンパワメント、そして説明責任と透明性のことを言います。若い女性は自分が持っているフェミニズムの知識、宗教上の信念、人権啓発訓練により、社会正義の根拠と行動を明確にすることができます。

信仰、フェミニズム、人権は、それぞれジェンダー平等の擁護に特別の力を発揮します。

信仰は、深く定着している社会構造、伝統的な信条、文化的な教えなどを考察するのに役立ち、それにより女性に対して不公平で差別的な現状に挑戦する力を与えます。

フェミニズムは、ジェンダーに関する不公正に挑戦する意思の表明とその目的と行動の共有という女性たちの力強い協力の歴史により培われてきたものです。

人権は、世界人権宣言(UDHR)や女性差別撤廃条約(CEDAW)などの国際的な人権に関する条約などに則り、法律的ガイダンス、問題を調査するための包括的枠組み、そして制度的、個人的差別に対決する解決方法を与えます。

世界各国のYWCAは、あらゆる年代の女性たちの人権を守るキリスト教の価値観を認識し、その価値観を基盤にしています。人生における責任ある選択をするために情報を得、備える力を尊重する価値観、良質な教育や保健医療を受ける権利を保証することで個々の尊厳を守る価値観、そしてすべての人があげる声に耳を傾けるように努め、すべての人を平等に扱う公平な仕組みを支持する価値観です。これらの愛、思いやり、偏りのない態度、尊厳と正義を重んずる価値観を通じて、若い女性にとって重要な問題に取り組みます。

YWCAは変革をもたらすリーダーシップと信仰をもって同じような闘いを共有する人たちの話を聞き取ります。またそれだけではなく、宗教上の教えを曲解して女性を軽んじたり、若い女性や少女に与えられるべき機会を狭めたり、彼女たちの人権を無視したりするような人々の発言にも耳を傾けます。若い女性のリーダーは、フェミニズムと信仰、そして人権について理解から力を得、仲間やメンターに支えられることにより、信仰、フェミニズム、人権について進歩的な解釈を躊躇する人々に真実を話して、力と意欲を与えることができます。このことは、宗教、性と生殖に関する健康、そして女性の人権が相互に関連し合った問題については特にあてはまります。

現状データ

- 大多数の宗教はすべての人間は神に似せて平等に造られたと断言しています。
- 世界の人口（69億人）の84%にあたる人が宗教を信仰しています¹⁶。
- FBO(Faith Based Organizations 信仰に基づく組織)は保健医療の提供者です。たとえばカトリック教会は世界中でおよそ5,300の病院を運営しています¹⁷。

¹⁶ ピュー研究所 2012

<http://www.pewforum.org/2012/12/18/global-religious-landscape-exec>

¹⁷ ランセット

[http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(15\)60251-3/fulltext](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(15)60251-3/fulltext)

“ 女性の人権は、自らの性、特に性と生殖に関する健康について、強制、差別、暴力とは無縁に自由に責任をもって管理し決定する権利を含む。 ”

北京宣言と行動綱領

あなたの権利は何ですか。

以下に、あらゆる年代の女性の幸福と尊厳に関する人権について述べているものをいくつか挙げます。これらに対しては、しばしば一部の宗教指導者や保守派の指導者により文化的な問題だとして反対の意志が示されることがあります。

1. **世界人権宣言第16条3項**には「家庭は、社会の自然かつ基礎的な集団単位であって、社会及び国の保護を受ける権利を有する」と書かれています。**つまり**、この家庭という概念は、さまざまな形とサイズで存在し、その構成形態も多岐にわたる（たとえば、祖父母が孫の世話をする家庭、ひとり親家庭、あるいは、同性のカップルと子どもの家庭などがあります）という過去から現在にわたり変化してきた実態を包含したものです。しかしながら、一部には家庭というものを狭義に定義（つまり異性のカップルとその子ども）しようとする国々もあり、そういう国では家庭の権利をその構成員個々の権利より優先していることがあります。それにより家庭内でおきる人権侵害や虐待を隠したり無視したりするという悪影響が起きるのです。（たとえば、身体的、精神的、経済的な暴力、近親相姦や児童虐待、早婚と強制婚、女性器切除、持参金に関する暴力などがあります）
2. 多くの性に関する権利は、**世界人権宣言(UDHR)**、**女性差別撤廃条約(CEDAW)**、**国際人口開発会議行動計画(ICPD PoA)**や他の多くの人権基準により定義され守られていますが、それらは常に保守的な宗教団体や国家から異議を唱えられていま

す。たとえば、包括的な性教育、早婚・強制婚・児童婚、女性器切除、ジェンダーに基づく性暴力、妊娠中絶の処罰や制限、ジェンダー平等、性自認と性的指向、HIV の予防とケア、若者の性の権利、性労働者の権利、インターセクシュアルの人々の権利、性と生殖に関する権利、その他多くの権利が異議の対象になっています。

持続可能な開発目標

SDGs は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が絆を深め、平和と豊かさを享受できことを目指す普遍的な行動計画です。信仰に基づく組織はこのSDGs の遂行とその監督のためにどのようなことを提案できるでしょうか。

信仰に基づく組織は、社会正義という枠組みですべての人の尊厳を守ることを旨とし、信仰、フェミニズム、人権の相互のつながりを強固にすることができます。宗教的な視点は、差別のない平等を目指す人権擁護の視点でもあり、社会から疎外されて取り残される恐れのある人々に関心を寄せることの重要性などの社会正義に関する議論を活発にします。信仰に基づく組織は、宗教的な側面と視点を持っていますが、人間がおこなう開発は時として経済的・政治的に狭い視点から行われるので、これらの側面や視点はしばしば欠けてしまいます。SDGs は人間の福祉に取り組むための、複合的で相互に関連のある開発目標です。若い女性の宗教的信念とフェミニストの活動はこの地球の未来図の重要な一部であり、SDGs を実践するための討論や行動の内容を豊かにすることができます。

人権を求めるフェミニストの信仰リーダーのストーリー。



ツェロフハドの5人の娘の話

これは旧約聖書の時代（モーゼがユダヤの民を率いてエジプトから脱出した時）の話です。5人の姉妹が不公平な相続法に立ち向かいました。5人姉妹の父のツェロフハドには息子はいませんでした。伝統的な慣習では、娘たちは父親の土地を相続する権利はありません。しかし5姉妹はこの不公平な扱いを受け入れずに、男性の指導者と対決して自分たちの言い分を述べました。彼女たちは土地を相続できるようにモーゼと他の男性指導者たちを説得することに成功したのでした。

預言者ムハンマドの妻、アイシャの話

アイシャはムスリムの社会でリーダーシップと強さの良い例です。彼女は預言者の妻となったことに加え、政治と宗教上のリーダー、学者、ムフティー（イスラム法学者）、裁判官になったのです。アイシャは若いムスリムの女性のロールモデルとして精神性、行動主義、知識の結合を身をもって表した人でした。

参考資料

We Will Speak Out 私たちは声をあげよう」運動
女性に対する暴力をなくそうと運動する、信仰に基
く組織のネットワーク

<http://www.wewillsspeakout.org/about>

ルーテル世界連盟のジェンダー公正の方針

<https://www.lutheranworld.org/content/resource-lwf-gender-justice.-policy>

私が望むのは
どのような変化でしょうか？

このテーマについて
私はリーダーになれますか。

私は社会運動を起こしたり
参加したりできますか。

以下は「行動計画」を導くための追加の質問です：

あなたのコミュニティでは宗教的な教えが悪影響をもつことはありますか。

これらの教えに最も影響を受けるのは誰ですか。女性、若い女性、少女は男性や少年と同等とみなされていますか。

あなたのコミュニティで、女性の人権を支える信仰とフェミニスト活動を積極的に進めるにはどのようなことができるでしょうか。

より多くの情報や支援を得るために誰に働きかけますか。

あなたには、女性や少女が直面している不平等に立ち向かう時に共に協力できる誰か、組織または教会がありますか。

どのようにしたら権限のある立場にあり、ジェンダー平等を守る責任を負っている人々が、必ず行動を起こして若い女性に特有の課題と現実に取り組むようになると思いますか。

ファシリテーターへのひとこと

『若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道』を、もう一度読み返してください。そこには、ここでの課題やそれに関連する人権についての話し合いや学びが書かれています。このガイドを通して、若い女性の権利を守る責任がある人々、力と決定権のある人々を含むパートナーを見つけ、行動計画を立てるよう取り組んでください。

アクティビティ



ウォームアップと エネジャイザーのアクティビティ

基本ルールの設定
お互いのことを知る
名前ゲーム
結び目
床の上のアルファベット
宇宙船で行く
名前とジェスチャー
ジェスチャーで伝える
真実とうそ
私は以前・・・



リーダーシップ・アクティビティ

リーダーシップの資質
若い女性リーダーとなるために必要なもの
変革をもたらすリーダーシップのマップ
リーダーシップ・ストーリー



人権アクティビティ

世界人権宣言（UDHR）の紹介
自分の権利を知る
変革をもたらすリーダーシップへの人権に基づくアプローチ



テーマに沿ったアクティビティ

ファシリテーターが導く話し合い（ファシリテーターへのひとこと参照）



クロージングおよび評価のアクティビティ

クロージングのコメント
ファシリテーターの振り返りシート
参加者の評価シート



YWCA 運動におけるリーダーシップ のイラスト付きストーリー

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

基本ルールをつくる

ワークショップの開始にあたって、その日の方向付けをすることが重要です。グループが顔合わせをするたびに、参加者にこの共通ルールを思い出してもらいます。



目的:

率直で敬意を持った接し方とはどういうものか話し合い、自分たちのルールを作ります。



所要時間:

30 分



用意するもの:

フリップチャート用紙とペン



進め方:

ワークショップに誰もが心地よく参加できるよう基本ルールを設定することの重要性を説明します。そして、それぞれの若い女性に全員が従うべきルールを考えるよう伝えます。各参加者の提案を全員と共有します。リストにルールが追加されるためにはグループ全員が同意しなければなりません。ファシリテーターもルールを提案できます。

受け入れられたすべてのルールをフリップチャートに書き、誰もが見えるように掲示します。

基本ルールに対する提案：誰かが話しているときには耳を傾ける。異なる意見を尊重する。他の人の考えをからかったり嘲笑したりしない。他の人を批判しない。お互いに助け合う。楽しむ。



キー・メッセージ: お互いに敬意と思いやりを持って接することは変革をもたらすリーダーになるために重要です。

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

お互いのことを知る



目的:

このアクティビティは自尊心を持つことを促し、グループ内の連帯を築くことを目指します。



所要時間:

15 分



進め方:

全員に立って大きな輪になるよう伝えます。輪は徐々に小さくなっていくので、できる限り大きな輪になるようにします。最後には、参加者はとても近寄って立つことになります。

誰かを輪の中に一歩進ませて、自分の得意なことを言ってもらいます。グループの残りの人たちを一歩前に進ませ、彼女の名前と得意なことを繰り返して言うよう伝えます。

ほかの誰かに役割を交代させ、グループの残りの人たちに同様に繰り返させ、全員に一歩前に進ませます。全員に順番が廻り、輪がとても小さくなるまでこれを続けます。

名前ゲーム



目的: 参加者は相互に紹介し合い、お互いの名前を覚えます。これもまた自尊心を促す前向きなアクティビティです。



所要時間: 15 分



進め方: 全員に輪になって立ってもらいます。

誰か一人に自分の名前(例えば「ベナリ(Benali)」)を言ってもらいます。グループの残りの人たちには同じ頭文字で始まる前向きな形容詞(例えば勇敢な(Brave)、美しい(Beautiful)、大胆な(Bold))を考えてもらいます。それらを一つずつ大きな声で言ってもらいます。ベナリにその言葉のうち一つを選んでもらいます。

次に、ベナリの右側に立つ人に、「こんにちは、勇敢なベナリ。私の名前は_____ (例えばサラ(Sarah))です。」と言ってもらいます。

グループにサラについての前向きな単語(例えば、素晴らしい(Super)、真剣な(Serious)、魅力的な(Stunning))を見つけるよう促します。そしてサラにこの提案のうちの一つを選んでもらいます。今度は次の人に、「こんにちは、勇敢なベナリとスーパーなサラ。私の名前は_____ です。」と言ってもらいます。

全員が紹介されるまで輪に沿って続けてゆきます。

.....

ファシリテーターへのヒント

言葉は必ずしもその人を説明するものである必要はありませんが、同じ文字で始まらなくてはなりません。そして前向きな言葉であることが重要です。誰も思いつかない場合に備えて、幾つか前向きな言葉を用意しておきましょう。また、提示された言葉の中からどれを選ぶかは本人が決めます。

(訳註：名前の頭文字が「さ」なら「さわやかな」「最高な」「颯爽とした」など、日本語でももちろん使えるワークです。)

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

結び目



目的:

協力関係を築き上げ、参加者は問題への解決策を見出すために一緒に作業します。



所要時間:

20 分



進め方:

参加者に 5～7 名の小さなグループに分かれるよう伝えます。全員が肩と肩が触れ合うように輪になり、それぞれ腕を前方に伸ばして立つように指示します。

参加者は手を差し伸ばし、お互いの手をつかみます。二人でお互いの両手をつかむことがないように、また自分のすぐ隣の人の手をつかむこともないようにします。

今度は参加者に、手を放さずに結び目をほどくように指示します。

.....

ファシリテーターへのヒント

参加者はお互いの腕をくぐったり跨いだりしなければならなくなり、多少の辛抱を要しますが、驚くべきことに 1 つか 2 つの大きな輪ができて上がります。

床の上のアルファベット



目的:

これは最初におこなうのに適したゲームです。これにより参加者はほかの参加者の名前やその他について知ることができます。また多様性や違いを尊重することに関して話し合いをする上で、よいきっかけとなります。



所要時間:

20 分



用意するもの:

紙一枚につきアルファベット一文字を大きく書く。A から Z まで 26 枚用意します。



進め方:

アルファベットを書いた紙をバラバラに床に並べ(間隔を十分にあける)、参加者にその周りを囲むよう伝えます。

例えば「あなたの名前はなんですか?」のような質問をし、その後、できるだけ早く参加者は自分の名前の頭文字を探し、つま先が紙に触れるように立つように説明します。
全員が文字を見つけたら、文字ごとに全員が名前を言えるようにします。

別の質問をし、同じことを繰り返します。

グループの人数に応じて、4、5 回、繰り返します。

質問例:

名前は何ですか? 好きな食べ物は何ですか?

好きな色は何ですか? 自分のことを 1 つの言葉で表すとなんですか?

.....

ファシリテーターへのヒント

もし文字が読めない、または書けないグループである場合、各アルファベットで始まる簡単な言葉を選び、絵を描きましょう。

(例、House の H と、家の絵を描く)

(訳註: アルファベットの代わりにひらがな 46 文字を使うことも考えられます)

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

宇宙船に乗って



目的:

このゲームではグループのほかの人の名前を知ることができます。



所要時間:

20 分



進め方:

円になって座るように言います。順番にそれぞれの人が名前と、もし宇宙船で月に行くとしたら何を持っていくか言ってもらいます。

自分の名前と持っていくものを言う前に、ほかの人の名前と持っていきたいものを復唱するよう全員に伝えます。

.....

ファシリテーターへのヒント

もし参加者が全員の名前と持っていく物を覚えられない場合は、グループが言って助けてあげましょう。

ファシリテーターは全員の名前を覚える必要があるため、最後に挑戦しましょう。

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

名前とジェスチャー



目的:

参加者はほかの人の名前を知り、元気をもらいます。



進め方:

全員に円になって立つように伝えます。そのうちのひとりが円の中心に立ち、自分の名前を言い、なにかジェスチャーをします。

ほかの全員が彼女の名前を言い、同じジェスチャーをします。

ジェスチャーで伝える



目的:

全員がほかの人の名前やその人について知ることができます。。



進め方:

参加者に二人一組になってもらいます。各ペアはそれぞれ 2 分間で、相手に自分の名前を言い、次にしゃべらずに、自分のことについてジェスチャーで伝えます。(好きなスポーツ、好きな色、兄弟姉妹の数、好きな音楽など)

2 分が過ぎたら、もう一方が自分の名前を言い、自分のことについてジェスチャーで伝えます。

4 分が過ぎたら、一緒に円に戻って、各ペアにそれぞれ自分のペアについて紹介してもらいます。それぞれの紹介が終わった後、紹介してもらった人は自身の情報について訂正や付け足しをします。

※エネジャイザー：元気や活気が出るワークのこと。

真実とうそ



目的:

参加者がお互いのことを知ることができます。



進め方:

参加者に円になるよう伝えます。最初の参加者が自己紹介し、自分について2つの真実と1つのうそを言います。

他の人たちはうそを当てなければなりません。うそを当てた人が次に同じように自己紹介します。

確実に全員に順番がまわるようにします。

私は以前・・・



目的:

参加者に元気をあたえ、互いにもっとリラックスできるようになります。



所要時間:

20 分



進め方:

参加者に大きな円になって立つよう伝えます。全員が以前自分がしたことがあることを思い浮かべます（ファシリテーターが例をあげても良いです）。全員、順にそれを発表してほしいと説明します。

各参加者は円の真ん中に立って、自分の名前と以前したことを話します。（例えば、10キロ走ったことがある、一日で本を一冊読んだことがある、演劇に出演したことがある、など）

同じことをしたことがある人は、円に入ってその人とハグしたり、拍手したりします。全員に順番がまわるようにします。

若い女性がリーダーになるために必要なこと



目的: 若い女性たちが、変革をもたらすリーダーシップを学び実践する為には、どのような支援が必要かを探ります。



準備: 「グローバル・ライズアップ！ガイド」の 26 ページを読み返し、グループのためにコピーを作成してください。



所要時間: 1 時間～1.5 時間



用意するもの: フリップチャート用紙とマーカー



進め方:

参加者全員に 26 ページのコピーを渡してください。大きな声で「太平洋地域 YWCA 若い女性のリーダーシップ計画」を読みあげるか、または参加者に、「若い女性」がリーダーになるのを支える 5 つの要素を交互に読んでもらいます。（10 分間）

グループとして他に追加したい要素があるかを質問してください。全員が同意したら、それをリストに追加します。全員が追加されていくリストを見られるように、フリップチャート用紙を使ってください。

グループのリストが完成したら、（参加者の数に応じて）3～4 人の小グループに分かれるよう指示します。各グループにリストされた要素の 1 つを与えますが、どの要素が与えられたかを他のグループに伝えてはいけません。各グループに、全員の前で発表する短いドラマ（劇）を作ってもらいます。各ドラマでは、これらの要素が実生活でどのように表れているかを表現します。（30 分間）

すべてのグループがドラマを発表します。それぞれの発表を見て、観客側はどの要素が表現されたのかを推測します。全部の発表が終わったらベストドラマを選出します。（グループのサイズや、要素の数により 30-45 分間）



キー・メッセージ:

リーダーシップは内部（私たち自身の資質や習得されたスキル）の要因と同時に外部の要因からも生まれます。あなたの変革をもたらすリーダーシップを支える人々、組織、そして機会を探してください。誰もが、**安全であり、尊重され、疎外されず、繋がりが合い、そしてスキルを習得する価値がある**のです。

リーダーシップの資質



目的: 良いリーダーの資質を特定すること。



所要時間: 2 時間



用意するもの: フリップチャート用紙とマーカー。人数分の紙とペン。テーブル



進め方: 参加者 1 人につき 3 枚のカードを配り、各カードにリーダーの資質を書いたり描画したりしてもらいます。 (5 分間)

別の 3 枚のカードを配り、参加者に悪いリーダーの特徴を特定してもらいます。
(5 分間)

参加者に、各カードを壁に貼り付けるよう伝えます。壁の一面を「良いリーダー」、別の面を「悪いリーダー」とします。同じような資質と特徴の「グループ」になるようにカードを整理します。それぞれの資質を読み上げ、全員が賛成であるかを問います。そして、どの資質を一番重要だと思うか。良いリーダー、悪いリーダーどちらの資質をより簡単に思いついたか、を質問します。(20 分間)

次に参加者を 2~3 人のグループに分けます。各グループにこれまでの人生の中でめぐり会った良いリーダー 2 名（男女各 1 名ずつ）を選んでもらいます。すでに特定された資質を使って、これらのリーダーの説明をしてもいいし、新しい資質を追加することもできます。すべてのグループに、各リーダーの 3 つの良い資質を共有してもらい、それらをフリップチャート用紙に記録してもらいます。(20 分間)

次に、各グループに、自分自身を表現する 3 つの優れたリーダーシップの資質を特定するよう指示してください。自分がリーダーとしてのどんな良い資質を持っているか、グループで、あるいは個人で考えます。そして、それぞれの参加者に、自身が習得したいリーダーシップ資質を 3 つ選択してもらいます。
(20 分間)

アクティビティ リーダーシップ

輪になって座り、参加者一人一人に「私は____、____、____でありたい。」と発言してもらいます。全員のリーダーシップゴールが共有されるよう一周します。

各自の発表の後、全員が同意の拍手をします。もし、時間に余裕があれば、発表した資質を紙に文字や絵で表し、自分のリーダーシップゴールとして残すことができます。



キー・メッセージ:

誰もが良いリーダーシップの資質をいくつか持っています。リーダーシップは学んで得られるものです。

変革をもたらすリーダーシップ・マップ



目的:

各グループは、「変革をもたらすリーダーシップへの道」をよく読み、自らのリーダーシップゴールにどのように繋がるのか考えます。若い女性たちは、互いの経験を共有し、リーダーシップへの道のゴールを見つけ出すために、自身のリーダーシップ・マップを作成します。



準備:

「グローバル・ライズアップ! ガイド」の 11-12 ページを読み返し、人数分をコピーしてください。



所要時間: 2.5 時間～3 時間



用意するもの:

フリップチャート用紙とマーカー。「変革をもたらすリーダーシップへの道」のコピー全員分。アート紙数枚（一枚を大き目にカットして全員に配る。多めに用意する）。色鉛筆・色マーカー。文房具（はさみ、のり、テープ）。飾りとして紙にのり付けする材料（花、葉、その他自然のもの、ボタン、布きれ、リボン、他）



進め方:

11 ページの円図を参考にして「変革をもたらすリーダーシップ」とはどのようなものかについて会話を始めてください。「変革をもたらすリーダーシップへの道」から、マリアの話を読み上げてください。若い女性たちをペアにして、この話が、変革をもたらすリーダーシップ・サイクルのどこに当てはまるかを 2 人で考えてもらいます。全員が各自の考えを共有できるようにグループを元に戻します。（30 分間）

アクティビティ リーダーシップ

自分が若い女性リーダーになると将来どうなるかについて、グループの話し合いを始めてください。それぞれの若い女性に、自分がリーダーシップへの道のどの位置にいると思うかを考察してもらってください。以下のような質問をすることができます。

リーダーシップの資質をどのように役立てたいですか。

あなたの人生やコミュニティの問題に取り組むために必要なサポートを受けられていますか。あなたを信じ、あなたの成功を願う人がいますか。

あなたは自身の人権を知っていると思いますか。もし、そうであれば、あなたはいつでもその権利について話し、主張することができると思っていますか。

あなたのコミュニティで権利を侵害され苦しんでいる人がいますか。他の人よりも、より権利を侵害されやすい人たちがいますか。これは公正なことですか。

あなたは誰が地域や国の問題を解決することができるのか知っていますか。権力の地位にある人の中に、あなたと協力したいと考えている人はいますか。

あなたが実現したい変革が持続可能であること、つまり、どのようにすればその変革が確実に持続し、あなただけでなく人々に影響を与えていくようになりますか。(30 分間)

紙と装飾用の材料を配り、各自に自分のリーダーシップへの道を描くよう伝えます。円図形、川、地図、などどんな形式で描いてもかまいません。全員に、リーダーシップへの道を描く時にはなるべく独創的であること、そして楽しむことを伝えてください。(1 時間)

グループを元に戻し、若い女性たちに自分のリーダーシップ・マップを発表してもらいましょう。共有することに抵抗のある人は発表する必要はありません。(30 分間)
全員が見られるようにマップを壁に掲示します。



キー・メッセージ: リーダーシップは終わりのない道です。

変革をもたらすリーダーシップとは、あなた自身の人生と他の人の人生をより良く変えるために自分自身や地域、国を変えることです。

あなたの権利を知ることと、誰にその権利を擁護する責任があるのかを知ることが変革をもたらすリーダーシップの強力な部分です。

若い女性のリーダーシップ・ストーリー



目的: ストーリーテリングの手法を使って、リーダーシップがどのようにして、一人の人間の生活を変革させ、コミュニティを改善させられるのかを考察します。若い女性の権利や能力について話し合うための道具として、ストーリーテリングを練習します。



所要時間: 3 時間



用意するもの: フリップチャート用紙とペン；紙とペンは人数分用意する



進め方: 始める前に、ストーリーを通して情報を共有することは、あなたの仲間、あなたが社会活動をする中でかかわる他の人々、あなたのコミュニティの人々、そして人権を尊重・遵守・実現する責任がある人々と話し合うための強力な方法であると説明してください。ストーリーテリングのスキルで、あなたのリーダーシップは強化されます。

今日は、リーダーシップを示してきた若い女性のストーリーについて考える日であると説明します。良いストーリーを構成している要素は何であるのかを、グループで考えてもらってください。それぞれの考えをフリップチャートに記録します。話の始まり（その人物像と彼女が直面した困難を紹介する）、中盤（困難を乗り越えるために、彼女がどのようにして自らのリーダーシップを用いたのか）、そして終わり（彼女のリーダーシップが、彼女の生活や他の人の生活に与えた影響）という段階を追うことで、リーダーシップのストーリーは構成しやすくなることをグループに伝えてください。（10 分間）

全員に、若い女性のリーダーシップ・ストーリーについて考えるよう伝えます。そのストーリーは、自分自身のものであっても、または、自分が知っている若い女性のストーリーであっても構いません。（プライバシー保護のために、ストーリー中のすべての名前を仮名にします）そして、紙とペンを配り、リーダーシップがどのようにして前向きな変化を起こしたのかに注意を払いながら、そのストーリーを書き留めさせます。もし、ペアで作業したい人がいたら、それもいいでしょう。また、もし文章で書く代わりに、絵を描いて表現したいのであれば、それもまた可能です。（1 時間）

アクティビティ リーダーシップ

それらのストーリーの中の似ている部分と異なる部分についてグループでよく考えてみてください。ストーリーの中で、若い女性は何らかの障害に直面しましたか。どのようにして、困難を乗り越えましたか。他の人からの協力や支援を受けましたか。リーダーシップにはさまざまな形があり、また若い女性たちは似たような困難に直面することがあります。



キー・メッセージ: リーダーシップ・ストーリーは、自分たち自身や他の若い女性をリーダーとみなすのに役立ちます。

これらの話は、他の若い女性、私たちの両親、私たちのコミュニティ、そして私たちの人権を擁護する責任のある人たちに対して、私たちの課題や能力を伝えるための良い方法です。ストーリーは、人々に何かを変えようという気を起こさせます。

世界人権宣言の紹介¹⁸



目的:

世界人権宣言に関する知識を持ち、そしてそれがどのようにして毎日の生活と関わっているのかをよく理解します。若い女性は、想像上の新しい国で自分たちが欲する権利のリストを作成し、そのリストを世界人権宣言と比較します。



所要時間: およそ 3 時間



用意するもの: フリップチャート用紙とペン、または黒板とチョーク。やさしい言葉／現地語で書かれた世界人権宣言¹⁹のコピーを人数分



進め方:

参加者を 4 名または 5 名のグループに分けてください。参加者に次のことを説明してください。

¹⁸ 出典 It's All One Curriculum Activities [2009] and the Office of the High Commissioner for Human Rights [OHCHR]. ABC : Teaching Human Rights -Practical activities for primary and secondary schools [2004]. <http://www.popcouncil.org/uploads/pdfs/2011PGYItsAllOneActivitiesen.pdf>

¹⁹ www.ohchr.org/EN/UDHR/Pages/Language.aspx?LangID=eng

アクティビティ 人権

- 皆さんは、生命を維持するために必要なものがすべて満たされている新しい島を整備します。これまでそこには誰も住んだことがないため、法律も歴史も存在しません。
- 皆さんはこの島の住人に対して自動的に適用される 10 の人権のリストを作成しなければなりません。
- 皆さんは誰も、自分の地位、ジェンダー、民族／人種、階級、または性的指向がどのようなものであるかを知りません。
- リストを作成する時間は、10 分間です。

作成した人権のリストを各グループに発表してもらいます。発表されたすべての権利をまとめた「グループリスト」を作り、全員が見ることのできる黒板やフリップチャートにそれを書いてください。(30 分間)

世界人権宣言を紹介してください。それは世界のすべての人のための人権のリストであることを説明してください。可能ならば、各々の若い女性に人権の一つの条項を読むか、または身ぶりで表すようお願いしてください。すべての人権の条項を読んだり、身ぶりで表した後、それらの人権について何か質問があるかを尋ねてください。全員に世界人権宣言のコピーを配ってください。(30 分間)。

参加者には、小グループに戻って考えてもらいます。

- 自分たちが作ったリストと世界人権宣言のリストの共通点は何ですか。
- 世界人権宣言の中で、私たちがリストに入れなかったのは、どの権利ですか。
- リストにさらに加えたい権利はありますか。
- グループのリストの中で、世界人権宣言に含まれていない権利はありましたか。(30 分間)

グループ活動から全体の活動へと戻り、ステップ 4 の質問に対する答えを振り返ります。すべての人に適用される世界で承認された人権のリストがあることがどれほど重要であるのかを話し合います。(20 分間)



配布物: やさしい言葉／現地語で書かれた世界人権宣言

(日本語版: 文部科学省の「やさしい言葉で書かれた世界人権宣言」より引用
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/O24/report/attach/1370775.htm)

子どもたちは生まれつき、だれもがみな自由であって、いつもわけへだてなくあつかわれるべきです。

あなたは生きる権利、自由に、安心して生きる権利をもっています。

だれにもあなたを奴隷にする権利はありません。あなたもだれかを自分の奴隷にすることはできません。

あなたを拷問する、つまり、あなたを痛めつけて苦しめる権利はだれにもありません。あなたも、だれであれひとを拷問することはゆるされません。

法律はすべての人に対して同じはたらきをします。法律はあらゆる人々に同じにあてはめられるべきです。

国の法律が守られていないようなできごとがあなたの身におこったとき、あなたは法律によって自分を守ってくれるように要求することができます。

不正に、あるいは理由もなく、あなたを牢屋に入れたり、どこかに閉じ込めたり、あなたの国から追い出したりする権利は、だれにもありません。

あなたがもし裁判にかけられるようなことがあっても、その裁判は秘密に行われてはなりません。あなたを裁く人は、だれからもさしずを受けてはなりません。

あなたは有罪であることが証明されるまでは、無罪であるとみなされなければなりません。あなたはある罪があるとうったえられたとき、つねに自分を守る権利があります。あなたがやっていないことについてあなたをとがめたり、罰を加える権利は、だれにもありません。

どこにいても、あなたは他のどんな人とも同じように守られるべきです。

もしだれかが、あなたの生活の仕方や、あなたやあなたの家族の考え方や、それを文章に書いたものをむりやり変えさせようとするとき、あなたにはそんなことをされないように守ってくれるように要求する権利があります。

あなたは自分の国のうちを、好きなように行ったり来たりする権利をもっています。あなたは自分の国を離れて、別な国へ行く権利をもっています。またそうしなければ、ふたたびもとの自分の国へもどることもできます。

もしだれかがあなたに害を加えて苦しめるときには、あなたは別の国へ行って、あなたを守ってくれるようにたのむ権利をもっています。あなたがだれかを殺したり、あなた自身がここに書かれていることを大切に、守らないときには、あなたはそのような権利をもちません。

あなたはひとつの国の国民となる権利をもっています。また、だれももっともな理由がないのに、あなたが自分でねがって他の国の国民になろうとするのをさまたげることはできません。

だれでも子どもをもてるような年齢になったらすぐに、男性でも女性でも結婚して、家庭をつくる権利をもっています。このことについては、あなたの皮膚の色が何色であるか、あなたの出身国がどこであるか、まったく関係ありません。男女は結婚について、あるいは離婚について、まったく等しい権利をもつのです。だれもだれかをむりやり結婚させることはできません。あなたの国の政府はあなたの家庭とその成員を守るべきです。

あなたは、あなたとあなたの家族が病気にならないために、また病気になったときに世話を受けられるために、飢えることがないために、寒さに悩むことがないために、住居をもつために、必要な一切のものをもつ権利をもっています。子どもを産もうとしている母とその子は、援助を受けるべきです。すべての子どもはその母親が結婚しているかいないかにかかわらず、同じ権利をもっています。

あなたは学校に通う権利、ただで義務教育を受ける権利をもっています。あなたはある職業を学んだり、あるいは望むだけ勉強を続けることができるべきです。あなたは学校であなたのあらゆる才能を発展させることができ、どんな信仰をもっているか、出身国がどこであるかに関係なく、だれとでも仲良く生活しつづけることを教えられるべきです。あなたの両親は、あなたがどのように教育されるか、また学校で何を教えられるかを選ぶ権利をもっています。

あなたは、他のだれもと同じように、いろいろなものを自分のものとしてもつ権利をもっています。だれにもそれをあなたからうばいとる権利はありません。

あなたは、信じる宗教を自由に選んだり、別なものに変えたり、ひとりで、あるいは他の人々といっしょに、望むとおりに信じておこなう権利をもっています。

あなたは好きなようにものごとを考えたり、あなたが好むことを言い表す権利をもっています。

アクティビティ リーダーシップ

す。だれもあなたがそうするのを禁止することはできません。あなたはどこに住んでいても、あなたの考えを他の国の人々とやりとりすることが許されるべきです。

だれもひとを何かの集団にむりやり所属させることはできません。だれでも集会を組織する権利、自分の意志で集会に参加する権利、平和的な方法で協同するために集まる権利をもっています。

あなたは、たとえば政府の一員となることによって、あるいはあなたと同じ考えをもつ政治家を選ぶことによって、あるいはあなたの選択を自由に投票によって示すことによって、あなたの国のことがらに積極的に参加する権利をもっています。これらの行為は、すべての人々の意志を、投票した人がだれの名前を書いたかを知られることがない自由な投票によって表現するものです。投票は男か女にかかわらず平等で、だれもおこなうことができます。

あなたは働く権利、あなたの仕事を自由に選ぶ権利、あなたが生活し、あなたの家族を養うことができるような給料をもらう権利をもっています。もし男の人と女の人が同じ仕事をする場合、どちらも同じ額の給料を受けるべきです。すべて働く人々は、自分たちの利益を守るために団結する権利をもっています。

労働時間は、あまり長すぎではありません。というのはだれもが休息する権利をもっているものであり、定期的に給料をもらいながら休みを取ることができるべきだからです。

あなたが芸術家であろうと、作家であろうと、科学者であろうと、あなたはあなたの作品を自由に他の人と分かち合い、共同でおこなったことから利益を得ることが許されるべきです。あなたの作品はあなたのものとして守られるべきであり、あなたはそれから利益を得ることが許されるべきです。

あなたが住んでいる社会は、あなた、および、あなたの国に住んでいるすべての男の人、女の人に与えられているあらゆる便宜（文化にかかわる、お金の面での、身を安全に守るうえでの）を、あなたが発展させ、享受するのを助けるべきです。

あなたは、仕事がないために、病気であるために、年をとったために、あなたの妻または夫が亡くなったために、あるいはあなたの力ではどうにもできないことがらのために、働くことができないような場合には、助けてもらう権利をもっています。

あなたの権利や自由があなたの国において、また世界の他の国々において尊重されるために、それらの権利や自由を十分に保護することのできる「秩序」がなければなりません。

こういうわけで、あなたは、あなたの人間らしさを発展させることを認める人々のなかに住んでいるのですから、そういう人々に対してあなたも同じようにする義務を負っているのです。

アクティビティ 人権

世界のあらゆるところにおいて、どんな社会も、どんな個人も、これまで色々挙げてきた権利や自由を無効なものにしようなどすることは許されません。

したがって、たとえあなたと同じ言語を話さなくても、あなたと同じ皮膚の色でなくても、あなたと同じ考え方をしなくても、あなたと同じ宗教を信じていなくても、あなたよりも貧しかったりお金持ちだったりしても、あなたと国籍が同じでなくても、すべての人はこれまで述べてきたようないろいろな権利や自由をもっていて、それらのおかげで助かる権利をもつのです。

自分の権利を知る



目的: 人権侵害とは何か、行動を起こすのは誰か、どんな変革が必要か、これらを明らかにするためにポイントとなる質問ができるよう若い女性をサポートします。参加者はこのアクティビティによって、「若い女性の変革をもたらすリーダーシップへの道」の第二段階を理解することができます。



所要時間: 3 時間



用意するもの: フリップチャート用紙とペン、人数分の紙とペン。「変革をもたらすリーダーシップへの道」から抜粋した「自分の権利を知る」のコピー



進め方: どうして私たちの人権を知ることが重要であるのかについてグループでの話し合いを開始してください。人権を知ることにより、私たちは前向きな変化を起こすための行動ができるようになること、起きるべきではないことと起きるべきことがはっきりとわかるようになること、状況を変化させる責任は誰にあるのかを把握できること、などが理由として挙げられます。全員が見えるようにフリップチャートにグループのアイデアを記録してください。(30 分間)

全員に 2~3 人のグループに分かれるように伝えます。人権問題を明らかにし、そして解決に向けた動きをするために、一連の質問を再検討するよう説明してください。

若い女性がコミュニティで直面する問題を取り上げるよう各グループに伝えます。配布物の質問1です。「私のコミュニティで起こっている不公平または不当だと思われる、そして若い女性に影響を及ぼすことは、どのようなことでしょうか。」各グループは問題をリストにします。ファシリテーターは各グループを回り、世界人権宣言を使って、リストにある問題の中で人権に関する問題を特定するよう促します。次に自分たちのグループアクティビティで取り上げる一つの問題あるいは人権問題を選ぶよう伝えます。これらの問題の中で、若い女性が最も被害に遭いやすいのはどれかを聞きます。この質問により、各グループは、ある人たちは他の人たちより、より人権侵害に遭いやすいことがわかります。すべてのグループが一つの問題を取り上げ、最も被害に遭いやすい人々を把握したら、丸くなって各グループが発表します。(30 分間)

2つ目の質問は、「この問題はなぜ起きるのか」です。これにより若い女性が直面する根深い差別を明らかにします。各グループに「なぜ」と問いかけることから始め、その答えにさらに「なぜ」と聞いてみます。こうすることで、ジェンダーや年齢差別を明らかにする答えが次々と出てきます。配布資料「自分の人権を知る」の中の質問を使って考えを深めます。すべてのグループが終了したら、丸くなって発表します。意見はフリップチャートに記録します。(30 分間)

3つ目の質問は「この状況を変える責任を負っているのは誰ですか」です。この質問により、若い女性は問題を解決する責任を負っているコミュニティの中の人、または若い女性の生活を前向きに変える役割を担うことができる人は誰かがはっきりします。これらの人々が誰か、を考えるため、各グループに 10 分間あげます。問題を解決する責任を負っていると思われるのは誰かを各グループに発表してもらいます。そしてその人々が起こすべき行動を挙げてもらいます。その際、問題解決には、若い女性が人権を知り、それを主張することが重要であることを考慮するよう伝えます。(30 分間)

4つ目の質問は、この問題を解決するために何が行われるべきか、若い女性や責任を負っている立場にある人が何をする必要があるかを話し合うためのものです。各グループに鍵となる行動とそれを主導する人々は誰かを明らかにするよう伝えます。(30 分間)

セッションを終了するにあたって、各グループに以下のことを明らかにしながら簡単に話し合いの内容を発表してもらいます。(各 5 分) 問題は何か、最も影響を受けているのは誰か。なぜその問題が起きるのか。その問題について誰が解決すべきか。何かなされるべきか。その人々またその他の人々は行動を起こすために何をすべきか。(30 分間)



キー・メッセージ:

私たちの権利を知ること、問題の複雑性をより良く理解できるようになります。このようにして問題を分析することにより、行動計画を作成しやすくなります。

人権についてポイントとなる質問をすることで、問題の責任が誰にあるかが明確になり、持続的な変革をもたらす取り組みに集中することができるようになります。

人権の原則を行動に移す



目的:

参加者は、「非差別」、「参加」、「説明責任」という3つの原則の意味を話し合い、それらを自らの人生に関連付けます。



所要時間:

2 時間半から 3 時間



用意するもの:

フリップチャート用紙、ペン ; 「若い女性の変革をもたらすリーダーシップ、人権に基づくアプローチ」のコピー



進め方:

「非差別」、「参加」、「説明責任」の3つの原則を説明します。3つの原則の関係性を示すために、図表を使用します。質問があったら答えます。(20 分間)

参加者を3つのグループに分け、各グループに3つの原則のうちの一つを割り振ります。それぞれのグループに対し、自らの人生において、差別と非差別、参加と不参加、説明責任と説明責任の欠如を目撃した時の事例について、考えてもらいます。自分が経験したことでも、誰か知っている人が経験したことでもかまいません。グループ内で、全員が一人ずつ話をするようにします。皆がそれぞれの考えを述べた後で、すべてのグループで共有するための最良の実例を選びます。(45 分間)

各グループは、原則が行動に移された実例と無視された実例を発表します。（行動の原則の自分たちの実例と、いつそれが無視されるのかを伝えます）。すべてのプレゼンテーションの後で、参加者は質問があればします。ファシリテーターは以下の質問をします。

- この原則が無視されたとき何が起こりますか。または、行動に移された時はどうなりますか。
- そのことによって、どのような気持ちになりますか。
- これらの原則が重要なのはなぜですか。（30 分間）

次に、原則が行動に移された実例を示すために、各グループに円形の図形を使うよう伝えます。自分の権利を主張しているのは誰か、どんな権利が主張されていて、自らの権利の主張にどのように参加しているのか、誰が対応する必要があるのか、誰が最も弱い立場で、最も差別を受けやすい立場にあるのかを明確にするよう伝えます。大きな紙とペンを配って、グループの実例をもとに円形の図形を描いてもらいます。（30 分間）

各グループは、自分たちが作った円形の図形をみんなの前で発表します。自らの権利を主張するために、こうした図形がいかに行動計画を作成する助けとなるのか、そのグループと話し合います。（20 分間）



キー・メッセージ: お互いに敬意と思いやりを持って接することは変革をもたらすリーダーになるために重要です。

フィードバックのための質問



目的:

セッションの最後で、参加者からワークショップについての感想を話してもらうことは有益です。若い女性である参加者が、このセッションで何を学んだか、そして、今後のセッションにおいて、何を学びたいのかを知ることができます。



所要時間:

15 分



用意するもの:

フリップチャート用紙とペン



進め方:

参加者全員に、このワークショップで学んだ事を一つ思い浮かべてもらいます。全員の間を回って、参加者から出てきた回答をフリップチャートに書き出します。また、このワークショップで一番気に入った事は何であったかを質問します。ここでも同様に、出てきた回答をフリップチャートに書き出します。

別の紙に、参加者が望むワークショップの改善点を書き出します。その日の話し合いに関して、何か質問があるかを参加者に聞きます。時間が許せば、ファシリテーターが可能な限り、これらの質問に答えます。もしファシリテーターが、どの様に回答したらよいのか迷う質問があったら、参加者に、次回のセッションまでに回答を準備しておく伝えてください。

今後のセッションのために、若い女性にとって有意義なアイデアを参加者に出してもらいます。出てきたアイデアは書き留めておきます。

最後に、参加者全員に対して、参加して下さったことへのお礼の言葉を述べます。

皆さん、手をあげてください



目的: 参加者のワークショップへの評価を即時に知ることができます。



所要時間: 5分



用意するもの: 記録を残すための紙とペン



進め方: ファシリテーターが幾つかの質問をしますので、答えが「はい」の人は手を挙げるように伝えます。手を挙げた参加者の数を記録します。これにより、このワークショップにおいて、何が首尾よくいったか、何において改善の余地があるのかについて、大体的見当をつけることができます。また、もしファシリテーターが必要と判断した場合には、手を挙げた人が特定されないように、参加者に目を閉じるように指示しても良いでしょう。

下記の質問をし、手を挙げた参加者数を数えます。（ファシリテーター自身が作成した質問をしても良いでしょう）

- ・ 今日、何か新しい事を習得しましたか。
- ・ そのテーマについて更に学びたいと思いますか。
- ・ 今日、地域の専門家が参加してくれたのは有用なことだと思いますか。（この質問は、地域の専門家が参加している場合のみです）
- ・ このワークショップ中、あなた自身が、グループにサポートをされている、そして、グループの一員であると感じることができましたか。
- ・ 他の参加者が、あなたの話に、耳を傾けてくれたと思いますか。
- ・ このワークショップは、あなたが良いリーダーになるために役立つと思いますか。

質問への回答の終了後、フィードバックを参加者全員で、分かち合います。

参加して下さったことに感謝の言葉を述べます。

「ファシリテーターの振り返りシート」
モニタリングと評価アクティビティ

ファシリテーターの振り返りシート

ライズアップ！ガイド

.....

ファシリテーターは、ワークショップ終了後直ぐに、この用紙へ必要事項を記入して下さい。
記入した用紙は、チームリーダーへ提出してください。

お名前: _____ ワorkshopのテーマ: _____

日時: _____ 場所: _____

共同ファシリテーターがいた場合には、その人の名前を記入してください：

共同ファシリテーターと一緒に活動し、何が良かったと感じましたか？

一緒に活動してどうでしたか？ それぞれのファシリテーターが、本当はもっと良くできるはずであったと思う事項はありますか？

「グローバル・ライズアップ！ガイド」は使いやすかったですか。次の中から一つ選んでください：

☐あまり使いやすくなかった ☐使いやすかった ☐とても使いやすかった

アクティビティ モニタリングと評価

このワークショップの中で、他の方法でおこなった方がより良かったのではと思う事がありましたか？ ある場合、どの部分を、どのような方法でやれば良かったと思いますか。

あなたは、このワークショップを進めるにあたって、どの程度、自信がありましたか。
次の中から、一つ選んでください：

☐あまり自信はなかった ☐自信があった ☐かなり自信があった

どのようにしたら、もっと自信を持ってこのワークショップを進めることができたと思いますか。

大勢の人の前できちんと話せましたか。 次の中から一つ選んでください：

☐あまりきちんと話せなかった ☐きちんと話せた ☐かなりきちんと話せた

「あまりきちんと話せなかった」場合、どのようにしたら、大勢の人の前で話すスキルを改善できると思いますか。

アクティビティ モニタリングと評価

ワークショップのテーマについてどの程度知っていましたか。あてはまるものを選んでください。

☐あまり知らなかった

☐知っていた

☐よく知っていた

あまり知らなかった、を選択した方は、どのようにしたらもっとよく知ることができると思いますか。

ワークショップに取り組む中で、予期していなかった状況や回答が困難な質問に遭遇しましたか。その時はどのように対処しましたか。

過去に「グローバル・ライズアップ！ガイド」のワークショップを実施したことがありますか。あてはまるものを選んでください。

☐はい

☐いいえ

はい、を選択した方は、どんなワークショップを実施しましたか。

参加者評価シート

ライズアップ! ガイド

.....

1. _____（ワークショップのテーマ）について、このワークショップに参加する前にどの程度知っていましたか。

☐ このテーマについて全く知らなかった。

☐ このテーマについて少し知っていた。

☐ このテーマについてよく知っていた。

2. ワorkshopが終了した今、_____（ワークショップのテーマ）についてどの程度理解していますか。

☐ このテーマについて全く理解していない。

☐ このテーマについて少し理解している。

☐ このテーマについてよく理解している。

3. ファシリテーターのワークショップの進め方はいかがでしたか。

ファシリテーター： _____   

ファシリテーター： _____   

4. ファシリテーターの進め方について、気に入った点、気に入らなかった点について書いてください。

5. ワークショップの時間的な長さについてはどう感じましたか。
☐短すぎる ☐ちょうど良い ☐長すぎる

6. ワークショップの中で気に入った部分はどこですか。

7. ワークショップの中で気に入らなかった部分はどこですか。

8. ワークショップや配布物で使用されていた言葉についてどう思いますか。理解したり読んだりするのが簡単でしたか、難しすぎましたか？理由を教えてください。

9. 他にコメントがあればお書きください。

YWCA 運動における リーダーシップの イラスト付きストーリー

YWCA で活動する若い女性たちからいくつか話を聞きました。これらは、「話し合いのテーマ」をさらに深めるものであり、若い女性にとって重要な事柄について話す口火となるでしょう。自分の話をする時のイメージとなったり、若い女性のグループが自分たちの物語を作るのにもとても役に立ちます。

イラストはジャン フィリップ カロンジ (Jean Philippe Kalonji) さんによって描かれました。画家、イラストレーター、そしてグラフィックアーティストでもあるカロンジさんは、ユネスコ、STOP SUICIDE、ロンドンオリンピック委員会などと共に仕事をしてきました。

自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！



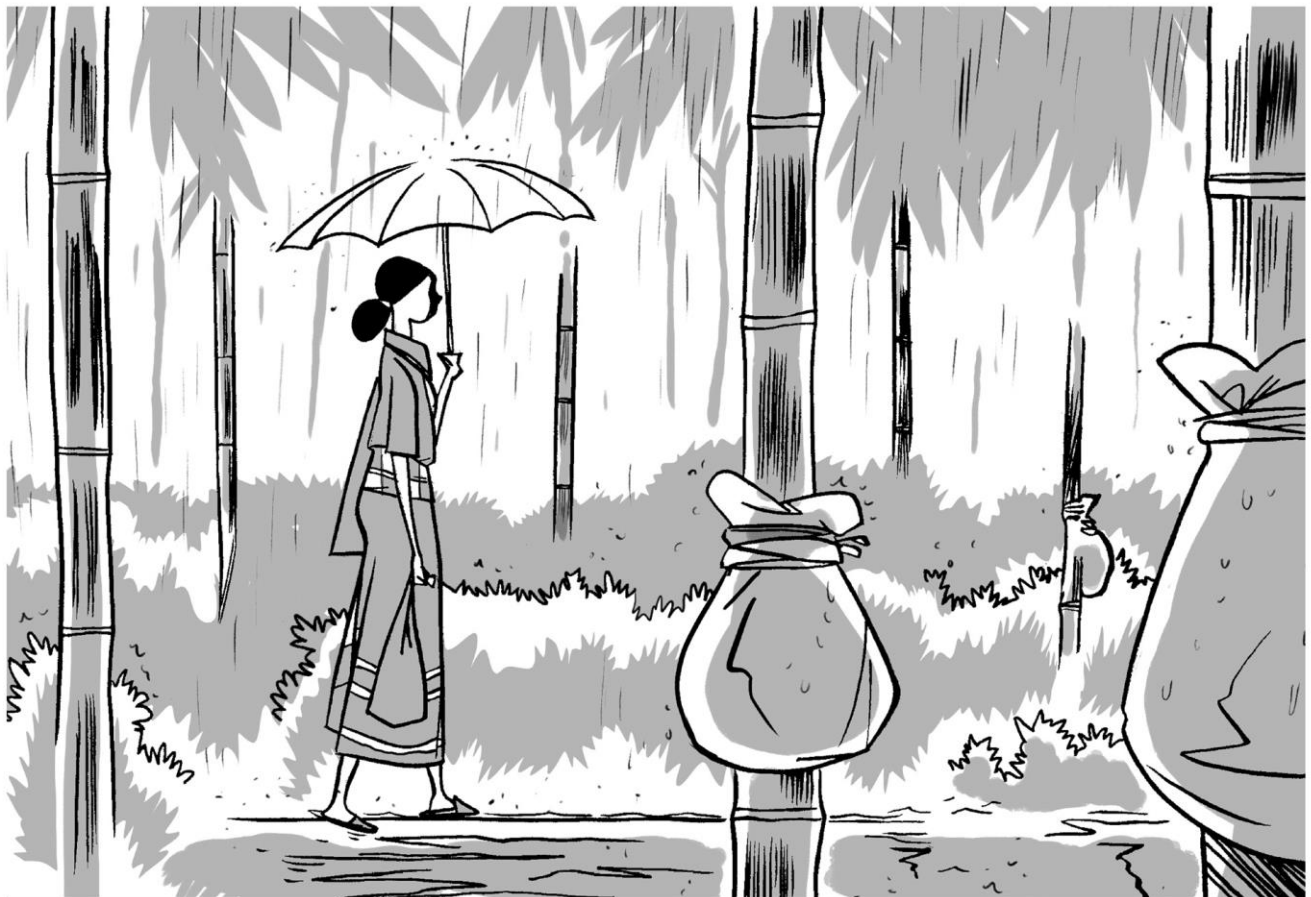
ワーカー

はマンマー出身の
若い女性です。

彼女は 27 歳で初めて地元の
YWCA でトレーニングに参加し
ました。



トレーニングでは、人身売買や女性への暴力について学びました。



ある雨の日、家に帰る途中、ワーワーはゴム園の中で
ずぶ濡れになっている若い女性を見ました。





ワーワーは、
立ち止まりその女性に
話しかけることにしました。

ワーワーは
彼女が人身売買の
被害者である
ことを知りました。

拉致され、そのゴム園で
働かされていたのです。





ワーワーはその女性に、助けを求めることができること、
またそのゴム園にいる必要はないことを伝えました。



ワーワーは
YWCA のトレーニングで教えてもらった電話番号で警察に連絡しました。



**その若い女性は
警察に助けられ、
再び両親に会うことができました。**

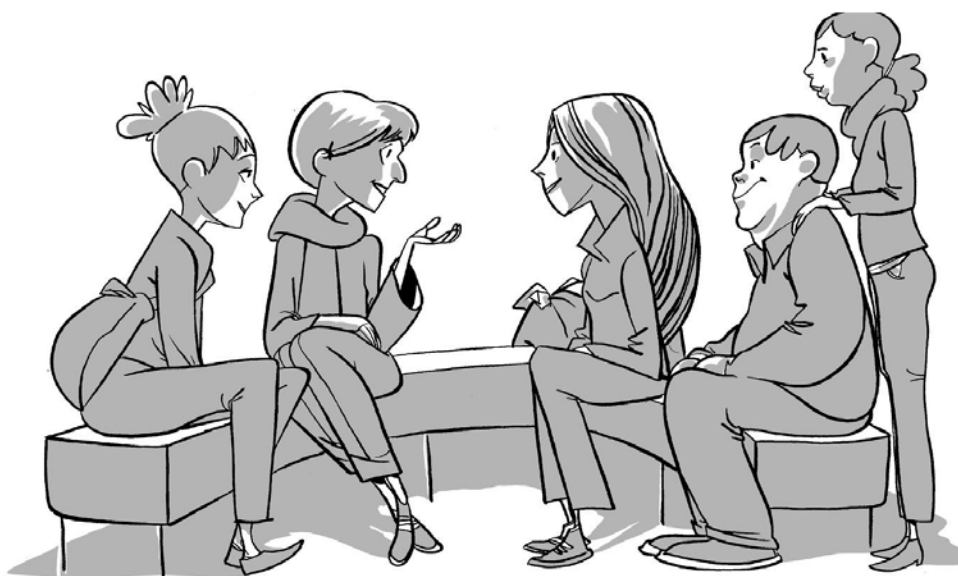
自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！



レイラは、両親とスウェーデンの
とある美しい町に引っ越しました。

彼女はそこで
素敵な友だちを
たくさん作り、
よく一緒に出かけたり
していました。





しかし友だちの多くは恋に落ち、やがてカップルになり始めました。
でも、彼女はそのようなことに全く興味を持ってませんでした。

両親でさえ、
彼女に
なぜ恋人が
いないのか
不思議に
思い始めまし
た。





そんなある日、
近所に引っ越してきた
ジュリーに出会います。

彼女を見た瞬間、
レイラは彼女のこと以外、
何も考えられなくなりました。



レイラは
ものすごく混乱しました。

ジュリーとキスをし、
手を握っている姿を
想像してしまうのです。

これは間違っているし、
許されないことだと考え、
どうすればいいのかわかりませんでした。

すると、友人のカーラが
レイラとジュリー
相互にある特別な
感情に気づき、
ある行動に
移すことにしました。





カーラは、
地元の YWCA で
LGBTIQ について
学んだことを
レイラに伝えました。
そして、
彼女の気持ちは
いたって普通で、
恥じることではないと
励まします。

レイラには、
彼女が好きになった人を
愛する権利が
あるのですから。



そして、レイラは、
ついに...

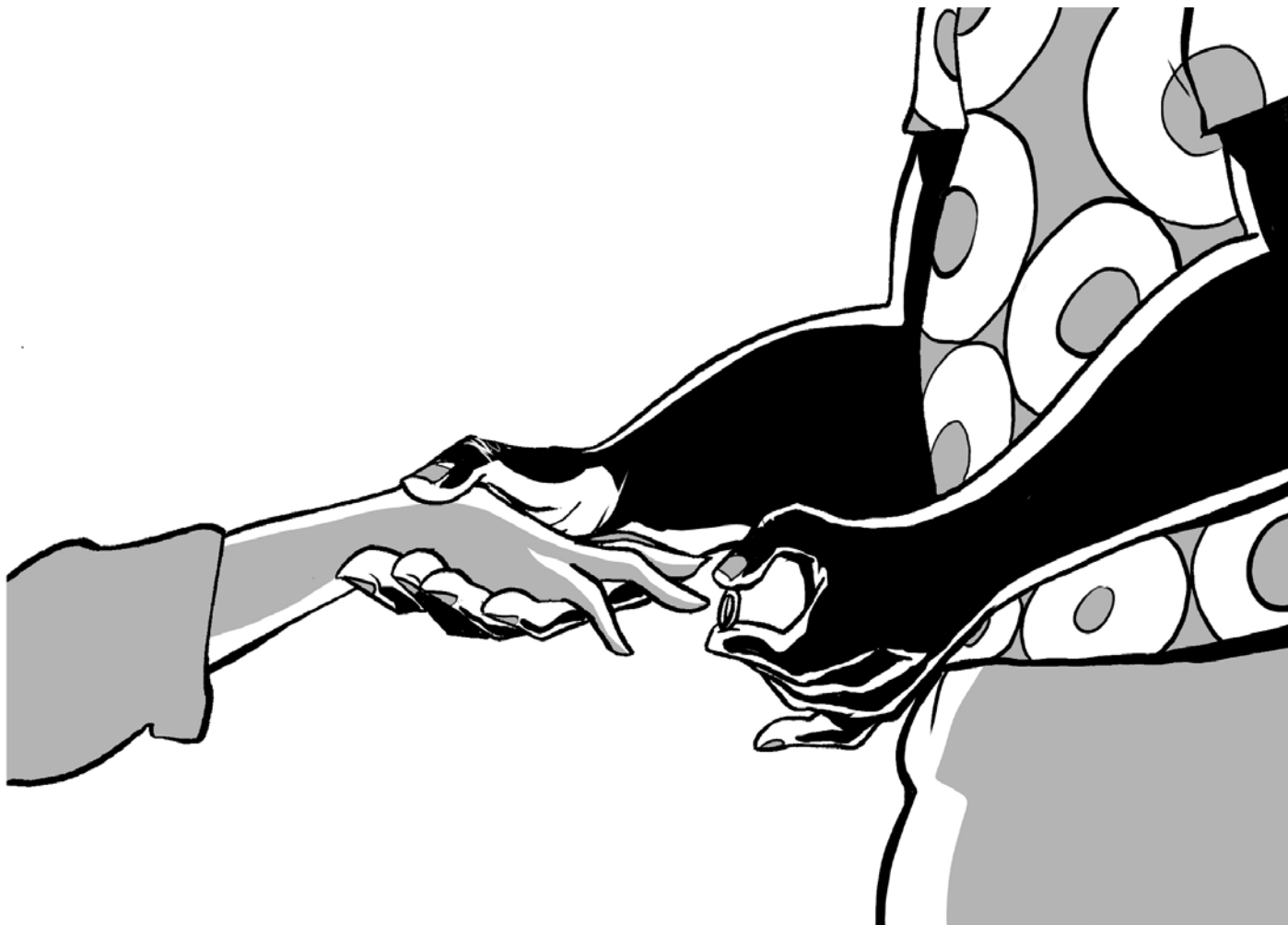
自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！

**ザンビアの若い女性、
サンディには
パロという名前の
恋人がいました。**



**彼女とパロは
お互いに
とても愛し合っていて、
サンディは
妊娠しました。**



二人は婚約しましたが、
パロには
秘密がありました。
彼は HIV 陽性でしたが、
サンディには
黙っていたのです。





サンディが
妊婦検診のために
病院に行くと、
看護師から
HIV 陽性だと
告げられました。



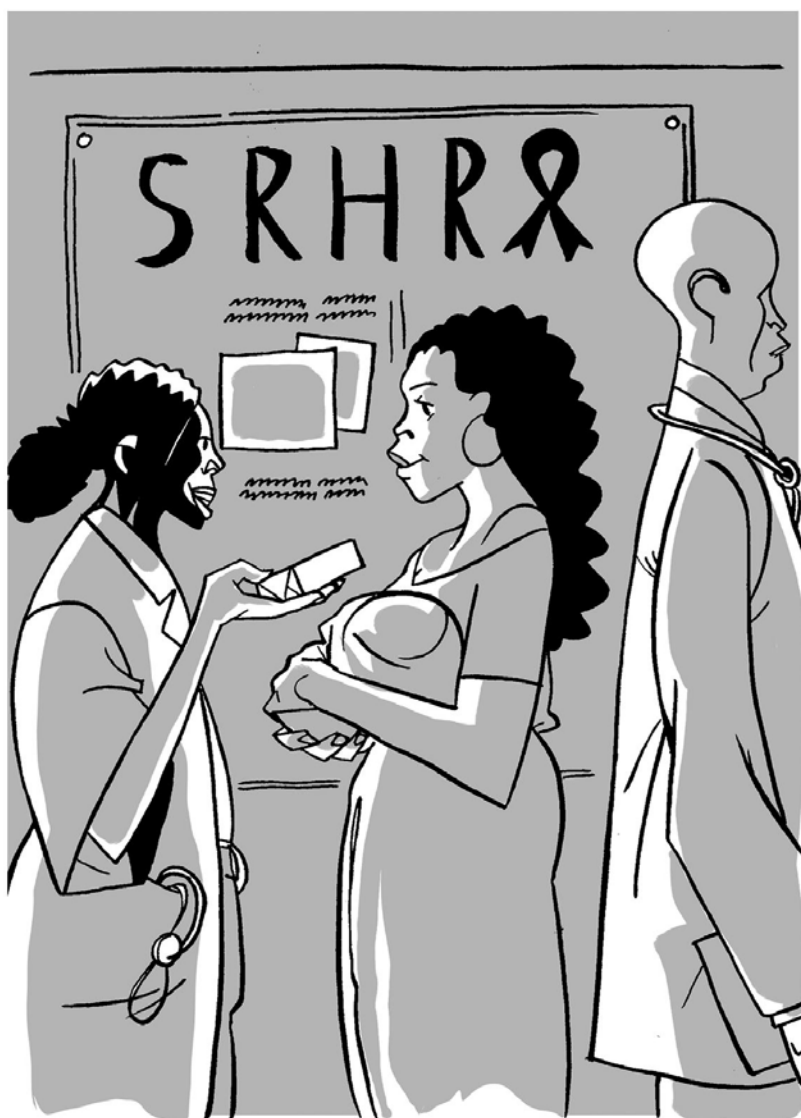
その看護師が彼女の状態を秘密にしなかったために、
彼女が陽性であるという情報はすぐに広まってしまうました。
パロは怒り、自分を感染させたとサンディを責め立てました。



**サンディは男の子を産みましたが HIV 陽性でした。
パロは村で噂されていることが怖くなり、
サンディを残して去ってしまいました。**



サンディの
友だちが彼女を
地元の YWCA に
連れて行って
くれました。
そこで彼女は
カウンセリングを
受け、自分はもう
一人ではないと
思えるように
なりました。



性と生殖に関する
健康と権利についての
新たな知識を活かして、
彼女は ARV 治療を受けに
もう一度診療所へと
向かいました。

サンディは今や、
このことが
性と生殖に関する
健康についての
知識不足によって
起きてしまったこと、また、
偏見や悪い噂のために
人々が HIV について
話しづらいことに
気づきました。



**サンティは、正しい治療を受ければ、
彼女の人生は「終わり」とはほど遠いのだと
気づきました。**

**彼女は HIV と共に生きていることを隠さずに、
前向きに生きていくようになりました。**

彼女は大学を卒業し、エンジニアになりました。



彼女の最初の仕事の一つは
村から診療所までの道路を
再建することでした。

彼女は従業員（主に男性）に
HIV の予防や検査、ケアについての
教育をし、
性と生殖に関する権利を
擁護し続けています。



自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！

**マリアは今日で
11 歳になります。**



**彼女は両親から
スマートフォンをもらい、
この上なく幸せでした！**

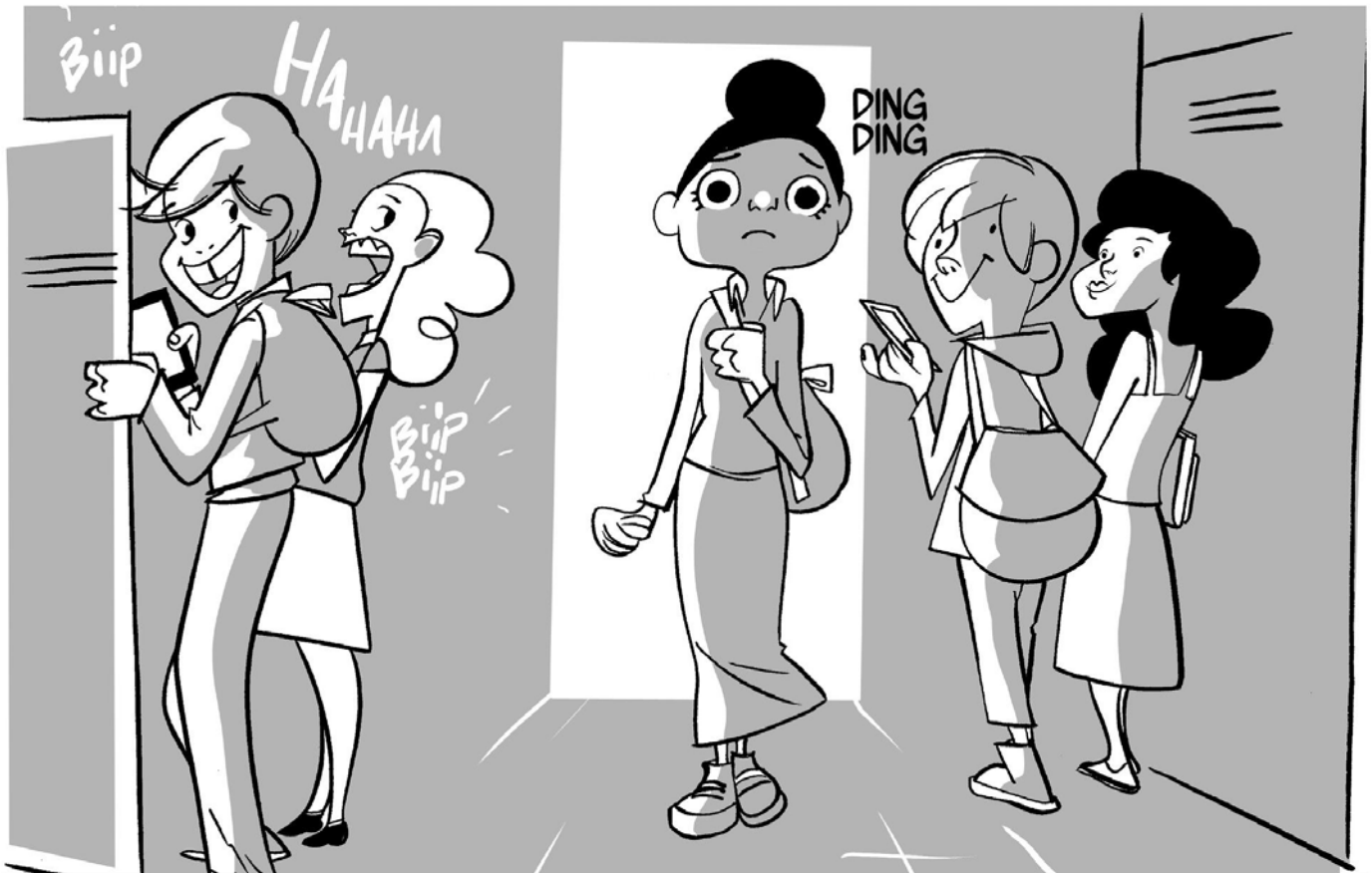


マリアは
メールや
メッセージ
アプリを
使い始めて、
皆も使っている
匿名グループにも
参加するようにな
りました。

しかし
ある日…。

誰かが
誹謗中傷の
メッセージを
載せたのです。





翌朝、彼女は学校のみんなにそのことを知られて、馬鹿にされているような気がしました。彼女はひどく傷ついて、何も食べる気になりませんでした。みんなが自分を太っていると思っているからです。



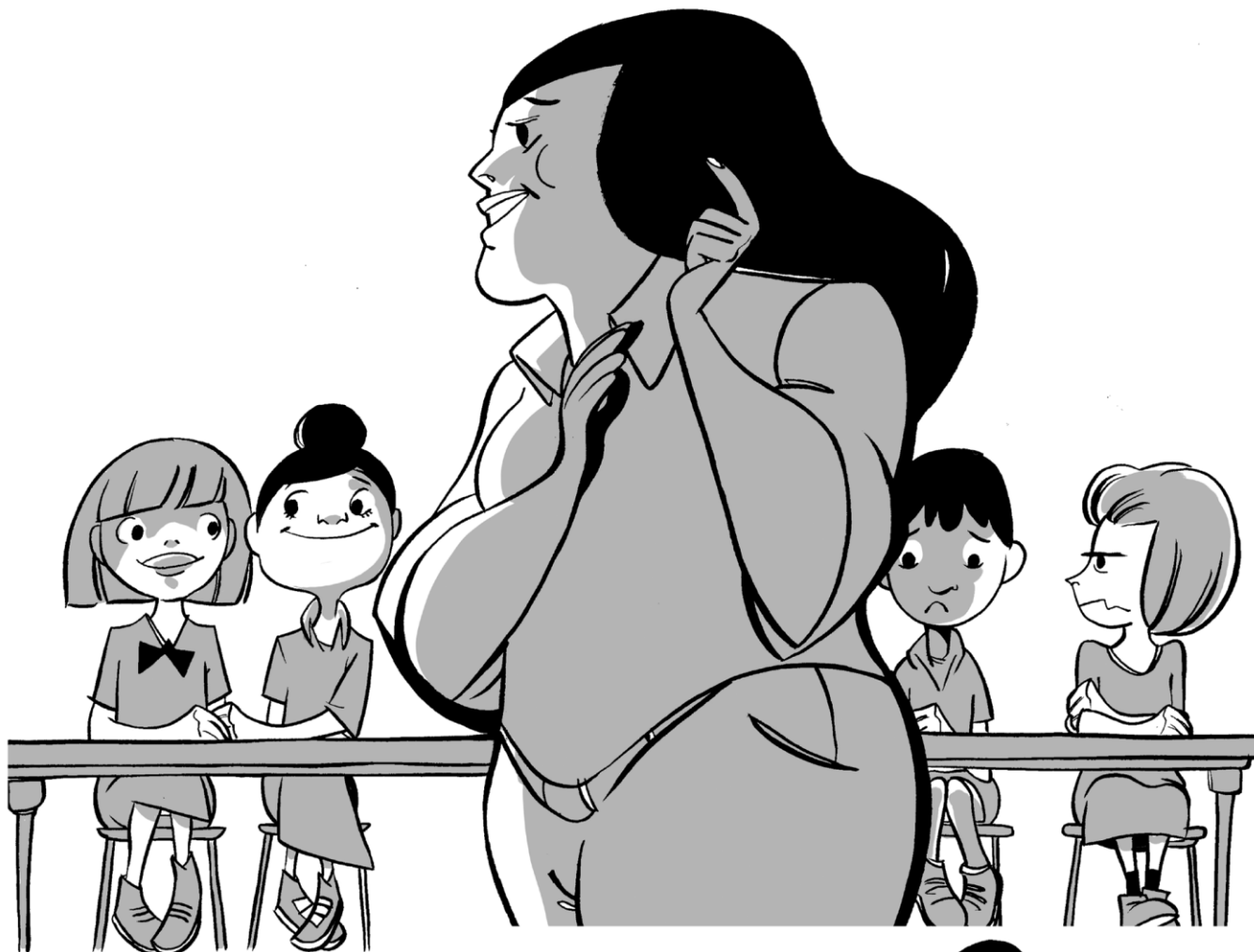


親友の千アラは
マリアを心配して、
何かあったのかと
尋ねました。

そして、
マリアは彼女に
すべてを打ち明けま
した。



千アラは頭のいい女の子です。彼女は地元の YWCA で誰かが
いじめられた時にどうすればいいのかを学んでいたの、学
校の先生に助けを求めました。



先生は
いじめやネットいじめの
危険性を
生徒たちに説明しました。

誰かを標的にして
傷つけるのは
許されないことです！

マリアは
もう一人ではなく、
味方がそばにいます。



自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！



**サムエルは牧師で、
地元の学校で教えています。
彼はとても賢く、生徒のことをよく気にかけています。**





彼は、
子どもたちが
大きくなるにつれて
体に変化が起き始め、
思春期を迎えることを
知っています。

多くの若い女性は
望まない妊娠のせいで
退学せざるを得ません。

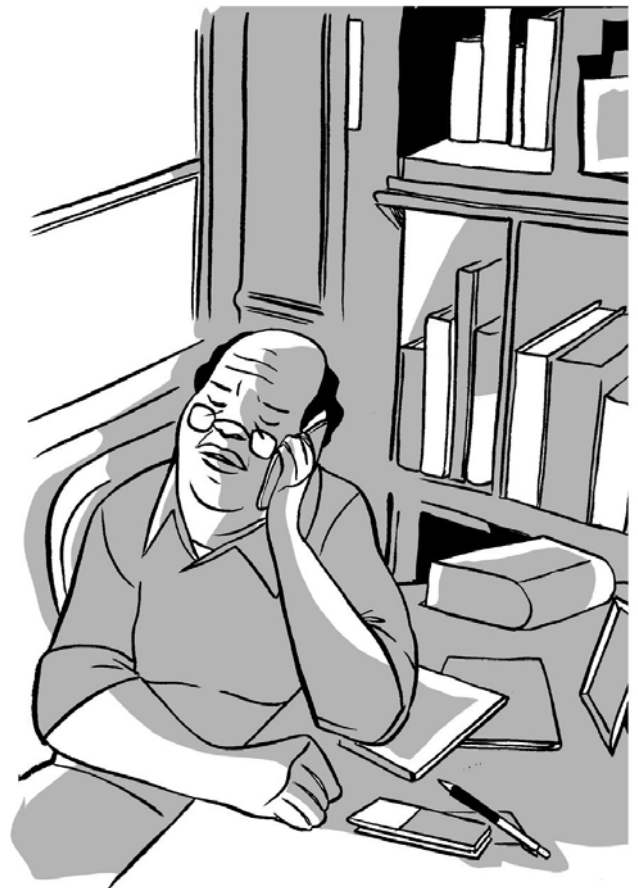




**サムエルは
他の宗教指導者と
性に関する健康に
ついての議論に
たびたび参加しました。**

**そして、
若者は教育を受けて
性について知る
必要があることを
知っていました。**

**彼は
保護者とコミュニティ
リーダーたちとの集会を
開催する事にしました。**





**議論ははじめ白熱しましたが、なんとか
若者に性と生殖に関する健康と権利を教える事の重要性を
彼らに納得させることができました。**





そして、
性と生殖に関する
健康と権利についての
カリキュラムが
学校で取り入れられ、
成功しました。





長年にわたり、
そのプログラムのおかげで
多くの生徒たちが
学校にとどまりました。

妊娠する少女の数は
どんどん減り、
多くは大学に行くことを
決めました。



自分のリーダーシップ・ストーリーを作ってみてください。

自分の経験や自分の周りの若い女性の生活を考えてイラスト付きのストーリーを作ってみてください。このセクションのストーリーは、あなたのアイデアを文や絵にするのに役立ち、力づけてくれるでしょう。自由に、楽しく！



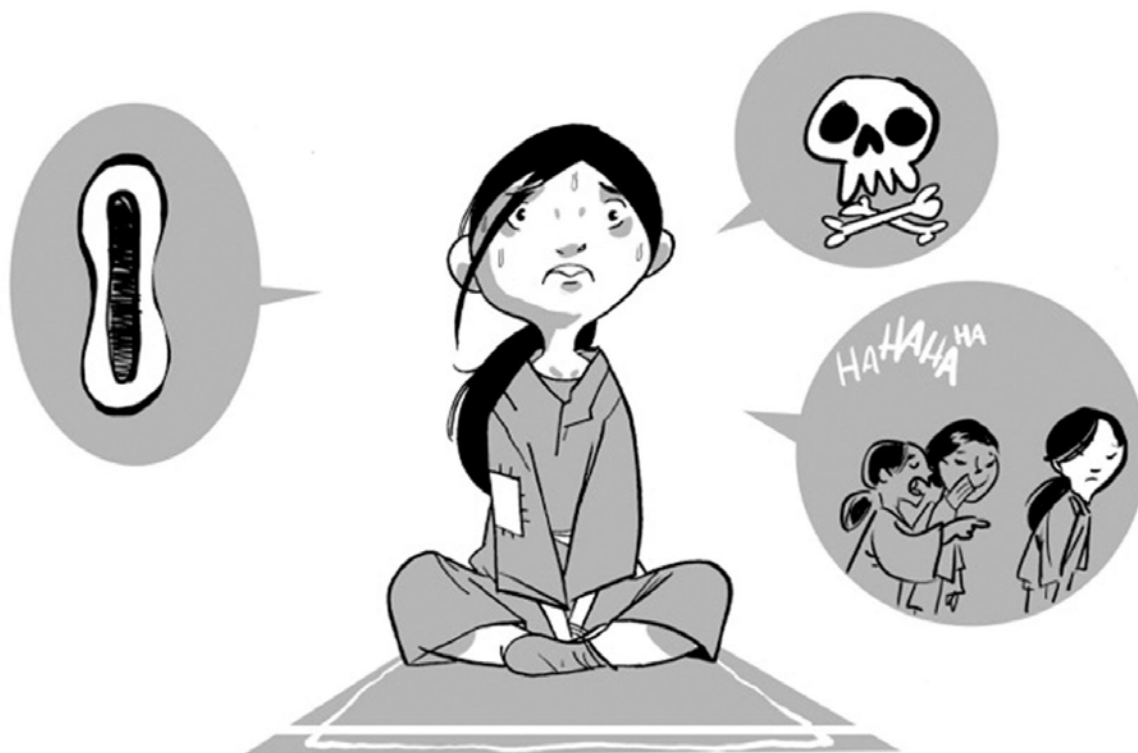
アフハやは
ネパールの
小さな山村に
住んでいました。





初潮を迎えた時、
家族のいる家から出て
居心地の悪い小屋で
過ごすように命じられました。

彼女は
自分に何が起きているのか
わからず、怯えました。





友人のチェタナは
地域のYWCAでの
月経に関するトレーニングに
参加しようと思っていると
言いました。

アフハヤは
少し恥じらいがいましたが
友人の強い決意を知り、
自分も参加することに
しました。





アフハやはさまざまなことを学びました。
生理用品がなくて学校に行かない若い女性がいることや、
性的搾取の被害にあいやすい女性がいること。
また、呪われたとか、死んでしまうと考える女性が
いることなどです。





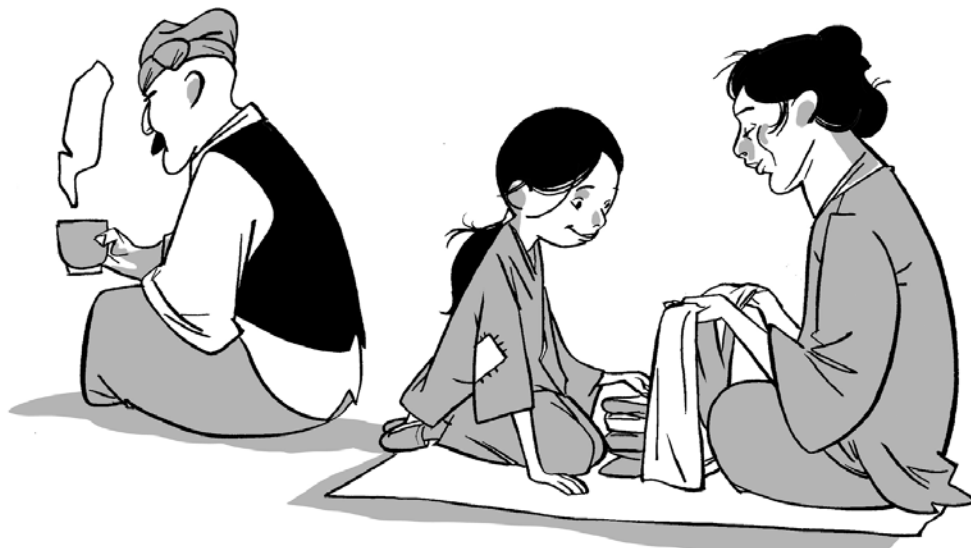
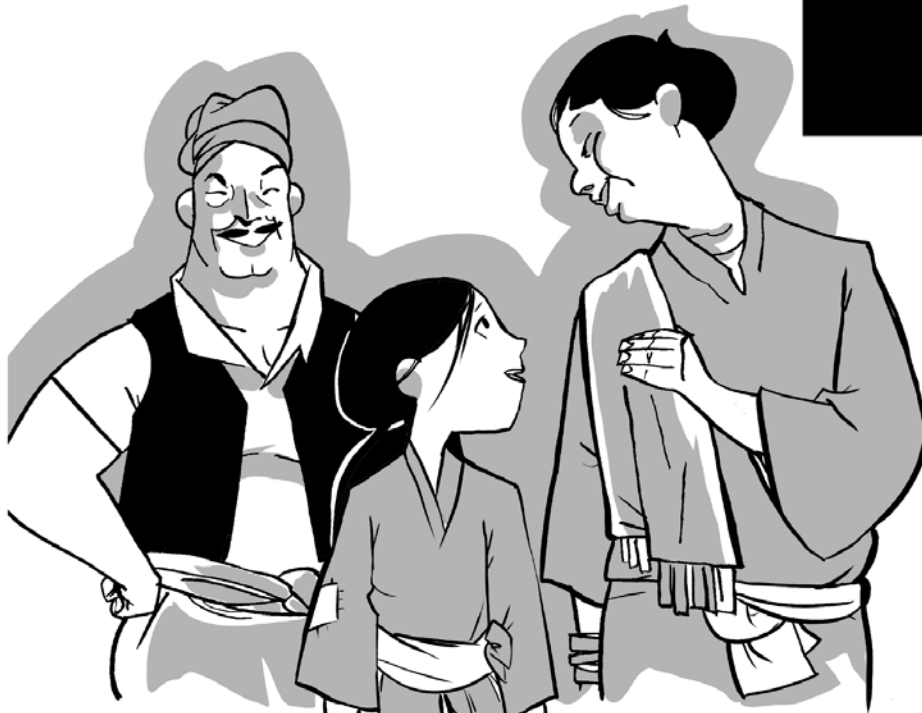
アズハやは
リーダーになることを
決心しました。
彼女は母親と話すために
村に帰りました。

母親に自分が学んだこと
すべてを話し、
自分のような若い女性が
月経を「恥」と見る社会を
克服するために一緒に
できることがあることを
説明しました。





2人は父親と話し合い、
村の若い女性たちを
助けるために、家族で
良心的な価格の
生理用品を作ること
を決めたのです。



研修用マニュアル

Empowering Young Women Leaders, World YWCA and UNFPA 2006

YWCA Safe Spaces for Women and Girls: A Global Model for Change, World YWCA 2013

Greater Expectations, YWCA of Australia 1984

Girls' Space, YWCA of Canada: <http://ywcagirlspace.ca>

It's All One Curriculum (in English, French, Spanish, Chinese, Bangla, and Arabic), Population Council 2009

<http://www.popcouncil.org/research/its-all-one-curriculum-guidelines-and-activities-for-a-unified-approach-to->

Sexual, Reproductive and Maternal Health Community Workshop Series,
CARE International in Papua New Guinea, 2016

JASS Building Women's Collective Power for Justice
(a Global Women-led Human Rights Network)

"We Rise is a resource for anyone who wants to change the world"
<https://justassociates.org/en/werise-movement-building-resource>

Caring for Gender Equality Manual, World Vision and Promundo 2015
<https://www.worldvision.org/wp-content/uploads/caring-for-equality-revised.pdf>

人権に関する情報

Amnesty International Human Rights Education,
<https://www.amnesty.org/en/documents/ACT77/053/2005/en>

Girl's Guide to Knowing Her Rights, YWCA of Canada
<http://ywcagirlspace.ca/data/documents/00000002.pdf>

Human Rights-Based Approach (HRBA) to Programming, UNFPA and Harvard, 2010
<http://www.unfpa.org/resources/human-rights-based-approach-programming>

用語集²⁰

説明責任：権限を持つ人や意思決定の立場にある人が負う責務。自らの役割を果たし、その行動に責任を負い、影響を与えた人に対して自らの行動を説明し、その正当性を証明することなどが含まれる。人権における説明責任とは、人権、とりわけ最も社会から疎外された人たちの人権を擁護（尊重、保護、保障）する責任を果たすという意味である。（国連人権高等弁務官事務所 OHCHR：

<http://www.orchr.org/Documents/Publications/WhoWillBeAccountable.pdf>)

北京行動綱領(BPfA)：1995年の第4回世界女性会議で採択されたこの国際文書で、国連加盟国と市民社会がジェンダー平等と女性のエンパワメントを達成するには何が必要かを特定した。北京行動綱領は、女性の地位向上のために国レベル、地域レベル、国際レベルのすべての政策やプログラムにジェンダーの視点を確実に反映する、という国際社会の公約である。

女性差別撤廃条約(CEDAW)：女性のための国際的な権利章典としても知られており、1979年に国連で採択。批准国が2番目に多い条約で、世界の国の90%が調印している。性差別やジェンダーの不平等を定義し、締約国が差別を撤廃して実質的な平等を達成するための義務を明確にしている。条約は差別的な法律や慣行、慣習にも言及している。

女性の地位委員会(CSW)：1946年に設立された国連委員会。ジェンダー平等と女性の地位向上に重点的に取り組んでいる。毎年、多くの女性団体と協力して委員会を開催し、ジェンダー平等の達成状況を評価し、課題を特定し、基準を定め、ジェンダー平等と女性の地位向上を世界中で促進するための具体的な政策を策定している。

経済的公正：社会的公正と繋がっており、経済システムがどのように機能すべきかの指針となる道徳的原則が含まれる。最終目標は、すべての人に尊厳のある、生産的で創造的な生活への平等な機会を与え、同時に、持続可能な経済発展とすべての人の幸福を促進する経済システムの構築である。

(女性と少女の)エンパワメント：女性と少女が力をつけて自分の人生をコントロールできるようになること。人権意識を高め、自信をつけ、選択肢を広げ、リソースへのアクセスとコントロールを拡大し、ジェンダー差別と不平等を増長し永続させる社会構造や制度の変革を求めて行動することなどが含まれる。

ジェンダー：男性や女性にふさわしいとされる役割、行動、活動、特性をいい、社会や時代によって異なる。男性であること、女性であることに基づいて定められた社会的特性や機会、女性と男性、少女と少年の間における関係性に加えて、ジェンダーは女性間、男性間における関係にも使われる。(UN Women)

ジェンダー平等：女性と男性、少女と少年の間の平等な権利、責任、機会をいう。平等は女性と男性が同じようになるということではなく、女性と男性の権利、責任、機会が、男性や女性として生まれたことにより、影響を受けないことを意味する。(UN Women)

²⁰ 出典：UN Women 用語集も含む：

<https://trainingcentre.unwomen.org/mod/glossary/view.php?id=36&mode=&hook=ALL&sortkey=&sortorder=&fullsearch=O&page=1>

性自認：自分のジェンダーに関して、その人に深く根ざした心理的な自己認識をいう。それは個人の身体的特徴や、誕生時の性とは合致しない場合がある。(UN Women)

ジェンダーステレオタイプ：女性と男性のジェンダーの特徴、差異、役割を過度に単純化して一般化すること。

同性愛嫌悪 (ホモフォビア)：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルの人々に対する理不尽な怒り、嫌悪、反感。トランスジェンダー嫌悪(トランスフォビア)はトランスジェンダーの人々に対する理不尽な怒り、嫌悪、反感をいう。(国連人権高等弁務官事務所、人権にもとづくアプローチに関するよくある質問：<http://www.ohchr.org/Documents/Publications/FAQen.pdf>)

人権：人が生まれながらに持っている普遍的で法的な保証で、基本的自由や人としての尊厳に介入する行動から個人や団体を守るものである。人権の概念とは、すべての人は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国籍や社会的出自、財産、出自やその他の地位による差別を受けることなく、自身の権利を享受できる権利があることである。

人権に基づくアプローチ(HRBA)：国際的な人権基準に基づいて、人権を促進し、保護することを目的とした開発プロジェクトやプログラムを作成するために使われる枠組みや具体策。人権に基づくアプローチは、開発における問題の根源である不平等を分析し、開発の前進を遅らせる差別的な慣習や不公平な力の配分に異議を唱える。(国連人権高等弁務官事務所、人権にもとづくアプローチに関するよくある質問：<http://www.ohchr.org/Documents/Publications/FAQen.pdf>)

インターセックス：インターセックスの人とは、男性か女性という典型的な定義に適合しない性的な身体構造、生殖器、染色体パターンを持って生まれた人である。これは出生時にわかる場合もあれば、ある程度年齢を経たからわかる場合もある。そして、当事者の性自認が男性か女性かはっきりしていることもある、そのどちらでもないこともある。(UN Free and Equal Fact Sheet 国連自由と平等ファクトシート：https://www.unfe.org/system/unfe-7-UN_Fact_Sheets_v6_-_FAQ.pdf)

世代を超えたリーダーシップ：すべての年齢の女性がリーダーシップを発揮できる機会を認識し、採り入れ、創り出すことを意味する。すべての年齢の女性は変革の担い手とみなされている。世代を超えたリーダーシップにおいては、女性に影響を与えるすべての課題は年齢特有の特徴があり、これらの課題に直面し、乗り越えるための影響力と能力はさまざまであることも認識されている。世代を超えたリーダーシップへのアプローチには、後継者引き継ぎ計画も含まれるが、これは組織における長期的なリーダーシップを保ち、社会における長期的な変革を進めるためである。

リーダーシップの分かち合い：共通の目標のために、協働したり、協力したり、リソースや専門性などを共有したりすることで築かれる。リーダーシップを分かち合うとは、批判的な意見のやりとりができることを意味し、重大な決定をする対話に参加できることでもある。そして、リーダーシップの分かち合いは、(ヒエラルキーなどの) 立場上の力を超えた集団としての影響力の経験を通して、効果的に身に付けることができる。また、リーダーシップを分かち合うためには、全員が有意義で十全な参加ができるよう明確なガイドライン、プロセス、コミットメントなども不可欠である。

変革をもたらすリーダーシップ：不平等や無力化や、人権を享受できない女性の生き方を生む根本的な原因に取り組まなければいけないという理解から始まっている。人権と長期的な成果に根ざしたリーダーシップの概念である。

LGBTIQ（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、インターセックス、クエスチョニング）：性自認や性的指向の多様性を表す頭字語で、同性愛者や、性自認が男性か女性かという二者択一ではない人（ノンバイナリー）を表現するのに用いられる。

（UN Free and Equal Fact Sheet 国連自由と平等ファクトシート：

https://www.unfe.org/system/unfe-7-UN_Fact_Sheets_v6_-_FAQ.pdf ）

メンタリング：世代間にまたがる支援や連帯の一形式で、経験豊かな女性が、若い女性の職業的または個人的な成長の機会を生み出すなどして、その女性の成長を促す。

参加：人権の一つであり、「世界人権宣言」や「人権に基づくアプローチ」の基本的な原則。「人権に基づくアプローチ」によれば、参加は、無料で能動的で意味のあるものでなければならない。そして、すべての人、特に社会から最も疎外されている人々が、意思決定の場に参加できたり、行動を起こしたり、政府やその他の責任のある人に行動を起こすよう圧力をかけたり、開発イニシアチブを監視したりできることである。参加はリーダーシップや積極的な市民の重要な要素である。（UN HRBA Portal：

<http://hrbaportal.org/faq/what-does-the-principle-of-participation-mean-for-programming> ）

ピア・エデュケーション：対象者と年齢、環境、社会的地位、興味などが同じ人が、先生やトレーナーとして教えたり研修したりすること。若者は、大人にはできない方法で仲間とかわり合えることがよくあり、思春期の若者の成長に重要な役割を果たす事ができる。

性的指向：肉体的、恋愛、または感情的に他者に惹かれる惹かれること。だれにも性的指向はあり、同性に惹かれる人もいれば、異性に惹かれる人や両方に惹かれる人、どちらにも惹かれない人もいる。（UN Free and Equal Fact Sheet 国連自由と平等ファクトシート：

https://www.unfe.org/system/unfe-7-UN_Fact_Sheets_v6_-_FAQ.pdf ）

SDGs（持続可能な開発目標）：貧困を撲滅し、地球を守り、すべての人が平等、平和、繁栄を享受できるように定めた 17 の目標をもつ、世界的な行動計画。この世界的なアジェンダは、2015 年に国連ですべての加盟国により署名された。私たちの世界が直面する不平等、ジェンダー差別、気候変動、紛争などの課題に 2030 年までに取り組むことを目指している。

トランスジェンダー：幅広い性自認（トランスセクシュアル、クロスドレッサー、女性・男性のどちらかに限定しない第 3 の性を自認する人）を表す言葉で、外見や特徴が一般的なジェンダーとは合致しないとみなされる人についてもいう。トランス女性とは、性自認が女性だが、生まれたときに男性と分類された人のこと。トランス男性は、性自認が男性だが、生まれたときに女性と分類された人のこと。

（UN Free and Equal Fact Sheet 国連自由と平等ファクトシート：

https://www.unfe.org/system/unfe-7-UN_Fact_Sheets_v6_-_FAQ.pdf ）

人権とは何か

人権とは平等、敬意、自由、尊厳、そして公正への権利です。人権は人間の基本的な欲求を反映している国際的に合意された基準で、すべての人の尊厳ある人生を可能にします。人権は人間である私たちすべてが享受できる保障です。人権は普遍的なものであり、よって、いかなる人にも適用されるべきものです。居住地、年齢、言語、HIV であるか否か、障がいを持っているか否かなどには関係なく、いかなる人間にも適用されるべきものです。すべての人間は同じ権利を有しています。例えば、すべての人は教育を受ける権利を持っており、いかなる子どもも学校教育を受けられなければいけません。すべての人は結婚するか否か、そして誰と結婚するかを自由に決めることができ、強制されるべきではありません。すべての人は自由に政治へ参画ができなければならず、そのための教育を受けられ、政治参画への機会を与えられなければいけません。

“ 人権と基本的自由を享受することにより、私たちは完全に成長でき、本来の資質、知性、才能、そして良心を使えるようになり、精神的な欲求や、その他の欲求を満たすことができます。これらは、生まれながら備わっている尊厳や個々の価値が尊重され、守られている人生を求める飽くことなき願望に基づくものです。人権と基本的自由が否定されれば、単に個々の、もしくは個人的な悲劇には留まらず、社会的、ならびに政治的不安をもたらし、社会や国家内において、もしくは、社会や国家間の暴力と対立の種を蒔くことになるでしょう。 ”

[http://www.ohchr.org/Documents/Publications/ABCChapter1en.p](http://www.ohchr.org/Documents/Publications/ABCChapter1en.pdf)

すべての人間は、自己の権利を知り、守り、行使する権利を持っています。すべての人間が確実に、この自己の権利を理解し主張できるように、人権に関する国際的合意が締結されました。1948 年、世界の各国政府が国連において、世界人権宣言（UDHR）を採択しました。そして、市民的及び政治的権利に関する国際規約（ICCPR 略称：自由権規約）と経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（ICESCR 略称：社会権規約）を含む国際人権章典の締結により、道徳的で正しいおこないを示すだけでなく、各国政府が人権の擁護に法的責任を持つことが盛り込まれました。これにより、人権が侵害された場合には、その人権を尊重し、保護し、実現させる義務がある者に対して、苦情を申し立て、意見を表明し、また、申し立てへの返答や解決策の提示を要求できるようになりました。しかし、すべての人々がこの権利を持っているにもかかわらず、実際には数えきれないほど多くの人々の人権が、政府などによって保護、尊重および実現されていないのが現状です。

世界人権宣言（UDHR）は 500 の言語に翻訳されており、下のサイトで見ることができます：

<http://www.ohchr.org/EN/UDHR/Pages/SearchByLang.aspx>

自由権規約（ICCPR）と社会権規約（ICESCR）については：

<http://www.ohchr.org/en/professionalinterest/pages/ccpr.aspx>

<http://www.ohchr.org/EN/ProfessionalInterest/Pages/CESCR.aspxdf>

すべての人権は密接に関係しており、等しく重要です。一つの人権の達成は他の人権の達成と相互に影響し合います。例えば、ある少女が病気なのに看護師がおらず薬もなかったら、その少女の健康への権利は守られているとは言えません。そして、病気だったら学校に行くことができないかもしれませんし、行けても体が虚弱過ぎ学業に集中することができないこともあります。健康への権利が実現化されなければ、教育への権利も危険にさらされるのです。

さらに人権について

市民運動団体や各国政府は、継続的に人権とは何かの明確化と定義付けをおこなってきました。そのおかげで、自分の権利をより良く理解し守るための手助けとなる多数の条約、協定、規約、そして合意が、今、存在しています。中でも世界中の若い女性たちの権利について調べる場合に役立つものを以下にあげます。

女性差別撤廃条約(CEDAW)（そして、一般勧告第 19 号：女性に対する暴力）はあらゆる形態のジェンダーに基づく差別を定義し、それを糾弾している点で、若い女性がリーダーシップを発揮するに際して、特に重要な条約です。女性差別撤廃条約は、若い女性たちにとって強力なツールで、少女の初等・中等教育、その後の若い女性への訓練の実施を確実にするために活用できます。さらに、性的搾取や人身売買および強制婚や児童婚の終結；DV に異議を唱え、暴力のサバイバーを支援するための法の執行；女性器切除の終結；若い女性が、保健医療サービスにアクセスでき、正しい情報に基づいて性と生殖に関する判断ができるようにすること；若い女性がコミュニティの中でリーダーシップをとり、意思決定権限のあるポジションに就くことを妨げている、社会的・文化的信念や仕組みに深く根差したジェンダー差別に異議を唱えることなどにも活用できます。この条約が、女性の性と生殖に関する権利を支持し、そして、ジェンダーによる役割分担や家族関係に大きな影響を与えるものとして文化や伝統を捉えていることをよく知っておきましょう。

条約の締約国は、当該条約により定められた条項に基づく具体的措置を実際に講じる法的義務を負っています。そして、その義務を果たしているか否か、どのように果たしているかについて、報告書を提出する義務も負っています。

● 女性差別撤廃条約（CEDAW）と関連情報について：

<http://www.ohchr.org/EN/HRBodies/CEDAW/Pages/CEDAWIndex.aspx>

女性差別撤廃条約（CEDAW）一般勧告第 19 号（女性に対する暴力）：

<http://www.un.org/womenwatch/daw/cedaw/recommendations/recomm.htm>

● 女性差別撤廃条約（CEDAW）および他の人権条約委員会への締約国による報告書；

https://tbinternet.ohchr.org/_layouts/TreatyBodyExternal/TBSearch.aspx

児童の権利に関する条約（CRC）は、政府、保護者、地域社会が子どもを危害から守り、子どもたちが大人へ成長するために必要な健全で支援的な環境を創り上げる義務を負っていることを明確にしています。例えば、いかなる子どもも、名前・国籍・家族関係が守られる権利、そして学校へ通う権利を持っています。いかなる子どもも、強制労働、虐待、放置、人身売買、性的搾取から守られなければなりません。子どもたちが成長し、発達するに従い、かれらの能力は向上し、責任も大きくなっていきます。

子どもの権利についての説明は：http://www.unicef.org/crc/files/Rights_overview.pdf

もう一つの例は、障害者権利条約（CRPD）です。この条約は障害を持っているすべての人々が教育、職業、コミュニティへの参加において平等な機会を享受できるよう支援する条約で、生活上のあらゆる場面で積極的ななかかわりを持てるよう、法的能力や合理的配慮（助力と支援）の必要性を認めています。適切な性と生殖に関する情報とサービスへのアクセスを確保することに加え、CRPD は締約国政府に対し、これらの人権が無視されたり国家的計画やコミュニティサービスから排除されたりしないようにする義務を課しています。

CRPD およびその関連情報は：<http://www.ohchr.org/EN/HRBodies/CRPD/Pages/CRPDIndex.aspx>

次に挙げる 2 つの重要な国際合意は、持続可能な開発目的（SDGs）と同様、政府の国民に対する公約です。一つは、国際人口開発会議（ICPD）行動計画（1994）、もう一つは北京行動綱領（1995）です。これらは、女性や少女に対する暴力、性と生殖に関する健康、有害な伝統的慣習、ジェンダーをめぐる固定概念、経済的差別など、女性・若い女性・少女の一生に深く影響を及ぼす重要なテーマを盛り込んでいます。

とりわけ**国際人口開発会議（ICPD）**は、若者と若い女性が自らの潜在能力を発揮して活動的で有意義な生活を送るためには、性と生殖に関する適切な情報と健康支援へのアクセスを確保できなければならないと、言明しています。また、北京行動綱領は、女性が性と生殖に関する健康を含む、自らのセクシュアリティに関する事柄をコントロールする権利を有していることを明確にしています。女性と少女は、自らの意思決定能力に対する主な障害となっている差別や強制（むりやり何かをやらされること）、そして暴力の脅威から解放されて、自らのセクシュアリティをコントロールできなければなりません。北京行動綱領は、女性が権力のある政治的ポジションを担うことの重要性を強調する一方で、多くの女性が直面している、経済的平等と幸福に対する障害も明確にしています。北京行動綱領は、メディアにおける女性の課題について、女性の性差別的描写がいかに負の固定概念を永続化させているか、そして、どれだけ多くのプログラムが女性に対する暴力を容認しているかを論じています。

国際人口開発会議(ICPD) 行動プログラム：

<http://www.unfpa.org/publications/international-conference-population-and-development-programme-action>

北京行動綱領 UN Women in pictures から：

<http://www.unwomen.org/en/news/in-focus/csw59/feature-stories>

カナダ YWCA が作成した少女のための使いやすいガイド：

権利について知るための少女へのガイド：<http://ywcagirlspace.ca>

若い女性の変革をもたらすリーダーシップのための
グローバル・ライズアップ (Rise Up) ・ガイド
日本語版 2019 年 4 月発行
(英語版:2017 年発行)

翻訳 東京 YWCA 国際語学ボランティアズ ILV
編集協力 宮澤ありさ

編集・発行 日本 YWCA 2019 年 4 月
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
東京 YWCA 会館 302 号室
TEL:03-3292-6121 FAX:03-3292-6122
E-mail:office-japan@ywca.or.jp
Website: www.ywca.or.jp



WorldYWCA

World YWCA

16 L'Ancienne-Route
1218 Grand-Saconnex
Geneva Switzerland
Telephone: + 41 22 929 6040
Fax: + 41 22 929 6044
Email: worldoffice@worldywca.org

 [@worldywca](https://twitter.com/worldywca)
 [facebook/worldywca](https://facebook.com/worldywca)
www.worldywca.org

日本語版 編集・発行

日本 YWCA

〒101-0062

東京都千代田区

神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 302 号室

TEL: 03-3292-6121

FAX: 03-3292-6122

office-japan@ywca.or.jp

www.ywca.or.jp